

多摩川周辺の残る里山の
植生の類型化に関する研究

2015年

鈴木 貢次郎

東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 教授

共同研究者：亀山慶晃 東京農業大学地域環境科学部・植物生態学

多摩川周辺に残る里山の植生の類型化 に関する研究

東京農業大学地域環境科学部造園科学科
鈴木貢次郎

2015年4月30日

公益財団法人とうきゅう環境財団
2013年度 多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金交付
報告書
(2013年7月10日付第2013-01号)

目次

I. 目的

II. 本報における「里山」の概念

III. 調査場所及び事由, 方法

i. 調査場所

ii. 調査事由と方法

1. 里山の求積と土地利用の実態
2. 植物の生育に及ぼす地形と管理の影響に関する実験
3. 多摩川周辺の里山 81 ケ所の植物踏査
 - 3.1 巨木の有無とその大きさ
 - 3.2 植物調査
4. 里山 81 ケ所の植物に関する文献調査
5. 里山の植物の生育に及ぼす諸要因に関する踏査
 - 5.1 ヤマザクラの巨木下の植生
 - 5.2 信仰対象の有無

IV. 結果

- i. 里山の求積と土地利用の実態
- ii. 植物の生育に及ぼす地形と管理の影響に関する実験
- iii. 多摩川周辺の里山 81 ケ所の植物踏査
 1. 巨木の有無とその大きさ
 2. 全植物踏査
- iv. 里山 81 ケ所の植物に関する文献調査
- v. 里山の植物の生育に及ぼす諸要因
 1. ヤマザクラの巨木下の植生調査
 2. 信仰対象の有無

V. 考察

- i. 里山の面積と形態
- ii. 各里山の特徴
- iii. 里山の類型化
- iv. 里山に生育する植物の特性
- v. 里山の植生を形成してきた人為的要因

VI. 総括

引用文献, 注
謝辞

I. 目的

戦後の高度経済成長後、環境問題への関心が高まり、乱開発が止まったかのように見えたが、経済的発展を重視する社会の風潮により、生きものに寄せる関心は年々減るばかりである。

多摩川には、主流、支流を問わず、その流域に多くの「里山」が残っている。「里山」は、都市近郊においては、動・植物が生育・生息できる唯一の場である。人にとっては保養や運動、散策、レクリエーション、学習（教育）の場として欠かすことのできない場である。

人による開発が始まるまでは、今の「里山」が連続していた。相互に生物のつながりがあったと考える。多摩川の水もまたこれら周辺の「里山」から流れて集まるのであるから、生物的な関連があった。すなわち多摩川周辺の「里山」は、多摩川の環境に影響する。

ところで、一般に広く扱われている「里山」の定義は極めて曖昧である（全国雑木林会議編 2001, 小寺 2008）。関連する用語として「緑地」や「公園」があるが、その関連も十分に整理されていない。そのため、管理者は何をもって「里山」と呼び、「里山」に準拠した管理を行うべきか理解できないまま、右往左往している（服部他 1995）。いくつかその指針等が公表されているが（亀山 2001, 倉本・内藤 1997, 倉本・大塚 2001）、多くは、都市公園の整備方針にならったり、逆に「自然公園」として、人為的管理を完全に否定してしまっている例もみられる。植物の生理、生態を把握できていないために、管理者と利用者は生物を無視した利用のルールづくりや施設の設置・建築ばかりにこだわってしまっている。緑地、公園、「里山」内における図書館や美術館などの公共施設の建設や、擬木による柵や管理用と称するアスファルト舗装の増加等はその典型例といえる。

その結果、制度としてある「里山」や緑地内で、孤立化、分断化が起きている（大久保・加藤 1994；1996, Iida and Nakashizuka 1995, Clark and Evans 1954, Hooper 1971）。特に子供を初めとして、利用者は、「里山」、あるいはそこに生育、生息する生物から遠のくばかりである。

森林（ここでは里山）の分断・孤立化が進むと他の林分からの距離が長くなる。その結果、種子などの散布体の相互の移出入が起こりにくくなる。山本 1987, 沖津 2014 より、大原 2001, 井出他 1989 等、関連する報告は多い。その対策として、行政からは、多摩・三浦丘陵トレイル、緑と水景の広域連携会議¹⁾が発足されたように、緑と水のネットワーク形成に向けた気運が高められようとしている。

一方で、孤立化・分断化されてしまったそれぞれの「里山」には、それぞれの植物（植生）の特徴が残っている。それが、最近各鉄道会社から発行されている沿線ガイドマップの作成等につながっている。しかし、それぞれの里山は、周辺の宅地化などにより、

次々と縮小している。それぞれの里山の価値を十分に把握し、保護、保全する必要もある。そのための一つとしてそれぞれの里山を相対的に比較しながら、価値を確認する方法があげられる。すなわち、類型化を行うことが、緊急に必要である。

多摩川は、関東西部の中心に位置し、下流～上流にかけて、都市～農村～山村へとつなぐ多様な地域を流れ、多様な里山をかかえている。その多様性は、まだはかり知れない。多摩川を通した「里山」の類型化は、多摩川以外の他の流域でも参考になる。

完全な自然であれば、自然生態系として調べることになるが、多くは人の利用（行為）の影響も大きく受けた植生となっている。すなわち現在の「里山」の状況を鑑みると、類型化にあたっては、生物学的な視点と、社会科学的な視点つまり「人の利用」の視点の両者から検討する必要がある。

本研究では、多摩川周辺に位置する「里山」のそれぞれの特徴を把握するために、植物を基本として諸要因（利用のし方や、これまでの管理の影響等）を鑑みながら類型化を試みた。

II. 本報で扱う「里山」の概念

これまでも「里山」に関しては、様々な分野から報告されている。今森監修（2014）による全国の主な里山の紹介、特に里山に関わる植物、動物、景観、生活物品、建築等の紹介、荘司（2003）による里山に生息する動物や、植物の紹介等を始めとして、各地の紹介がある（ジポーリン福島 2011）。これらの「里山」を、自然科学の視点から広木（2002）、小谷（2012）、山瀬（2012）、東他（2014）らが、究明している。

一方で、社会科学の視点からも多く「里山」を論じてきた（深町・佐久間 1998）。山岡他（1977）は、二次林の生態的役割を、野尻ほか（1977）は、経済的意義を述べている。日経新聞（2010年8月22日朝刊）では社会の対立をも解決する場として「里山」での活動をとりあげている。最近では、藻谷（2013）が、「里山資本主義」と題し、里山を活用した社会システムの構築を提案している。

以上のように、「里山」は、様々な分野から論じられているだけに、その概念は極めて曖昧である。特に、本報では造園学でいう「緑地」や「公園」の定義なども勘案し、次に記す条件を「里山」として、調査対象地とした（以下里山と称す）。

1. 日本都市センター（都市と公園緑地）（1974）による「自然オープンスペース」の概念に近いものと考えられる。つまり「オープンスペース」を「緑地」とし、里山は「自然緑地」の概念と捉える。
2. 土地は連続した土壌である。
3. 群植（概ね 10 本以上）やゴルフ場等のスポーツ競技のための植栽行為は含まない。あるいは植栽であっても概ね 10 年以上を経ている。
4. 運動場、砂等、人為的に敷かれる土壌面は除く。
5. 寺社、祠等を含む。人為的な舗装は狭小で、落葉落枝の処理面積もわずかである（1a 程度）。
6. 概ね標高は、150m 程度である。

III. 調査場所及び方法

i. 調査場所

多摩川周辺でほぼ等しい距離間隔になるように、中流～下流にかけてみられる81ヶ所を対象とした（表 III-1, -2, 図 III-1）。

ii. 調査事由と方法

本研究では、次に記す 1. 各里山の土地利用の実態と求積, 2. 植物の生育に及ぼす地形環境と管理の影響, 3. 多摩川周辺の里山 81 箇所の植物, 4. 文献にみる里山 81 箇所の植物, 5. 里山の植物の生育に及ぼす諸要因の 5 項目について調査及び実験を行った。

1. 各里山の土地利用の実態と求積

行政区などの社会的制度による面積ではなく、生物学的に必要な面積を求めた。動植物の散布のためには、土壌が必須である。例えば近年、個体数が減少しているカタクリ、タマノカンアオイ、スミレ類等のアリ散布型種子の散布のためには、土壌が必要となる。そこで、行政で命名されている公園や緑地に的を絞って、地図や航空写真で外観をみて概ね幅員 4m 道路に囲まれた場を 1 ヶ所の里山として、踏査した。

また、行政で緑地とされていても、近年はその範囲内に、舗装路や、駐車場、図書館、美術館などの施設も多く建築されている。この緑地の分断状況は、例えば衛生画像等が発達したとしても、現地をみないと判明できないことが多い。そこで本報では、踏査をして、各里山の連続する土壌面積を求めた。

求積は、国土地理院の地図（1:50,000）と、ゼンリン電子住宅地図「デジタウン」を用い、プランメーターを使用して行った。

2. 植物の生育に及ぼす地形と管理の影響に関する実験

鶴見川とその支流の早野川に近く、多摩川支流の平瀬川にも近い早野特別緑地保全地区において、2010 年度から、植物の生育に及ぼす地形や林床管理の影響について調べてきた。早野特別緑地保全地区は、かつては雑木林の利用があったようであるが約 20 年間放置されていた。人為的な管理や地形・環境が植生にどのように関わるのかを調べるために次のような実験を行った。

2.1 樹木

8,700m²の実験区のうち、6,700m²を刈取り区、残りの 2,000m²を対照区とした。刈取り区では、アズマネザサ等の刈取りと、枯損木や倒木、シラカシやヒサカキ、アオキ、ヤツデ、トウネズミモチなどの陰生植物を伐採した。対照区では、一切人為的な管理を加えなかった。この全実験区の全樹木に調査記号を付し、4 年間の追跡調査

を行った。

表 III-1 調査対象地（多摩川南西側，右岸）

記号	調査地	住所
A 1	武蔵五日市北	東京都あきる野市館谷台
B 2	滝山公園 - 小峰原園地	東京都東久留米市滝山 5 - 3 - 6
C 3	東豊田緑地・黒川清流公園	東京都日野市東豊田三丁目，多摩平二丁目，多摩平七丁目
D 4	多摩平第3緑地	東京都日野市豊田
E 5	神明野鳥の森公園	東京都日野市 神明 2 丁目
F 6	小宮公園	東京都八王子市暁町 2 丁目 41 - 6
G 7	長沼公園	東京都八王子市長沼町
H 8	南平 - 七生公園	東京都日野市南平 9 丁目，程久保 6 丁目
I 9	小山内裏公園	東京都町田市小山ヶ丘 4 丁目 4
J 10	鎌水小山緑道	東京都八王子市鎌水二丁目 176 - 1
K 11	南大沢緑地	東京都八王子市南大沢 5 丁目 1
L 12	小山田緑地（山中 - 大久保分園）	東京都町田市大久保
M 13	小山田緑地（梅木窪分園）	東京都町田市下小山田町
N 14	小山田緑地（白山神社）	東京都町田市下小山田町 361-10
O 15	百草園北，大宮神社側	東京都日野市
P 16	百草園 - 八幡神社	東京都日野市
Q 17	百草園南：東電学園，六地藏付近（七生丘陵）	東京都日野市緑と清流課 緑地信託管理地
R 18	原峰公園	東京都多摩市関戸 6 丁目 28
S 19	桜ヶ丘公園	東京都多摩市連光寺 5 丁目 17
T 20	南多摩城山公園	東京都稲城市向陽台 4 丁目 6 番地
U 21	貝取山緑地	東京都多摩市貝取 1-41
V 22	黒川池谷戸緑地	神奈川県川崎市麻生区黒川
W 23	稲城ふれあいの森	稲城市坂浜
X 24	清水谷戸緑地	稲城市坂浜
Y 25	稲城市百村	稲城市百村
Z 26	妙覚寺 - ありがた山石塔群	稲城市よみうりランド側
AA 27	平尾北	稲城市坂浜
AB 28	平尾西	稲城市平尾
AC 29	平尾東（杉山神社）	稲城市平尾
AD 30	根岸古墳	神奈川県川崎市多摩区柘形 2 丁目
AE 31	東生田緑地（日向山緑地）	神奈川県川崎市多摩区柘形 4 丁目
AF 32	生田緑地	神奈川県川崎市多摩区柘形 6 丁目 26 - 1
AG 33	東高根森林公園	神奈川県川崎市宮前区神木本町 2 丁目
AH 34	寺家ふるさとの森，寺家ふるさと村	神奈川県横浜市青葉区寺家町 414
AI 35	早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	川崎市早野
AJ 36	西生田・多摩緑地保全地区，多摩美緑地	神奈川県川崎市多摩区西生田一丁目（1-36-8）
AK 37	都築中央公園	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 2260
AL 38	茅ヶ崎中央公園自然生態園	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
AM 39	末長熊ノ森緑地	神奈川県川崎市高津区末長 2 丁目 35 - 40
AN 40	たちばなふれあいの森	神奈川県川崎市高津区野川
AO 41	神庭緑地	神奈川県川崎市
AP 42	井田平台緑地	神奈川県川崎市中原区井田 2 丁目
AQ 43	等々力緑地（川崎）	神奈川県川崎市 中原区等々力 1 - 1
AR 44	夢見ヶ崎動物公園，白山古墳	神奈川県川崎市幸区南加瀬 1 - 2 - 1
AS 45	松木日向緑地	東京都八王子市南大沢 1

表 III-2 調査対象地（多摩川北東側，左岸）

記号	調査地	住所
a 1	西分神社，宗徳寺裏	青梅市
b 2	勝沼山乗願寺，勝沼神社	青梅市
c 3	青梅市役所下涯線	青梅市
d 4	千ヶ淵神社	青梅市
e 5	八雲神社下斜面	青梅市
f 6	松本神社前	青梅市
g 7	松本神社裏斜面	青梅市
h 8	加美緑地	羽村市
i 9	グリーントリム公園	羽村市
j 10	羽加美緑地	羽村市
k 11	八幡稲荷神社	羽村市
l 12	シルバー人材センター	羽村市
m 13	禅林寺裏	羽村市
n 14	矢川緑地	東京都立川市羽衣町 3 丁目 26
o 15	城山公園（谷保）	東京都国立市谷保 1700
p 16	浅間山公園	東京都府中市若松町 5 丁目 4
q 17	野川公園	小金井市野川
r 18	大沢緑地	東京都三鷹市大沢 2 丁目 12
s 19	深大寺自然広場	東京都調布市深大寺南町 1-25
t 20	神代植物公園（自然広場のみ）	東京都調布市深大寺元町 5 丁目 31
u 21	入間公園	東京都調布市入間町入間町 3-6-7
v 22	芦花恒春園	世田谷区粕谷一丁目
w 23	祖師谷公園みんなの森	世田谷区上祖師谷三, 四丁目
x 24	成城 3 丁目緑地	東京都世田谷区成城 3 丁目 16
y 25	きたみふれあい広場	東京都世田谷区喜多見 9 丁目 25
z 26	みつ池緑地	東京都世田谷区成城 4 丁目
aa 27	大蔵運動公園下（アスレチック広場下）	東京都世田谷区大蔵 4-6-1
ab 28	砧公園	東京都世田谷区砧公園 1 - 1
ac 29	大蔵三丁目公園大蔵運動公園側	東京都世田谷区大蔵 3 丁目 2
ad 30	大蔵三丁目公園東宝側	東京都世田谷区大蔵 3 丁目 2
ae 31	小坂家住宅下瀬田 4 丁目広場	東京都瀬田四丁目 41-21
af 32	岡本静華堂	東京都世田谷 j 区
ag 33	上野毛自然公園	東京都世田谷区上野毛 2 丁目 17
ah 34	等々力溪谷	東京都世田谷区等々力 1-22-26
ai 35	多摩川台公園	東京都大田区田園調布 1 丁目 63 - 1
aj 36	宝来公園	東京都大田区田園調布 3 丁目 31

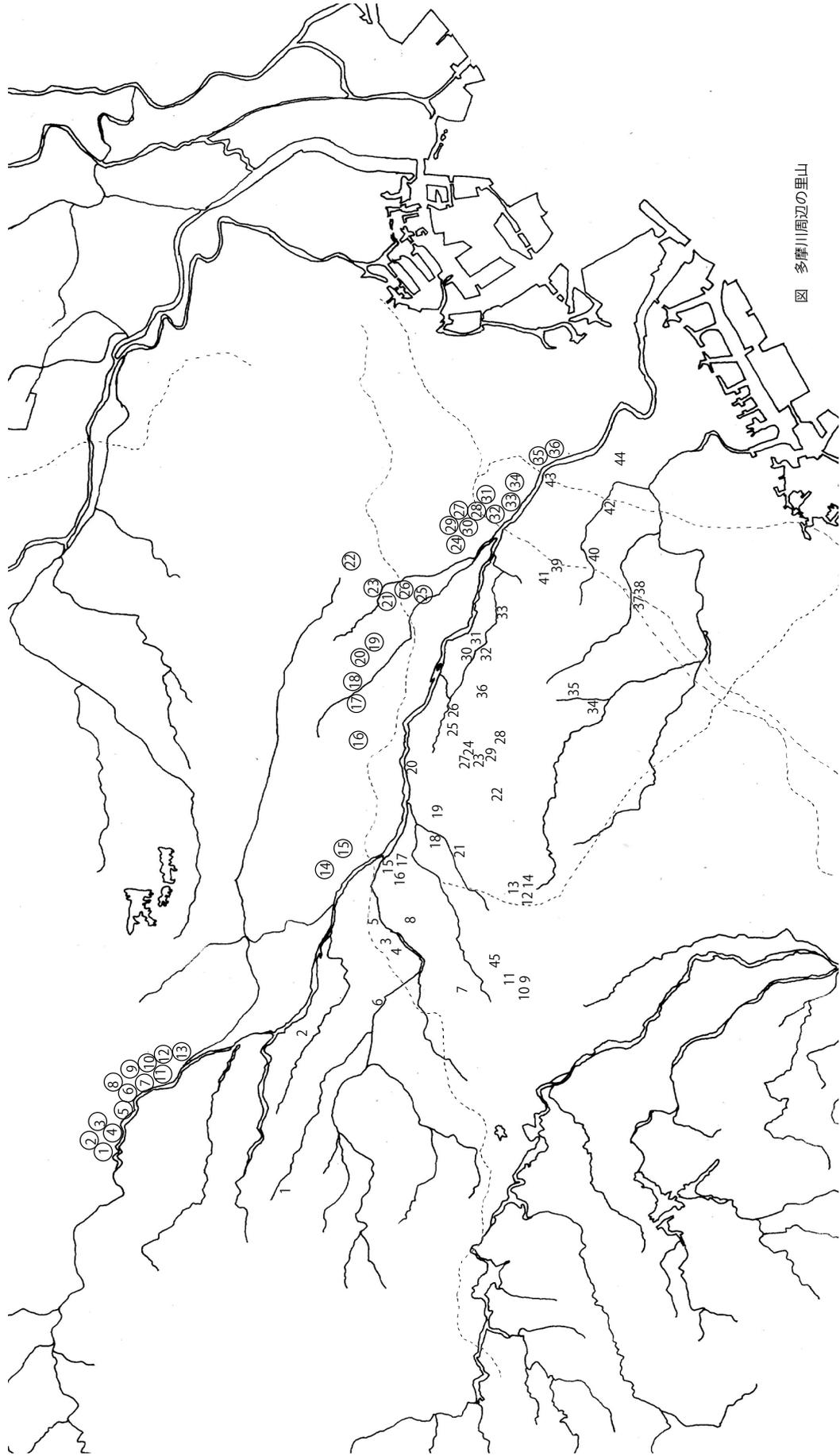


図 多摩川周辺の里山

図 III-1 調査対象地

2.2 林床の植生管理と地形が林床植物の開花と結実に与える影響

それぞれの里山を特徴付ける植物の生育には、様々な要因が関わってくる。中でも地形や人の管理は、植物の生育に影響する。本項では、代表的な林床植物の生育環境を把握するため、異なる地形と管理の有無が植物（植生）の生育に及ぼす影響について調べた。

具体的には、里山林の管理放棄は林床におけるアズマネザサの優占を助長させ、林床植物の出現種数の減少、開花率の低下に影響するとされている。そこで、管理放棄された里山を対象にアズマネザサの刈取り管理を再開することによる林床植物への影響を調べるため、2013年の調査（中島 未発表）において対象地における優占種とされたジャノヒゲ、ヤブランを対象種とし、個体数及び、開花（花序形成率とする）・結実率を調査した。

2013年に刈取りの有無（刈取り区、対照区）と立地（谷、南斜面、北斜面、尾根、林冠ギャップ）に着目し、計9箇所のプロットを設置し、2014年に5m×5m調査枠を設置、4反復行えるように1コドラート2.5m×2.5mに4分割し、ジャノヒゲ、ヤブランの個体数、並びに開花率、結実率を調査した。

3. 多摩川周辺の里山 81 箇所の植物踏査

3.1 樹木の巨木調査

(1) 事由

植生調査を行うためには、そのスケールをどのように捉えるのかが重要となってくる（井手他 1989, 武内 2006, 武内他 1990, Monica et al. 2001, 大森他 2005, 大澤監修 2001）。広域スケール（Monica et al. 2001）でみて、広く網羅的にみてもから細部を調べていく方法（大澤監修 2005, 沖津 2014）と、詳細スケール（Monica et al. 2001, 1/10 ~ 1/1）で、細かく 1 つ 1 つ調べて積み上げていく方法が考えられる。前者には、広い範囲を平均的に（等しいものとして）比較できるが、個体レベルでの見落としが生じる。都市に近い多摩川周辺の里山を調べる上で、これまでの植生調査法では、縮小率が高過ぎて、各里山の特徴がつかめきれなかった。その代表的な手法として広範な面積の植物調査はこれまで、ブラウン・ブランケット法等を用いた植生調査法が用いられてきた（小寺 2008, 島田他 2008, 大澤 2005, 植田 2002, 武内他 1990, 中村 2007, 沖津 2014, 井手他 1989, 石坂 1987）。しかし、この手法であると、調べる調査区の設置場所によっても異なってくる。特に草本は生育期間が季節によって限られ、見落としも生じる。稀少植物であれば個体数が元々少ないので見落としが起きる率が上がる。後者の方法では、児童公園レベル（1ha 以下）のスケールであれば全数調査等も可能である。（加藤他 1997, 奥他 1976）しかし、それ以上の面積（10ha を超える）では、限られた時間内での全植物の個体数や種数の調査はほぼ不可能である。その際特定の種のみを調べる方法も考えられる（小泉 1995, 小泉 2001）,

近年、里山といっても道路建設等による分断化によって、その面積は非常にせまくなってきている。10ha あれば広いともいえる状況である。そのせまい面積では本木、中でも巨木の存在感は大きい。例えば、常緑樹と落葉樹では、その林床植物の生育に及ぼす影響が異なるように、その巨木の樹種によってある程度他の植物の様子もわかる。巨木は、その存在感を表すだけでなく、その周囲に巨木の子孫と思われる巨木に準じた樹木が多いこともある。その結果、巨木の周囲にある樹種や林床植物の生育にも大きく影響し（松村他 2007, 橋詰 1991, Miyata 1983）、里山を特徴付けることになる。すなわち巨木は、里山の特徴をみるための重み付けられる形質（要素）になる。

樹木、特に巨木は長い歴史の上でみられるのであるから、里山の昔の状態（利用のされ方）から現在までの長期間の状態を示しているとも考えられる。逆にいうと、低木や草本は移植等もできるので、これらをもみても一時的な調査結果になる可能性が高い。特に草本は、調査時期（等）によっても、その生育、開花、休眠があり、安定した記録を得がたい。

一方、里山の植物の生育には、人の手が関わってきた（山崎他 2000, 齊藤他 2003, 石坂 1987, 上條 1997, 浜端 1980, 寺井 2007, 紙谷 1986, 飯田・谷本 1992, 佐野 1999, 石坂 1987, 島田他 2008, 久野他 2001, 重松 1983, 藤江・石井 1985, 山本他 2000, 深町・佐久間 1998）。その一つに里山には、必ずといえる程、信仰対象（神社、祠）があり、そこに無視できない巨木や種がある。

一方、樹木（巨木）の保護の視点に立つと、市街地にある巨木の指定等は各自治体によってすすめられている。しかし、郊外（里山）の巨木については、十分に調べられていない。改めて見直すと、稀少な種であったり、極めて大きい巨木であることもある。そのため、突然の開発によってその価値が認められないまま切られる巨木もみられる。また市街地にみられる巨木は、狭い空間で根がつまって生育している状況が多い。いづれ多くの巨木がなくなっていくものと予想され、巨木そのものの保存活動（記録）が急務である。

また大北（1985）が、クヌギとコナラの萌芽力の違いをみたように、種によっては巨木になりやすい特性をもつものとなりにくい特性をもつものがある。これらの巨木の本来の特性を調べるためにも周囲の建物等もない土壌が十分にある、里山での調査が重要になってくる。

以上のことから、本研究では、各里山にある巨木を調べ、これを各里山を特徴づける重み付けされる第一要素とした。

(2) 調査方法

この調査にあたっては、極力現地で見落とすことがないように、あらかじめ文献やインターネット情報で巨木の有無を調べ、踏査した。

巨木は環境省の基準によって 1.2m の高さで胸高幹周を測量し、概ね幹周 300cm 以上を目安とした。株立ちの場合も各幹の周長を測った。針葉樹、常緑樹は幹周 2.0m 以上のもの、落葉樹は 3.0m 以上のものを巨木として測定した。

ただし、落葉樹の中でもエゴノキやアラカシ、クワについては幹周 1.5m 以上のものを測定した。

(3) 分析方法

巨木を調査した結果について、次の 4 点で分析した。

- ①巨木の有無を確認し、無い場合は、その理由を論じた。これは今後、低木、巨木でない高木、草本による分類を試みることになる。
- ②各里山における巨木各樹種の幹周の総和によって類型化した。各里山の巨木の量、種別の特徴を示すため、まず、巨木各樹種の幹周の総和を求めて、クラスター分析（以下全て群平均法）を行った。

- ③各里山の樹種ごとの巨木の本数を求めた。各里山の樹種の出現割合を把握するため、各里山内に関する各樹種の全巨木数の合計に対する割合を求めた。また各樹種ごとに、全本数の合計に対する各里山の樹種数の割合を求めた。
- ④各種の最大幹周によって類型化した。各巨木の種の最大幹周によってクラスター分析を行った。
- ⑤ヤマザクラの巨木の類型化を行った。これは、最も多い巨木としてヤマザクラがあげられ、ほとんどの里山でみられたためである。「里山」の成立には人為的な管理の影響が大きい。2010年から行ってきた川崎市麻生区の早野梅ヶ谷特別緑地保全地区における下草刈り等の人為的管理の実験によって、ヤマザクラを始めとする巨木が残るためには、周辺の高木（特に陰生植物）を伐採する等の定期的な伐採が必要であること、もし、行わない場合、根の未発達によって、台風等の強風によって倒木する。それは幹の太さ（細さ）に関係なく起こることがわかってきた。逆にいうと、長年管理されてきた里山では、太い株立ちのヤマザクラが生育していた。つまり、ヤマザクラの巨木の有無によって、関東地方のそれぞれの里山におけるこれまでの管理状態がある程度推測できることがわかった。

さらに「人工的な公園では、ソメイヨシノに植え替えられてしまうが、これまでの里山では、ヤマザクラが残っている」というように自然状態を測る目安になることがわかってきた。また、「苗代桜」等と、生活にも結び付いてきたのが一般的であること、従って里山周辺の農家等によって大切にされてきた（鈴木 2010）等の理由で、ヤマザクラは生活に密接に関わってきた可能性が大きいものと考えられ、これを詳しく分析した。

3.2 草本

樹木の調査とあわせて、踏査時にそれぞれの里山における草本の種を調べた。特にその種の個体数について、多い場合と、極めて少ない場合は、その記録を行った。

4. 文献に表れている里山 81 箇所の植物

それぞれの里山で、一部の植物愛好家等による個々の植物調査データはあるが、体系的あるいは連続的に調べられていなく、それぞれの知見（データ）が埋もれてしまっていた。そこで、各里山で調べられている報告書や内部資料を問い合わせ、許可を得た上で、種のリストづくりを行った。

5. 里山の植物の生育に及ぼす諸要因

特に草本の生育については、季節の違いや長期間の人為的利用（管理）の影響が大きい。そこで、里山の植物の生育に及ぼす人為的な要因を調査するため、①ヤマザク

ラの巨木下の植物調査と②信仰対象の有無について調べた。

前者は、巨木の調査を行っていたところ、特にヤマザクラの株数と幹周及びその下の植生をみると、長年人為的な利用・管理が行われてきた里山では、ヤマザクラの株立数が多く、幹周も太いこと、またその樹木下の林床植物や陰生植物等の種数や形態に影響を及ぼすことが推測できた。そこで、ヤマザクラの巨木の株立数と幹周、及びそのヤマザクラを中心とした10m×10m、または20m×20mのプロット内の植生調査を行った。植生調査は、ブラウン、ブランケット法によって+、1:1/10、2:1/10～1/4、3:1/4～1/2、4:1/2～3/4、5:3/4～1の階級で被度を求めた。後者は宮本（2011）によれば、里山には必ずといっていいほど、お稲荷様などの信仰対象があるという。そこで長年の里山の利用の有無が、この信仰対象の有無によって予測できるのではないかと考え、調べた。

IV. 結果

i. 里山の求積と土地利用の実態

調査対象値の里山の実面積，すなわちアスファルトコンクリートや施設等を差し引いた土壌の面積のみを求めたところ，表 IV-1, -2 (写真 IV-1 ~ 18) の結果が得られた。

10ha を超える「里山」は，多摩川右岸（南西側）で 19 ケ所，左岸（北東側）で野川公園と砧公園の 2 ケ所のみであった（図 IV-1, 2）。その中，広い面積の緑地として稲城市百村の 303ha，生田緑地の 175ha が上げられた。

動線にもよるが，10ha を下る面積では，散策しても 2 時間あれば十分であった（図 IV-3）。多摩川周辺の里山の面積は年々，せまくなっており，分断された 1 ケ所の里山だけで散策コースを設定することは，極めて困難な状況にあるといえた。そのうち，小山田緑地は，上，山中・大久保分園，梅木窪分園と分かれているが緑地を踏査するとアスファルト道路で明らかに分断されており，これに白山神社側を加えた 3 ケ所に分けられた。

また，制度としてあげられている公簿上の面積と実測の面積と比較してみると，実面積が公簿上の面積の 10%内外の時もあった。特に多摩川北東側（左岸）では，「緑地」といっても施設ばかりで，オープンスペースとはいえない状況も散見された。

制度上は管理する自治体が異なるので，異なる緑地とされていたが，土壌（植生）としては連絡している場合もあった（写真 IV-2）。



写真 IV-1 東豊田緑地保全地区，May 17, 2014.



写真 IV-2 七生公園の緑地，May 3, 2014.

表 IV-1 各調査地（里山）の自然緑地面積（多摩川南西部，左岸）

記号	番号	調査地	面積 (m ²)	面積 (ha)	公式面積	備考
A	1	武蔵五日市北	23,250.0	2.3		
B	2	滝山公園 - 小峰ヶ原園地	26,673.5	2.7	266849.41m ²	
C	3	東豊田緑地・黒川清流公園	51,486.1	5.1	11326	
D	4	多摩平第3緑地	4,696.8	0.5	5041	
E	5	神明野鳥の森公園	8,412.0	0.8		
F	6	小宮公園	243,915.9	24.4	251719.27	通路をなぞる
G	7	長沼公園	362,470.4	36.2	362470.35	
H	8	南平 - 七生公園	456,174.0	45.6		41,215 m ² (南平丘陵公園)+8h七尾
I	9	小山内裏公園	438,008.1	43.8	459211.09	
J	10	鎌水小山緑道	101,646.0	10.2	108,413	
K	11	南大沢緑地	10,009.0	1.0	10009	
L	12	小山田緑地(山中 - 大久保分園)	191,187.5	19.1	443192.58 (全体)	
M	13	小山田緑地(梅木窪分園)	264,536.2	26.5	443192.58 (全体)	
N	14	小山田緑地(白山神社)	35,217.0	3.5	443192.58 (全体)	
O	15	百草園北, 大宮神社側	43,132.2	4.3	26000	
P	16	百草園 - 八幡神社	82,306.6	8.2	26000	
Q	17	百草園南: 東電学園, 六地藏付近 (七生丘陵)	154,474.7	15.4	26000	
R	18	原峰公園	29,078.5	2.9	30190	
S	19	桜ヶ丘公園	328,200.1	32.8	339322.38	通路をなぞる
T	20	南多摩城山公園	212,500.0	21.3	9.9ha	基地内約 6400000
U	21	貝取山緑地	24,500.0	2.5	64446	
V	22	黒川池谷戸緑地	8,126.0	0.8	8126	
W	23	稲城ふれあいの森	64,625.0	6.5		
X	24	清水谷戸緑地	147,000.0	14.7	147000	
Y	25	稲城市百村	3,031,250.0	303.1		
Z	26	妙覚寺 - ありがた山石塔群	181,250.0	18.1		
AA	27	平尾北	212,500.0	21.3	25.1ha	
AB	28	平尾西	64,812.5	6.5	25.1ha	
AC	29	平尾東 (杉山神社)	362,500.0	36.3	25.1ha	
AD	30	根岸古墳	13,312.5	1.3		
AE	31	東生田緑地 (日向山緑地)	27,000.0	2.7		
AF	32	生田緑地	1,758,975.0	175.9	179.3ha (計画用地含む)	26651 (建蔽)
AG	33	東高根森林公園	116,092.0	11.6	117000	マイナス 164+188+322 +92+66+76 (建蔽) +500 (木道)
AH	34	寺家ふるさとの森, 寺家ふるさと村	985000	98.5	985000	
AI	35	早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	110,000.0	11.0	11ha	
AJ	36	西生田・多摩緑地保全地区, 多摩美緑地	78,875.0	7.9		
AK	37	都築中央公園	69,312.5	6.9	19.6ha	
AL	38	茅ヶ崎中央公園自然生態園	47,125.0	4.7		
AM	39	末長熊ノ森緑地	19,062.5	1.9	1965.26	
AN	40	たちばなふれあいの森	7.7	7.7	7.716	
AO	41	神庭緑地	57,677.3	5.8	1.9ha	
AP	42	井田平台緑地	21,490.5	2.1	0.3ha	
AQ	43	等々力緑地 (川崎)	51,134.0	5.1	435914	
AR	44	夢見ヶ崎動物公園 (ヤマザクラなし), 白山古墳	53,842.2	5.4	66000	
AS	45	松木日向緑地 (首都大学内)	128,798	12.9	130,000m ²	

表 IV-2 各調査地（里山）の自然緑地面積（多摩川北東部，右岸）

記号	番号	調査地	面積 (㎡)	面積 (ha)	公式面積	備考
a	1	西分神社，宗徳寺裏	41,641	4.2		
b	2	勝沼山乗願寺，勝沼神社	10,313	1.0		
c	3	青梅市役所下涯線	1,250	0.1		
d	4	千ヶ淵神社	5,500	0.6		
e	5	八雲神社下斜面	1,750	0.2		
f	6	松本神社前	1,125	0.1		
g	7	松本神社裏斜面	1,625	0.2		
h	8	加美緑地	8,938	0.9		
i	9	グリーントリム公園	6,563	0.7		
j	10	羽加美緑地	5,688	0.6		
k	11	八幡稲荷神社	2,313	0.2		
l	12	シルバー人材センター	3,125	0.3		
m	13	禅林寺裏	3,125	0.3		
n	14	矢川緑地	12,125	1.2		
o	15	城山公園（谷保）	26,313	2.6		
p	16	浅間山公園	34,250	3.4		
q	17	野川公園	350,302	35.0	399763.78m ²	
r	18	大沢緑地	6,313	0.6		
s	19	深大寺自然広場	51,980	5.2		
t	20	神代植物公園（自然広場のみ）	56,242	5.6	12,563	
u	21	入間公園	4,191	0.4	4448m ²	
v	22	芦花恒春園	2,122	0.2	80304.43m	70752.41（全体土壌のみ）
w	23	祖師谷公園みんなの森	3,324	0.3		
x	24	成城3丁目緑地	3,275	0.3		
y	25	きたみふれあい広場	32,864	3.3		
z	26	みつ池緑地	13,188	1.3		
aa	27	大蔵運動公園下（アスレチック広場下）	7,500	0.8		
ab	28	砧公園	343,751	34.4	20441（建蔽）+	391,777.35
ac	29	大蔵三丁目公園大蔵運動公園側	2,750	0.3		
ad	30	大蔵三丁目公園東宝側	5,313	0.5		
ae	31	小坂家住宅下瀬田4丁目広場	9,274	0.9		
af	32	岡本静華堂緑地	31,123	3.1	31,123	
ag	33	上野毛自然公園	47,581	4.8		
ah	34	等々力溪谷	5,442	0.5	34886.62m ²	大木周辺のみ面積
ai	35	宝来公園	11,173	1.1	12,400	152.795（コンクリート）
aj	36	多摩川台公園	63,887	6.4	66,661	

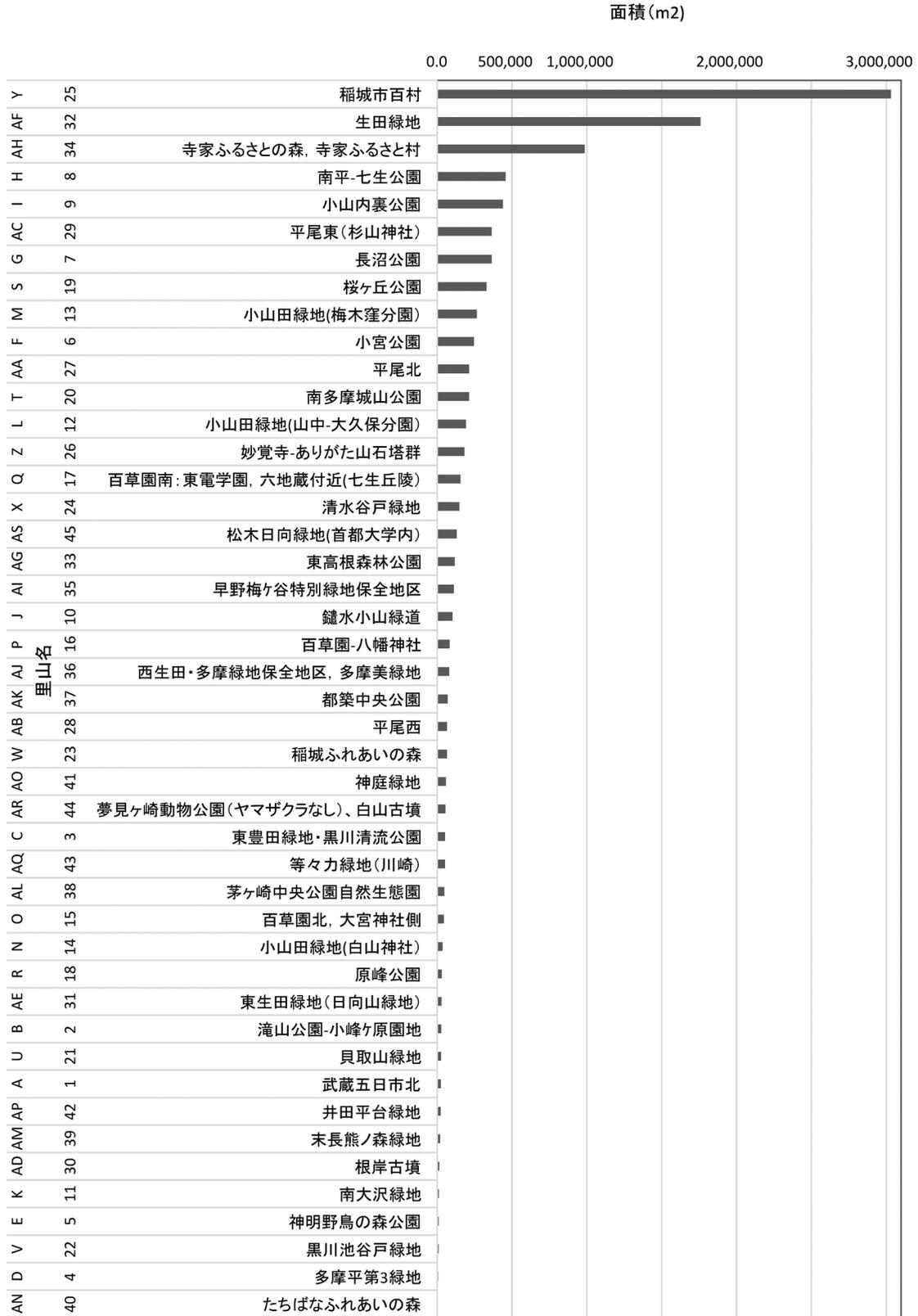


図 IV-1 調査地 (里山) の面積 多摩川南西部 (右岸).



図 IV-2 調査地（里山）の面積（m²），多摩川北東部（左岸）.

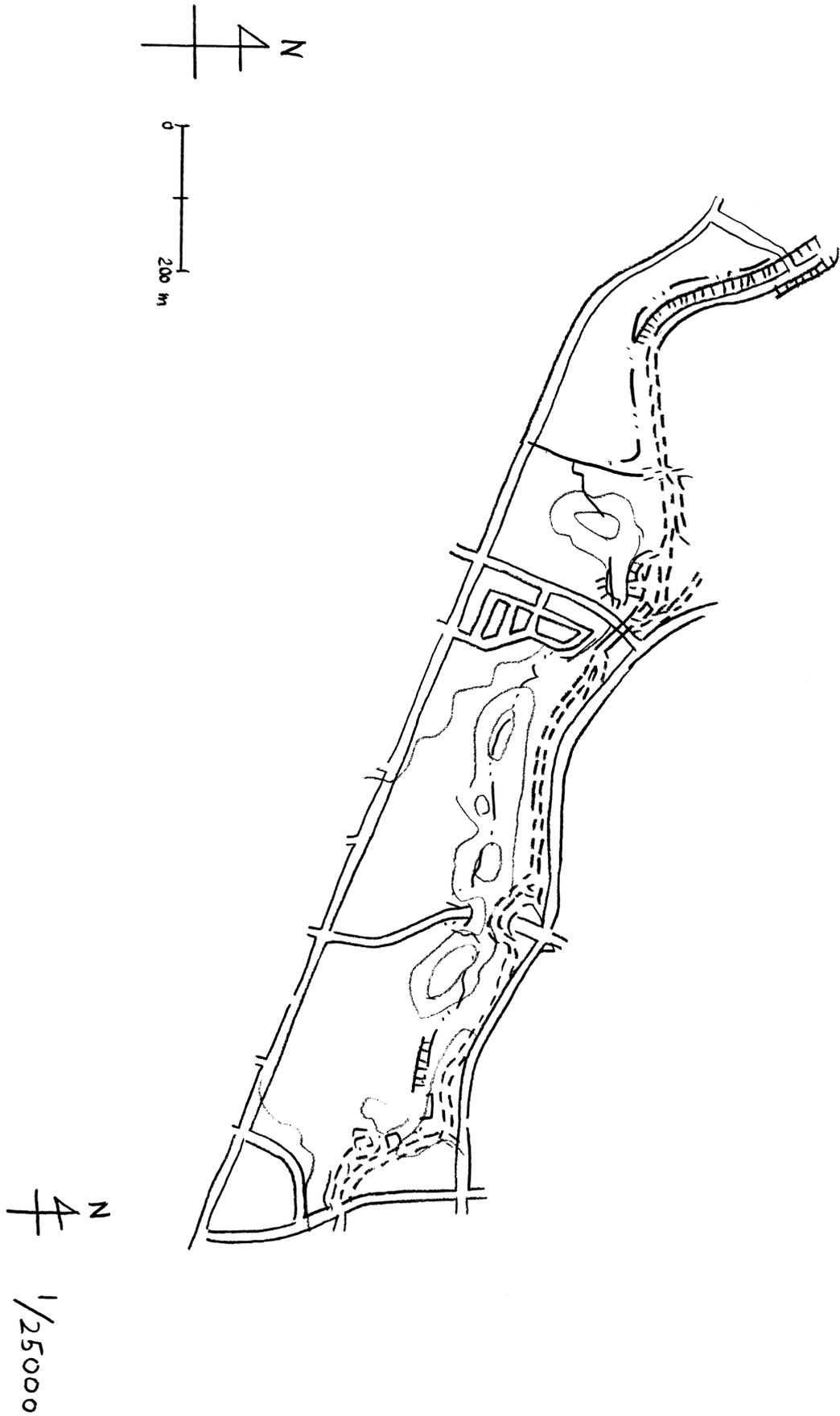


図 IV-3 里山の面積求積図（鍮水小山緑道の例）



写真 IV-3 等々力溪谷緑地



写真 IV-4 生田緑地, Mar.24, 2014.



写真 IV-5 小山内裏公園, May 25, 2014.



写真 IV-6 多摩境, May 25, 2014.



写真 IV-7 桜ヶ丘公園, Aug.17, 2014.



写真 IV-8 桜ヶ丘公園, Aug.17, 2014.



写真 IV-9 稲城 ありがた山, 周辺の開発,
Aug.18, 2014.



写真 IV-10 中流の景観, 滝山公園から 川を望む,
Aug.11, 2014.



写真 IV-11 東生田緑地より多摩川を望む, May
18, 2014.



写真 IV-12 下流の里山の景観 (井田平), June 1,
2014.



写真 IV-13 下流の里山の景観 (慶応大学付近),
June 1, 2014



写真 IV-14 下流の里山からの景観 (夢見ヶ崎動物
公園), June 1, 2014.



写真 IV-15 南平 - 七生公園を望む, April 5, 2014.



写真 IV-16 長沼公園からの多摩川を望む, April 5, 2014.



写真 IV-17 大沢緑地, 涯線, April 29, 2014.



写真 IV-18 野川, April 29, 2014.

ii. 植物の生育に及ぼす地形と管理の影響に関する実験

1. 長期間管理放棄された二次林の4年後の変化

約20年間の長期間、管理放棄された里山にて下草刈りと枯死木、及びシラガシやヒサカキ等の陰生植物の伐採を行った。その結果表IV-1に示すように、管理を再開した後に、多くの倒木・枯死がみられた。際立つ枯死木としてエゴノキやミズキ、ウヅミザクラ、コナラがあげられた。また表IV-2に示すようにヤマザクラについても、枯死、あるいは一部の幹の枯死がみられた。特にヤマザクラの枯死木については、幹周が1.0mを超えるようなものも多くみられた。

表 IV-1 長期間管理放棄された里山において管理再開後にみられた枯死・倒木の一覧

(July13, 2014 現在)

間伐実施年	2010	2011	2012	2013
調査日	Sep 5, 2010 幹周 (m)	Sep 9, 2011 幹周 (m)	Aug. 20, 2012 幹周 (m)	Sep.17, 2013 幹周 (m)
実験区 (刈取り区)				
1		エゴノキ 0.63 コナラ 0.31		クヌギ 1.01
2		ミズキ 0.65 ムラサキシキブ - コナラ 1.2 ヤマザクラ 0.39	ヤマコウバシ 0.08 クヌギ 1.25 エゴノキ 0.63 エゴノキ 0.4 ヤマザクラ* 1 アオダモ* 0.28 エゴノキ 0.4	クヌギ 0.61
3		ヤマザクラ 1.73+0.76+1.25 スギ 1.09	クヌギ 0.84 ヤマザクラ 1.44	
4		コナラ 0.73+0.42	クロモジ 0.14 エゴノキ 0.2	コナラ* 0.56
5		イヌシデ 0.62	エゴノキ 0.27+0.24 コナラ 0.39	ケヤキ* 0.3 ヤマザクラ* 0.478, 0.723
6		ウワミズザクラ* 0.6, 0.56 コナラ* 0.4, 0.655 エゴノキ* 0.21	コナラ 1.05 コナラ 0.53	
7		エノキ 0.096 コナラ 0.39 エゴノキ 0.57 エノキ 0.038 エゴノキ 0.518 エゴノキ 0.35 エゴノキ 0.26 シラキ 0.1 コナラ 0.26+0.38	コナラ 0.53 コナラ 0.25 エノキ 0.1	ウワミズザクラ 0.92 ヤマザクラ 0.83 エゴノキ 0.365
8		ハンノキ 0.49 ハンノキ 0.5 ハンノキ 0.35 コナラ* 0.17		

*: 株立ち, 一部の幹を伐採

表 IV-2 長期間管理放棄された里山において管理再開後にみられたヤマザクラの枯死・倒木の一覧
(July 13, 2014 入力)

2010 年度の幹周 (m)		2014 年度までの生育の有無, 枯死伐採年	備考 (株立ちのうちの一部)
1 区	0.4	生育	
2 区	1.07+0.98+1.04 0.38+0.35 0.86+0.98+1.01	生育 2011 生育	0.38+0.35
3 区	1.19 + 1.11+0.95+0.95 1.49 1.29 0.79+1.15+1.06 0.68 0.82+0.70+0.66	生育 2012 生育 2011 生育 生育	1.49 0.79+1.15+1.06
4 区	0.83+1.28+1.12 0.59+1.07+0.88	生育 2012, 2014	0.59 (2012), 1.07,0.88(2014)
5 区	0.85+0.85+0.75+0.74+0.73+0.62+0.47 1.08 1.1+0.87 0.79+1.16+0.36 0.93+0.42	2013 生育 生育 生育 2014	0.47, 0.73 0.93+0.42
6 区	0.945+0.81+0.995+0.79 0.325+0.445+0.48+0.335	生育 2014	全
7 区	0.8+0.33+0.5+0.45+0.5+0.92	2013	0.8
8 区	0.85+0.50+0.61 0.46+0.98+0.87+0.79 0.95+0.55+1.15	生育 生育 生育	

23 本 (株) のうち 8 本枯死伐採

2. 林床の植生管理と地形が林床植物の開花と結実に与える影響

個体数では、ジャノヒゲは対照区・北斜面，対照区・谷の順に多く，林冠ギャップでは個体数が著しく少なかった（表 IV-1）。刈取りの有無での差は小さく，地形による差のほうが大きかった。一方，ヤブランは対照区・谷，刈取り区・谷で多く，ジャノヒゲ同様，個体数には地形が起因しているものと考えられる。続いて，花序形成率（花序形成個体数 / 生育個体数）ではジャノヒゲは刈取り区・谷が，最も高く，6割を超える結果になった。また，対照区・南斜面を除いて刈取り区の方が対照区よりも高かった。（表 IV-2，図 IV-4）。ヤブランは，刈取りの有無でそれぞれのプロットを比較すると，谷，南斜面，北斜面，尾根のすべてにおいて刈取り区で高く（表 IV-2，図 IV-5），特に刈取り区の林冠ギャップが最も高かった。一方，刈取り区内でも尾根では，花序形成率は低く，対照区尾根では花序形成が確認されなかった。

結実率（結実個体数 / 花序形成個体数）ではジャノヒゲでは，プロット別に刈取り区と対照区で結実率を比較すると，わずかながら刈取り区のほうが高かった（表 IV-3，図 IV-6）。一方，ヤブランは，対照区・北斜面，対照区・尾根では結実個体が観察できなかった（表 IV-3，図 IV-7）。プロット別に，刈取り区と対照区で結実率を比較すると，すべてのプロットで刈取り区のほうが高かった。

以上のことから，個体数においては刈取りによる影響は小さく，谷で比較的，個体数が多くなることから，地形が大きく関係しているといえる。しかし，開花には両種とも刈取りによって花序形成率が高くなることから，地形ではなく，刈取りによる光環境が影響していると推察される。また，結実にはジャノヒゲはどのプロットにおいても，結実率に差がほとんどみられなかったことから，開花した場合，刈取りの有無に関係なく，結実に至っているが，ヤブランに関しては開花同様，刈取り区内で結実率が高かったことから，刈取りに起因する資源獲得の機会（光合成産物や花粉資源の供給）が増加したと予想される。よって，ジャノヒゲやヤブランの個体数は地形に起因するものであるが，個体群維持に関わる開花・結実には刈取りの有無が関係していることがわかった。

表 IV-3 調査プロット別個体数

	刈取り区		対照区	
	ジャノヒゲ	ヤブラン	ジャノヒゲ	ヤブラン
谷	285	83	383	126
南斜面	176	26	152	40
北斜面	240	32	478	22
尾根	149	67	162	11
GAP	39	8		

表 IV-4 調査プロット別花序形成率 (=花序形成個体数 / 生育個体数) (平均±標準偏差)

	ジャノヒゲ		ヤブラン	
	刈取り区	対照区	刈取り区	対照区
谷	0.63 ± 0.15	0.05 ± 0.05	0.43 ± 0.14	0.21 ± 0.20
南斜面	0.43 ± 0.13	0.58 ± 0.13	0.50 ± 0.35	0.08 ± 0.15
北斜面	0.31 ± 0.25	0.11 ± 0.05	0.59 ± 0.28	0.06 ± 0.09
尾根	0.38 ± 0.07	0.12 ± 0.13	0.17 ± 0.07	0.00 ± 0.00
GAP	0.48 ± 0.25		0.75 ± 0.5	

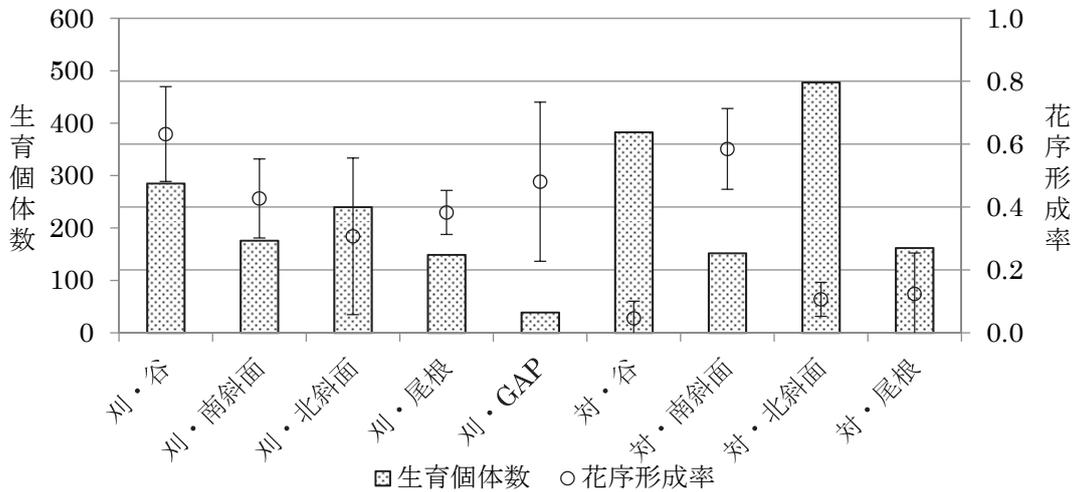


図 IV-4 ジャノヒゲの花序形成率 (花序形成個体数 / 生育個体数)

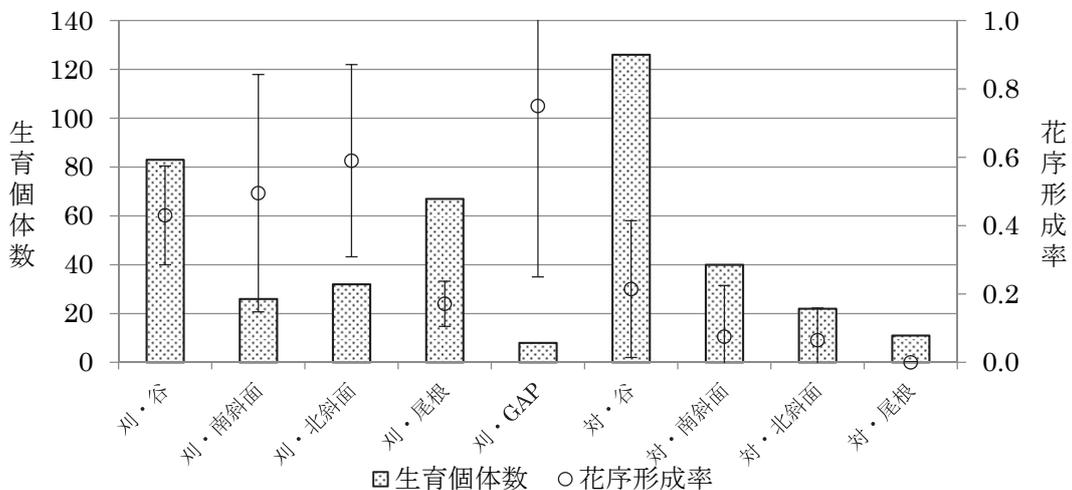


図 IV-5 ヤブランの花序形成率 (花序形成個体数 / 生育個体数)

表 IV-5 結実率 (=結実個体数 / 花序形成個体数) (平均±標準偏差)

	ジャノヒゲ		ヤブラン	
	刈取り区	対照区	刈取り区	対照区
谷	0.86 ± 0.12	0.59 ± 0.45	0.77 ± 0.26	0.24 ± 0.35
南斜面	0.92 ± 0.07	0.79 ± 0.16	0.90 ± 0.20	0.08 ± 0.17
北斜面	0.78 ± 0.17	0.70 ± 0.23	0.11 ± 0.22	0.00 ± 0.00
尾根	0.79 ± 0.15	0.56 ± 0.41	0.50 ± 0.41	0.00 ± 0.00
GAP	0.82 ± 0.29		0.69 ± 0.55	

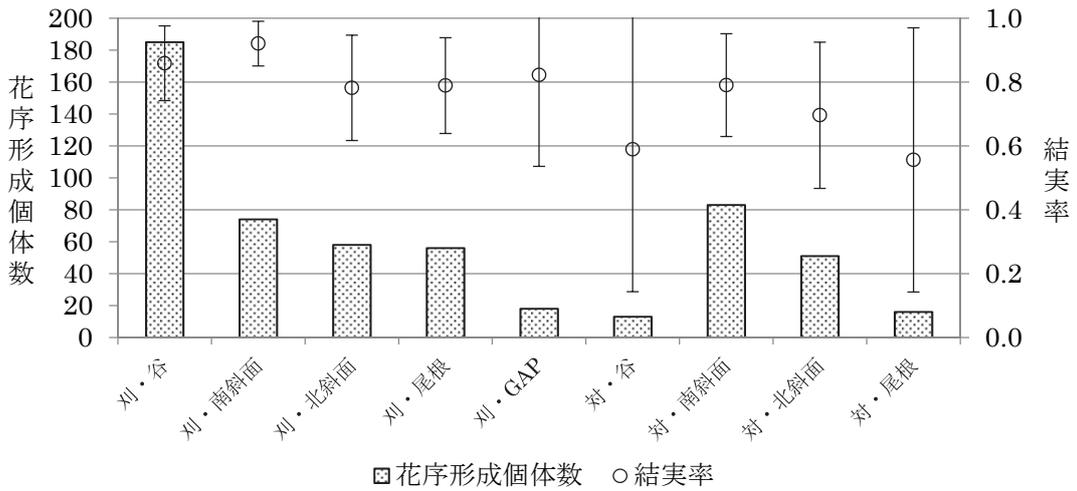


図 IV-6 ジャノヒゲの結実率 (結実個体数 / 花序形成個体数)

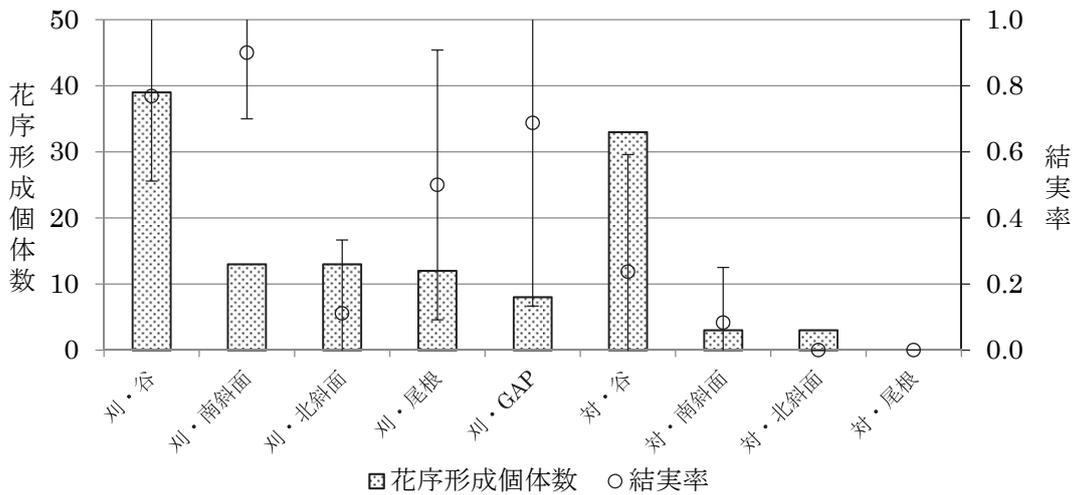


図 IV-7 ヤブランの結実率 (結実個体数 / 花序形成個体数)

iii. 多摩川周辺の里山 81ヶ所の植物踏査

調査結果の概要を表 IV-4, -5 に示し, 1. 巨木の有無とその大きさ, 2. 植物踏査の結果を以下に記す。

1. 巨木の有無とその大きさ

(1) 巨木の本数

① 各里山で観察された巨木の種と本数

表 III-6, 図 III-8 に示すように, 巨木として最も多いのはヤマザクラであり, その他の種の約 4 倍をみた。次いで, コナラ, シラカシ, ケヤキ, イヌシデとなった。それ以下ではモミノキが多く, アカシデ, メタセコイア, アカマツとなった。これらコナラ, シラカシ, ケヤキ, イヌシデの多いところは, ヤマザクラも多かった。珍しい種としては, 武蔵五日市のシダレアカシデ, 松木日向山緑地のオオツクバネガシ, 多摩川台公園のアカガシ, 東生田緑地のウワミズザクラ, (写真 IV-2) 砧公園のシマサルスベリがあげられた。なお砧公園は元はゴルフ場であった場所, 一部に雑木林も残っている。今は「公園」として利用されており「里山」とは言いがたいが, 巨木が多くみられた。

また外来種としてヒマラヤスギやユリノキが, 雑種としてソメイヨシノがあげられた。さらにクスノキやカゴノキ(写真 IV-1) イチョウの巨木もみられたが, これらは, 信仰対象内や, 記念館脇に植栽されていた。カツラやヒノキ, サクラ等は巨木としてみることができなかった。

多摩川の北東部(東京都内側)の巨木の本数は, 南西部(神奈川県, 東京都稲城市, 八王子市, 多摩市)に比べて著しく多かった。北東部では, 巨木がみられない緑地も



写真 IV-1 カゴノキ, 小山田緑地, Sep. 28, 2014.



写真 IV-2 東生田緑地, ウワミズザクラの巨木, May 18, 2014.

表 IV-4 調査対象地の概況 (多摩川南西部)

多摩川南西部 (右岸)		調査年月日	調査地	住所	頂上の標高 (m)	巨木の有無	信仰対象の有無
A	1	May 1 & Sep5, 2014	武蔵五日市北		270		有 徳蔵寺
B	2	Aug23, 2013, Mar.25, Aug11.2014	滝山公園 - 小峰ヶ原園地	東京都東久留米市滝山 5 - 3 - 6	160	有 (ヤマザクラ)	有
C	3	May.17, 2014, Aug 6, 2014	東豊田緑地・黒川清流公園	東京都日野市東豊田三丁目, 多摩平二丁目, 多摩平七丁目	90	有	-
D	4	May.17, & Aug 6, 2014	多摩平第 3 緑地	東京都日野市豊田	100	有	無
E	5	May.17, 2014 Sep.17,2014	神明野鳥の森公園	東京都日野市 神明 2 丁目	90	有	無
F	6	Mar28, Aug11.2014	小宮公園	東京都八王子市市暁町 2 丁目 41 - 6	152	有ヤマザクラ	無
G	7	April.5, July 20, Aug.7.,2014	長沼公園	東京都八王子市長沼町	184.6	有ヤマ	有
H	8	May.3, Aug 8, 2014	南平 - 七生公園	東京都日野市南平 9 丁目, 程久保 6 丁目	153-170.9	有 (ヤマザクラ)	有
I	9	May.25, 2014, Aug19, 2014	小山内裏公園	東京都町田市小山ヶ丘 4 丁目 4	182.4	有	-
J	10	May.25, 2014	鎌水小山緑道	東京都八王子市鎌水二丁目 176 - 1	160		-
K	11	May.25, 2014, Aug.19,2014	南大沢緑地	東京都八王子市南大沢 5 丁目 1	150	有	-
L	12	Sep. 14, 2014 Sep. 28, 2014	小山田緑地 (山中 - 大久保分園)	東京都町田市大久保	104	有	有
M	13	Sep. 28, 2014	小山田緑地 (梅木窪分園)	東京都町田市下小山田町	134	有	有
N	14	April 30, 2013	小山田緑地 (白山神社)	東京都町田市下小山田町 361-10	101		有
O	15	Apl.27, Aug. 16, 2014	百草園北, 大宮神社側	東京都日野市	119	有	有
P	16	Apl.27, Aug. 16, 2014	百草園 - 八幡神社		142	有	有
Q	17	Apl.27, Aug. 16, 2014	百草園南: 東電学園, 六地藏付近 (七生丘陵)	東京都日野市緑と清流課 緑地信託管理地	124	有	有 六地藏
R	18	May.2, Aug.17, 2014	原峰公園	東京都多摩市関戸 6 丁目 28	90	有	有
S	19	Oct. 2, 2013, June14, Jun.29, & Aug17, 2014	桜ヶ丘公園	東京都多摩市連光寺 5 丁目 17	128	有	有
T	20	April 20, Aug 9, 2014	南多摩城山公園	東京都稲城市向陽台 4 丁目 6 番地	135	有	有
U	21	April 30, 2013, Apl.14, 2014, Sep.9,2014	貝取山緑地	東京都多摩市貝取 1-41	116	有	-
V	22	Aug.6, 2014 Sep.15.2014	黒川池谷戸緑地	神奈川県川崎市麻生区黒川	144.5	有	有
W	23	2013	稲城ふれあいの森	稲城市坂浜	108		-
X	24	2013, Aug.28, 2014	清水谷戸緑地	稲城市坂浜	93		-
Y	25	Aug19, Aug26, 2014	稲城市百村	稲城市百村	126	有 (ヤマザクラ)	有 神社他
Z	26	Aug. 19, 2014	妙覚寺 - ありがた山石塔群	よみうりランド側	120		有 寺院
AA	27	Aug.28, 2014	平尾北	稲城市坂浜	107	有	有 祠
AB	28	Aug.27,28, 2014	平尾西	稲城市平尾	90	有 (ヤマザクラ)	有
AC	29	Aug.28,2014	平尾東 (杉山神社)	稲城市平尾	88	有り	有
AD	30	May.18, & Sep 6, 2014	根岸古墳	神奈川県川崎市多摩区枳形 2 丁目	52	有ヤマ	有 稲荷神社
AE	31	May.18, 2014, Sep6, 2014	東生田緑地 (日向山緑地)	神奈川県川崎市多摩区枳形 4 丁目	67	有ヤマ	有 根岸稲荷

AF	32	Aug 12, 2014	生田緑地	神奈川県川崎市多摩区柘形6丁目26-1	84	有	有	
AG	33	Sep 9, 2012, Oct. 13, 2013, Mar., 25, Aug. 13, & Nov. 27, 2014	東高根森林公園	神奈川県川崎市宮前区神木本町2丁目	54	有 (ヤマザクラ)	有	
AH	34	Aug 6, 2013; Aug 29, Sep. 1, 2014	寺家ふるさとの森, 寺家ふるさと村	神奈川県横浜市青葉区寺家町414	62	有	有	
AI	35	May 4, 2013, July 17, Oct. 9, 2014	早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	川崎市早野	81	有	有	
AJ	36	Aug. 17, 2014	西生田・多摩緑地保全地区, 多摩美緑地	神奈川県川崎市多摩区西生田一丁目 (1-36-8)	100	有	有	
AK	37	June 8, 2013 & Aug. 21, 2014	都築中央公園	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 2260	50	有	有	お稲荷様, 神社
AL	38	June 8, 2013	茅ヶ崎中央公園自然生態園	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4	42	有	-	
AM	39	Jul. 12, 2014, Aug 16, 2014	末長熊ノ森緑地	神奈川県川崎市高津区末長2丁目 35 - 40	46	周辺に有り	有	
AN	40	Jul. 6, 2014	たちばなふれあいの森	神奈川県川崎市高津区野川	31	無	-	
AO	41	July 6, 2014	神庭緑地	神奈川県川崎市	40	無	無	
AP	42	June 1, 2014	井田平台緑地	神奈川県川崎市中原区井田2丁目	31	有 (ヤマザクラ)	-	
AQ	43	April 17, 2014	等々力緑地 (川崎)	神奈川県川崎市 中原区等々力 1 - 1	5	無	無	
AR	44	Jun. 1, Aug. 13, 2014	夢見ヶ崎動物公園, 白山古墳		32.5	有	有	
AS	45	Nov. 29, 2014	松木日向緑地 (首都大学内)		120	有	有	お稲荷様, 神社

- : 未調査, 面積は, 別表 (図).

表 IV-5 調査対象地の概況（多摩川北東部）

多摩川北東部 (左岸)	調査年月日	調査地	住所	頂上の標高(m)	巨木の有無	信仰対象の有無
a	1 Sep. 3, 2014	西分神社, 宗徳寺裏	青梅市	250		有 有
b	2 Sep. 3, 2014	勝沼山乗願寺, 勝沼神社	青梅市	250		有 有
c	3 Sep. 3, 2014	青梅市役所下涯線	青梅市	167		無 無
d	4 Sep. 3, 2014	千ヶ淵神社	青梅市	170		有 神社, 祠, 狐
e	5 Sep. 3, 2014	八雲神社下斜面	青梅市	170		有 -
f	6 Sep. 3, 2014	松本神社前	青梅市	170		有 神社
g	7 Sep. 3, 2014	松本神社裏斜面	青梅市	170		有 神社
h	8 Sep. 3 & 4, 2014	加美緑地	羽村市	166		- -
i	9 Sep. 4, 2014	グリーントリム公園	羽村市	154		無 無
j	10 Sep. 4, 2014	羽加美緑地	羽村市	150		無 無
k	11 Sep. 4, 2014	八幡稲荷神社	羽村市	145		有 有
l	12 Sep. 4, 2014	シルバー人材センター	羽村市	145		有 有
m	13 Sep. 4, 2014	禅林寺裏	羽村市	140		有 有
n	14 May.4, 2014. Aug.29,2014	矢川緑地	東京都立川市羽衣町 3 丁目 26	71	有	-
o	15 May.4, 2014. Aug.29,2014	城山公園 (谷保)	東京都国立市谷保 1700	60	無	有 神社
p	16 Jun.5, 2014, Sep.3,2014	浅間山公園	東京都府中市若松町 5 丁目 4	79.8	有	有 有
q	17 Apli.29, .2014, Sep.19,2014	野川公園	小金井市野川	44	有	無 無
r	18 Apli.29, .2014 Sep.19,2014	大沢緑地	東京都三鷹市大沢 2 丁目 12	58	無	有 有
s	19 Mar.29,2014, Aug.31,2014, Sep.2,2014	深大寺自然広場	東京都調布市深大寺南町 1-25	55	無	-
t	20 Aug.31,2014	神代植物公園 (自然広場のみ)	東京都調布市深大寺元町 5 丁目 31	55	有	無
u	21 Mar.29,2014, Aug. 17, 2014	入間公園	東京都調布市入間町入間町 3-6-7	30	無	無
v	22 Mar.21 & Sep.6, 2014	芦花恒春園	世田谷区粕谷一丁目	43	無	-
w	23 Mar.21,2014	祖師谷公園みんなの森	世田谷区上祖師谷三, 四丁目	45	無	無
x	24 Mar.29,2014	成城 3 丁目緑地	東京都世田谷区成城 3 丁目 16	40	無	無
y	25 Mar.29,2014, Aug.17,2014	きたみふれあい広場	東京都世田谷区喜多見 9 丁目 25	24	無	無
z	26 Mar.29, 2014, Aug. 17, 2014	みつ池緑地	東京都世田谷区成城 4 丁目	40	有	-
aa	27 Mar.23, 2014	大蔵運動公園下 (アスレチック広場下)	東京都世田谷区大蔵 4-6-1	25	無	有 有
ab	28 Oct.13,2014	砧公園	東京都世田谷区砧公園 1 - 1		有	無
ac	29 Mar.23, 2014	大蔵三丁目公園大蔵運動公園側	東京都世田谷区大蔵 3 丁目 2	25	無	有
ad	30 Mar.23, 2014	大蔵三丁目公園東宝側	東京都世田谷区大蔵 3 丁目 2	25	無	無
ae	31 Mar. 23, 2014	小坂家住宅下瀬田 4 丁目広場	東京都瀬田四丁目 41-21	25	無	有 有
af	32 Sep. 20, 2013	岡本静華堂	東京都世田谷 j 区			有
ag	33 Mar.23, Aug.9, 2014	上野毛自然公園	東京都世田谷区上野毛 2 丁目 17	25	有	無
ah	34 Mar.22, Aug14, 2014	等々力溪谷	東京都世田谷区等々力 1-22-26	16	有	有 有
ai	35 June22, 20014, Aug6, 2014	宝来公園	東京都大田区田園調布 3 丁目 31	30	有	無
aj	36 June 22, July 13, 2014	多摩川台公園	東京都大田区田園調布 1 丁目 63 - 1	30	有	有

- : 未調査, 面積は, 別表 (図).

表 IV-6 各里山で観察された巨木の種と本数 (続き)

種名	30	39	42	44	8	13	27	26	41	3	5	6	7	9	18	24	26	32	34	4	40	43	21	22	23	25	29	30	31	合計
記号	AD	AM	AP	AR	h	m	aa	Z	AO	c	e	f	g	i	r	x	z	af	ab	D	AN	AQ	u	w	y	ac	ad	ae		
ヤマザクラ	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	352
コナラ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92
シラカシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87
ケヤキ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
イヌシデ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
スダジイ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
エノキ	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
ソメイヨシノ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
モミノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
エゴノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
スギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
ヒマラヤスギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
イヌザクラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
エノコサカシ(イナホロ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
アカシデ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
メタセコイア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
アカマツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
オオシヤマザクラ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
ウワミズザクラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
クスノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
クスギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
イチヨウ	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
ササノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
ミズギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
ムクノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
ユリノキ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ヤマモミジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
クマノミズギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ハリギリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ヒノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
アラカシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
シマヤルヌベリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
アカハシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ツクバネガシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
シダレヤナギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
シダレアカシデ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヤマグワ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ハラモクレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
カゴノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
アホガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	990

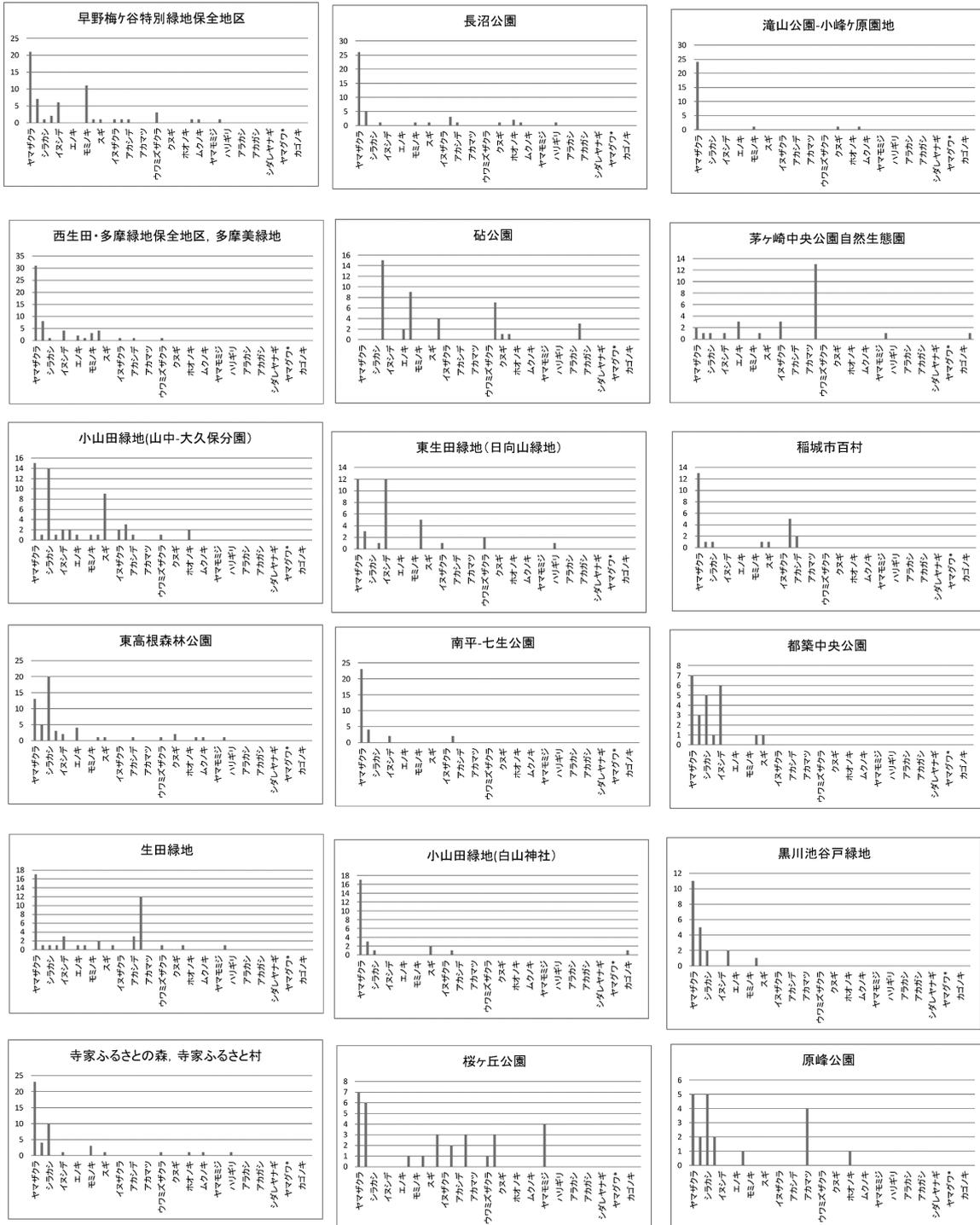


図 IV-8 各里山での 10 本以上の巨木の木数

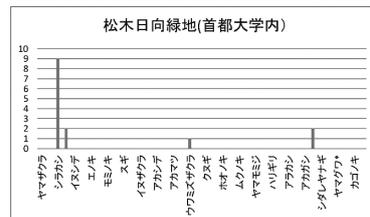
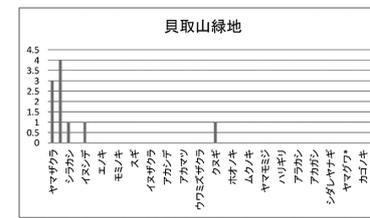
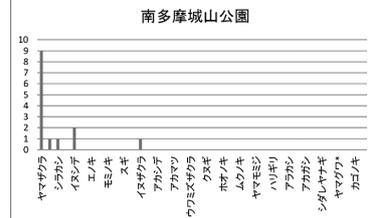
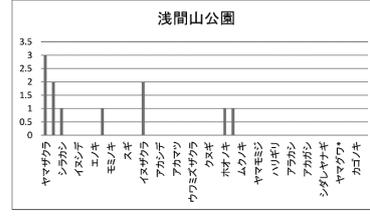
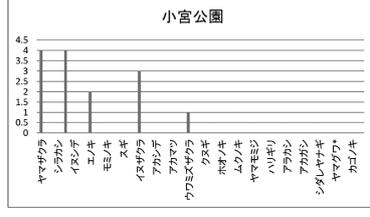
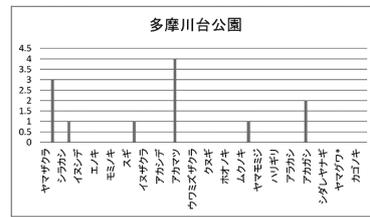
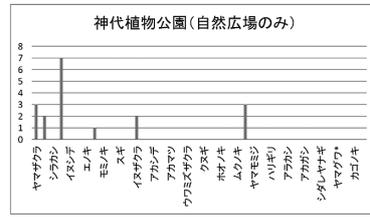
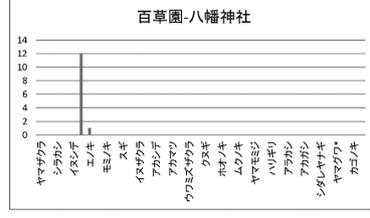
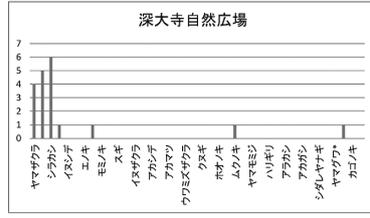
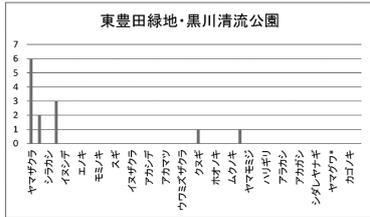
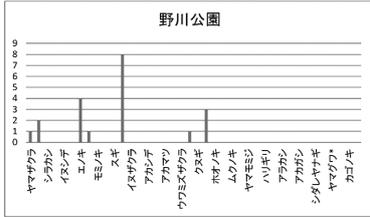


図 IV-8 各里山での 10 本以上の巨木の本数 (続き)

多くみられた。都市化が進んでいる下流域では巨木がみられてもその本数は少なかった。その状況で、多摩川台公園では、アカマツ、コナラ、アカガシの巨木がみられた。

② 各里山における巨木各種の最大幹周

各里山の巨木の最大幹周（株立ちは合計値）の結果を、表 IV-7 に示す。この結果を巨木の本数の多い順に続き、さらに幹周の最大値の大きい順（株立ちは合計値）に並べたものが表 III-8 である。表 III-8 に示すように、ヤマザクラの幹周が最も大きく、続いてイヌザクラ、エンコウカエデ、エノキ、スダジイと続いた。その他は概ね 3.0 ～ 5.0m の幹周であった。

③ 各里山における巨木各種の幹周の総和

各里山にみられる巨木の各種の幹周を積算したものが表 III-7 である。巨木各種別の幹周の総和は、ヤマザクラが他の種に比べて 5 倍以上の値を示した。続いて、コナラ、シラカシ、ケヤキ、イヌシデ、スダジイ、モミノキ、スギ、ウワミズザクラ、エゴノキの順になった。

表 III-7 各里山における巨木各種の最大幹周

	14	24	37	20	18	8	21	44	27	12	28	15	42	9	30	10	41	11	27	34	
	N	X	AK	T	R	H	U	AR	AA	I	AB	o	AP	I	AD	j	AO	K	aa	ah	
	小山田 地(白山 神社)	清水谷 緑地	瀬戸 公園	都築中央 公園	南多摩 山公園	原峰 公園	南平七 生公園	具取山 地	夢見ヶ崎 動物公園 (ヤマザウ ラなし) 白山古墳	平尾北	シルバー 人材セ ター	平尾西	城山公園 (谷保)	井田平 緑地	小山内 公園	根岸古 墳	羽加美 地	神庭 地	南本沢 地	大蔵運 動公園 (アスレ チック広 場下)	等々力 溪谷
ヤマザウ	8.8	3.6	8.2	8.0	3.9	9.8	4.8	0.0	5.7	0.0	5.0	0.0	4.8	6.6	3.4	3.3	5.6	5.1	0.0	0.0	
コナラ	4.6	2.7	4.0	3.2	3.6	3.9	4.1	0.0	0.0	3.6	3.2	0.0	2.3	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
ケヤキ	0.0	0.0	2.4	0.0	3.0	0.0	0.0	3.6	2.6	4.4	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	
シラカシ	2.2	0.0	2.5	2.5	5.6	0.0	2.1	0.0	2.0	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
イヌシデ	0.0	0.0	5.1	5.6	0.0	4.7	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ソメイヨシノ	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
スダジイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
イヌザウ	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ウツミズサウ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エンコウカエデ	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エゴノキ	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
クヌギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
スギ	2.4	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
アカシデ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ヒマラヤスギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
モミノキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ミズキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ホオノキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
イチボウ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	
クヌギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
クヌギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
アカマツ	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ムクノキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	
ハリギリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ユリノキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
オホシマザウ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
アヲカシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ヒノキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ツクハネカシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メダヒエイア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
シマサルズベシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ヤマモミジ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ハクモクレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
アヲカシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
シダレヤナギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
カゴノキ	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
シダレアカシデ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
アオダモ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ヤマダマ*	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
sum	21.8	7.7	25.7	22.6	25.0	23.0	19.2	8.3	11.7	10.2	8.2	8.0	7.0	6.6	6.3	6.0	5.6	5.1	4.8	4.8	

表 III-8 各里山における巨木各種の最大幹周（上位3位の里山）、0は、巨木なし（続き）

	33	16	12	25	17	3	29	15	32	5	26	13	38	36	35	19	39	2	1	14
	AG	P	L	Y	Q	C	AC	O	AF	E	Z	M	AL	aj	at	s	AM	b	a	n
ヤマザクラ	8.4	5.2	8.1	6.8	5.0	5.0	0.0	4.1	6.5	4.8	0.0	7.7	3.3	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	8.0
コナラ	5.0	2.7	2.6	2.5	0.0	3.0	0.0	2.9	1.9	0.0	0.0	4.3	3.0	3.6	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ケヤキ	4.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.4	3.9	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	2.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
シラカシ	2.8	3.5	4.6	2.7	2.4	0.0	2.3	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
イヌシデ	3.2	0.0	3.1	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シメヤマシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	2.9	0.0
スダジイ	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	4.9	4.4	2.1
エノキ	5.3	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イヌザクラ	0.0	5.9	9.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウツミズハシク	2.8	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エンジュカエデ	0.0	0.0	6.1	6.4	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エゴノキ	3.2	0.0	1.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
クスギ	4.3	0.0	0.0	2.9	0.0	3.9	3.3	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
スギ*	1.5	0.0	3.7	2.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アカシデ	1.7	0.0	4.2	2.8	0.0	0.0	1.6	0.0	3.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
ヒマラヤスギ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	3.9	0.0	0.0	2.7	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
モミギ*	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ミズギ	2.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホノノキ	0.0	1.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イチヨウ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
クマノミズギ	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
クスノギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アカマツ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ムクノギ	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハリギリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エリノキ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	4.4*	0.0	0.0	0.0
オオシヤマザクラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アラカン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヒノキ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ツクバネガン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタセコイア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シマサルスベリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヤマモミジ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハクモクレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アカガシ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シダレヤナギ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カゴノキ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シダレアカシデ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アオダモ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヤマグルマ*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
sum	50.6	23.5	66.9	24.5	20.5	20.3	15.8	15.6	47.0	8.0	3.9	23.0	32.3	20.0	13.4	25.4	4.4	16.1	9.4	12.5

*：巨木

(3) ヤマザクラの幹周と株立数

前項までの各里山ごとの巨木の本数，幹周の最大値，巨木各種の幹周の緩和は，いずれもヤマザクラが極めて大きな値を示した。また，最も多くの里山でヤマザクラの巨木を観察した。

そこで，特にヤマザクラの幹周や株立数等の形態について詳しく調べた（表 IV-10，図 IV-9，-10，-11，-12），単木で最も太いものは白草園北大宮神社内の 3.63m のヤマザクラであった。武蔵五日市の都内最大といわれているものが幹周 5.33m であった。但し，これは調査対象の里山からはなれた場所にあった。ヤマザクラではないが，近縁のオオシマザクラで，幹周 4.4m に達するものがあった。

最大の株立数は 11 本というものがあった。これは比較的細いものが集まったもので，幹周の総和としては細かった。

他の巨木と同じく多摩川北東部と南西部とでは，北東部のヤマザクラの巨木の本数は著しく少なかった。

表 IV-10 ヤマザクラの巨木の一覧

多摩川南西部（左岸）		株数													合計	備考		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	株数		(m)	
A	1 武蔵五日市北	5.3													1	5.33	説明板による、調査対象地から離れたもの	
B	2 滝山公園・小峰ヶ原園地	1.1	1.3	0.4	0.6	1.2	0.6	1.2	0.6						8	6.86	(異なる個体の癒着?) (九本桜)	
		1.6	1.7	1.1												3		4.42
		1.0	1.1	1.2	1.1	1.1	1.8	1.4							7	8.59		
		0.9	0.8	1.3	1.1	1.1	1.4							6	6.51			
		0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.4					9	8.85		
		1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	1.2						6	6.13				
		0.9	0.9	0.9	1.0	0.6	0.9						6	5.24				
		1.5	1.5	1.6	1.6									4	6.14			
		1.0	1.1	0.9	1.3	1.5	1.1	0.9	1.4	1.3					9	10.51		
		1.3	1.0	1.4	0.6	1.0	1.5	1.2						7	7.87			
		1.1	1.2	1.3	1.0								4	4.47				
		1.3	1.0	1.3	0.5	0.6	1.4	1.4						7	7.48			
		1.0	1.7	1.1										3	3.86			
		1.3	1.1	0.9	0.7	1.2	0.3						6	5.43				
		1.3	1.2	1.2	0.6	0.6	0.4						6	5.28				
		0.4	0.6	0.8	1.3							4	3.14					
		0.8	0.5	0.7	1.1	0.8	1.0	0.8						7	5.66			
		0.4	0.7	0.8	0.4	0.4							5	2.76				
		1.1	1.1	1.8	1.5	1.6	1.2						6	8.27				
		0.9	1.3	0.8	1.1	1.1	1.4						6	6.58				
0.9	1.1	1.5									3	3.49						
1.0	0.5	0.9	1.0							4	3.33							
0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	0.9	1.3	1.0	1.0					9	8.63				
1.0	0.9	0.8	1.0							4	3.68							
0.6	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9						6	5.26						
C	3 東豊田緑地・黒川清流公園	2.1	1.8												2	3.86		
		1.4	1.4												2	2.76		
		1.6	1.7												2	3.3		
		1.5	1.4												2	2.94		
		0.8	0.9	0.5	0.6	0.8							5	3.62				
		0.7	1.5	1.4									3	3.54				
		1.6	1.3	1.3	0.6	0.3							5	5.03				
D	4 多摩平第3緑地	1.1	1.2	0.9	1.2											4	4.41	
E	5 神明野鳥の森公園	1.2	1.1	1.0	1.5											4	4.79	
F	6 小宮公園	1.9	1.9	1.6	1.3	0.9							5	7.53				
		1.6	1.6	0.9	0.9	0.6	0.1						6	5.75				
		1.9	1.7	1.3									3	4.93				
		1.5	1.2	0.9	0.8	0.9	1.0						6	6.37				
G	7 長沼公園	1.1	0.7	0.3	0.2									4	2.28			
		1.0	1.0	0.9	0.6							4	3.42					
		0.8	0.3	0.9	0.4							4	2.47					
		1.4	1.2	1.1	1.7						4	5.49						
		1.1	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8					6	5.36					
		1.2	1.5	2.2								3	4.87	(2本癒着)				
		1.8	2.1										2	3.86				
		2.6												1	2.6		(単木)	
		1.0	1.0	1.2									3	3.18				
		0.8	0.9	1.0	0.8							4	3.49					
		0.6	0.9	0.5	0.7	0.7						5	3.36					
		0.6	0.5	0.7	0.8	0.8	1.1					6	4.47					
		0.6	0.5	0.6	1.1	0.6	0.6	0.7					7	4.61				
		1.4	1.3	2.0							3	4.69						
		1.8	1.6										2	3.36				
		1.1	1.9	1.2	1.5						4	5.61						
		1.0	0.6	0.9	1.0	1.1	0.9	0.9					7	6.4				
		1.5	1.2	1.6									3	4.38				
		2.1	1.7										2	3.82				
		1.1	0.8	1.3							3	3.14	(2本癒着)					
1.4	1.8									2	3.24	1.83=2本癒着						
0.9	0.9	0.6	0.7	0.7	0.9					6	4.66							
1.5	1.3	1.2							3	3.9								
1.1	1.1	1.0	1.2	0.8						5	5.07							
1.0	0.8	1.3							3	3.01	0.76=枯死寸前							

		0.9 1.0 0.3 1.0 0.8 0.9	6	4.99
		1.1 0.6 0.4 1.2 1.8	5	5.11
		0.8 0.9 1.0 0.8	4	3.56
H 8	南平 - 七生公園	0.8 0.7 0.7 0.6 2.8	5	5.56
		0.9 1.2 1.0 1.2	4	4.2
		2.3 0.4 1.1 0.5 0.8 1.1 1.0	7	7.11
		0.3 0.4 0.4 0.6	4	1.76
		3.2	1	3.18 (1.5m で 3 本立ち)
		1.3 1.6 1.6 1.6 0.7 0.7 0.9 0.4	8	8.71
		1.3 0.9 1.4	3	3.55
		1.1 1.0 0.9	3	3.01
		1.2 1.0 1.5 0.8 0.7 0.97	5	5.26
		0.8 0.7 0.7 0.6	4	2.79
		0.9 0.8 0.6 0.3 0.7 0.7	6	3.95
		1.2 1.1 0.7 1.1 1.4 1.2 1.4 0.6 1.1	9	9.82
		1.0 1.3 1.2 1.0 0.8	5	5.25
		0.9 0.8 0.9 1.1 0.7	5	4.27
		0.9 1.2 0.1 1.2	4	3.3
		0.8 1.0 1.1 0.5 0.8 1.1 1.0	7	6.31
		0.5 0.9 0.3 0.6 0.6	5	2.85
		1.5 1.3 0.9 0.9 1.2	5	5.63
		0.9 0.4 0.7 0.6 0.7 0.5 0.3 0.3 0.1	9	4.49
		0.6 0.9 0.6 0.9 0.9 0.9	6	4.77
		0.6 0.7 0.8 0.9 0.8	5	3.66
		0.7 0.6 0.7 0.7 0.5 0.4	6	3.55
		1.5 0.3 1.2	3	2.94
		0.8 1.4 1.3	3	3.46
		1.3 1.5 1.3 1.4	4	5.52
		1.8 1.5 1.4 1.3	4	5.97
		1.2 0.7 1.2 1.4	4	4.44
I 9	小山内裏公園	1.2 1.9 1.1	3	4.08
		3.5	1	3.48 (オオシマザクラ?)
		0.7 0.4 0.4 0.6 0.5 0.6 0.6 0.5 0.7 0.5 0.5	11	6.13
		2.2 2.4	2	4.54
		1.0 0.4 0.9 0.5 0.7 0.8 0.4	7	4.7
		1.3 1.5 0.9 0.5	4	4.19
		0.7 1.0 0.4 0.8	4	2.87
		1.1 1.1 1.1 1.4 1.6	5	6.26
		0.9 1.0 0.3 0.2 0.3 0.5 1.5 0.2 0.7 1.2	10	6.61
J 10	鑪水小山緑道	0.6 0.9 0.7 0.8 0.9	5	3.9
		1.2 0.5 1.3 1.0 0.6	5	4.48
		1.2 1.0 0.9 0.8 0.7	5	4.6
		1.0 0.5 0.7 0.9 0.9	5	3.99
		1.0 0.7 0.5 0.6 0.9	5	3.71
K 11	南大沢緑地	0.8 0.9 0.7 1.1 0.8 0.7	6	5.06
		1.2 0.9 0.7 0.5 1.0	5	4.3 (目視)
		1.0 0.9 1.1	3	2.94
L 12	小山田緑地 (山中 - 大久保分園)	1.1 1.5 0.8 1.3 1.2 1.3	6	7.28
		1.6 2.2	2	3.77
		2.1 1.8 1.3 1.5	4	6.65
		1.2 1.1 1.1 1.2 1.5 1.6	6	7.71
		1.5 1.7 1.6 1.2 1.5	5	7.55
		1.9 1.3 0.5 1.0 0.5	5	5.09
		1.3 1.1 0.3 1.8 1.4 0.4	6	6.25
		1.7 2.0	2	3.71
		0.8 0.9 1.0 0.7 0.8 0.9 1.0 0.9 1.1	9	8.12
		1.0 0.6 1.1 1.0 0.7 0.8	6	5.23
		1.4 1.3 1.0 0.8	4	4.46
		0.8 1.1 0.7 0.6	4	3.11
		1.4 1.3 1.1 1.3 1.7	5	6.81
		0.9 1.4 0.9 1.2 0.8	5	5.18
		1.3 1.0 0.3 0.3 0.9 0.3 0.2 1.9	8	6.26 (二本癒着)
M 13	小山田緑地 (梅木窪分園)	2.2 1.5 1.1 1.1 1.7	5	7.68
		0.9 1.2 1.4	3	3.5 (目視)
N 14	小山田緑地 (白山神社)	1.0 0.7 1.2 1.1 0.9 0.9 0.8 0.6	8	7.07
		1.4 0.9 1.0	3	3.39
		0.7 0.5 0.4 1.2 1.0	5	3.88
		0.5 1.3 1.4 0.3	4	3.49
		0.6 1.3 1.6 1.1 0.9	5	5.55

		0.6	1.1	0.8	1.0	1.3		5	4.66		
		1.0	1.0	0.8	1.4	0.6		5	4.75		
		0.4	1.2	0.5	0.6	1.2	0.8	1.3	0.8	8	6.89
		0.7	1.0	0.7	1.3	1.1	0.9	0.9	0.9	8	7.38
		1.3	1.4	1.1	0.9	1.1	1.1	1.6	1.5	8	9.95
X	24	清水谷戸緑地	0.8	0.5	1.4	0.9				4	3.57
			1.1	0.6	0.9	0.3				4	2.9
			2.9							1	2.9
			1.0	0.9	1.1					3	2.96
			2.2							1	2.24
Y	25	稲城市百村	0.8	0.7	1.1	0.6	0.8			5	4.08
			2.4							1	2.39 (2本癒着)
			2.1	1.3	1.6					3	5.08 2.14 (2本癒着)
			2.6	1.2	1.4					3	5.21 2.6 (2本癒着)
			1.2	1.2	1.1	1.0	1.0	1.4		6	6.77
			3.1							1	3.14
			1.3	1.4	0.8	0.9	1.5			5	5.8 (2本癒着)
			1.3	2.3						2	3.58
			1.6	1.5	1.9	1.8				4	6.7
			2.2							1	2.17
			0.9	0.7	1.0	0.7	0.7			5	4.12
			0.8	1.0	0.8	1.2				4	3.83
			2.2							1	2.21
Z	26	妙覚寺-ありがた山石塔群								0	0
AA	27	平尾北	2.9	1.4	1.3					3	5.7
AB	28	平尾西	2.7							1	2.65 (2本癒着)
			1.8	1.7	1.5					3	5.03
			1.3	1.3	1.2					3	3.81
AC	29	平尾東(杉山神社)								0	0
AD	30	根岸古墳	1.6	1.8						2	3.35
AE	31	東生田緑地(日向山緑地)	2.3							1	2.3 (単木)
			1.0	0.7	0.8	0.8				4	3.22
			1.2	1.0	1.2					3	3.47
			1.4	1.4	1.3					3	4.19
			1.3	1.0	1.2	1.9				4	5.3
			1.3	1.9						2	3.27
			1.3	1.1	1.0					3	3.34
			1.1	0.9	1.4					3	3.37
			0.9	1.1	0.5	1.0				4	3.47
			0.9	0.9	0.7	0.8				4	3.26
			0.9	1.0	1.1	1.0				4	4.05
			1.1	1.2	1.1	1.3				4	4.63
AF	32	生田緑地	1.3	1.5	1.0	1.4	1.3			5	6.5 (目視)
			1.3	1.6	1.7					3	4.62
			1.4	1.4	1.3					3	4.01
			1.3	1.6	1.1					3	3.95
			1.1	1.1	1.5					3	3.71
			1.7	1.4						2	3.05
			1.4	1.1	1.4	1.1				4	5.06
			1.1	1.3	0.9	0.9				4	4.19
			0.8	1.0	0.8	1.0	1.0			5	4.53
			0.9	0.9	1.3	0.9				4	3.99
			1.4	1.0	1.5	1.6				4	5.49
			1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0		6	6.09
			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			5	4.75
			1.2	0.8	0.8	0.6				4	3.4
			1.5	1.2	1.4					3	4.12
			1.3	1.1	0.9					3	3.23
			1.4	1.5	1.5					3	4.44
AG	33	東高根森林公園	1.0	1.0	0.9	0.7	0.7	0.5	0.5	7	5.36
			1.3	1.2	1.5	0.7	0.4	1.3	1.3	8	8.12
			1.0	0.7	0.8	0.7				4	3.19
			1.2	1.2	0.9	0.7	0.9			5	4.87
			1.7	2.0	0.9	1.4	2.1			5	8.16
			1.4	0.7	1.8	1.5	0.9	2.1		6	8.43
			2.3	1.3	1.2	0.6				4	5.34
			1.2	1.5	1.4	2.1				4	6.16
			0.9	1.2	0.5	1.0				4	3.52

	0.7	1.0	0.8	1.0		4	3.49						
	0.9	1.2	1.2	0.9	0.6		5	4.81					
	0.2	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	6	3.84					
	0.9	0.7	1.0	0.7	0.9	0.6	0.5	7	5.3				
AH 34 寺家ふるさとの森, 寺家ふるさと村	2.1	1.3	1.1	0.7				4	5.21				
	1.1	1.3	1.7					3	4.1				
	1.2	1.2	0.6	1.7	0.9	1.1		6	6.75				
	0.8	0.7	1.0	0.8	0.7	0.4	0.4	0.9	8	5.69			
	1.0	0.9	0.5	1.1	1.0	0.5		6	4.97				
	1.0	1.0	0.7	0.8	0.8	1.0		6	5.31				
	1.1	1.0	1.2	0.7	0.9	1.3	0.9	0.8	0.8	0.3	0.4	11	9.24
	1.2	0.9	0.9	0.6	1.3	0.5	0.9	1.0	0.9		9	8.15	
	1.2	1.0	1.2	0.8	1.1	0.8					6	6.16	
	0.9	0.7	1.0	0.4	0.9	1.0					6	4.76	
	1.0	1.3	0.5	1.2	1.1						5	5	
	0.9	1.2	0.9	0.9	0.8						5	4.7 (目測)	
	1.2	0.9	0.9	0.9	1.1	0.6					6	5.61	
	0.9	0.9	1.1	1.1	0.5	0.7	1.2				7	6.49	
	0.9	0.9	0.7	0.5	0.6						5	3.6	
	0.5	1.2	0.8	0.9							4	3.4	
	1.2	1.3	1.2	1.3	0.8						5	5.72 (目測)	
	0.9	1.1	0.7	0.9							4	3.58	
	1.1	2.0									2	3.09	
	1.3	1.7	1.0	0.7	0.4	0.6	0.8	0.8	0.9		9	8.12	
	1.3	1.7	1.0	0.7	0.4	0.6	0.8	0.8	0.9		9	8.09	
	0.9	1.0	1.3	1.3	0.7	0.9	0.5				7	6.53	
	1.2	1.3	1.6								3	4.04	
AI 35 早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	0.8	0.6	0.8	0.7							4	2.91	
	0.9	1.3	1.1								3	3.27	
	1.7	1.4									2	3.13	
	1.1	0.5	0.8	0.7							4	3.06	
	0.9	1.1	0.9	1.1	0.8	0.6					6	5.46	
	1.3	1.1	1.3								3	3.67	
	2.8	2.5									2	5.31	
	1.6	1.6									2	3.18	
	0.8	0.6	0.8	0.7	0.7						5	3.61	
	0.9	1.3	1.1								3	3.27	
	1.7	1.4									2	3.13	
	1.6	1.1	0.6								3	3.33	
	1.1	0.5	0.8	0.7							4	3.06	
	0.8	0.9	1.0	0.3							4	2.93	
	0.9	1.1	0.9	1.1	0.8	0.6					6	5.46	
	1.3	1.1	1.3								3	3.67	
	2.5										1	2.51	
	1.3	1.3	0.9								3	3.53	
	1.2	1.1	0.9	1.0							4	4.34	
	0.9	0.8	0.8	1.0	0.9	0.7	0.9	0.3	1.0	0.8	10	8.08	
	1.6	1.2									2	2.8	
AJ 36 西生田・多摩緑地保全地区, 多摩美緑地	1.0	0.8	1.0	0.5	0.3	0.6	0.2	1.1	0.2	0.3	1.0	11	7.04
	1.4	1.2	1.5									3	4.11
	1.0	1.4	0.8									3	3.21
	1.0	1.3	0.8									3	3.08
	1.7	1.1	1.1	1.0	1.0							5	5.99
	1.7	1.5	2.0									3	5.19
	1.3	0.4	0.1	0.7	1.3							5	3.78
	0.7	1.1	1.1	1.2	1.0							5	5.12
	1.4	1.6										2	3.03
	1.5	1.3	1.4	1.4								4	5.68
	1.0	1.5										2	2.56 (1.4の伐採跡)
	2.5	1.0	1.0	0.5	0.4	0.6						6	6 (目視), 2.5(2本癒着)
	1.1	0.9	1.6									3	3.61
	1.1	1.1	1.0	1.0								4	4.18
	1.0	2.3	0.5									3	3.82
	1.1	1.5	1.7									3	4.26
	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0					7	8
	1.1	1.0	1.0	1.4	1.1							5	5.63
	1.3	1.0	0.8									3	3.09
	1.6	1.3	1.4	1.4								4	5.69
	1.2	1.4	1.5	1.4								4	5.5 (目測)

		0.7 1.0 0.8 1.3 0.4 1.0	6	5.26	
		3.1	1	3.09	
		1.3 1.6 1.9 1.7 0.8	5	7.27	
		1.0 1.0 1.2 0.8	4	3.99	
		1.3 1.0 1.0 0.9 0.8 1.0 0.8 1.7	8	8.36	
		1.3 1.2 1.6 1.5 1.6	5	7.14	1.59 (2本癒着)
		0.9 1.0 0.9 0.9	4	3.79	
		10.4 3.6 1.2	19	15.2	(目測), 0.8*13+1.2*3+0.4*3
		1.4 0.9 1.2 0.9	4	4.4	(目測)
		1.2 1.4 1.4	3	4	(目測)
AK 37	都築中央公園	1.1 1.7	2	2.84	
		1.9 1.9	2	3.79	
		0.6 0.9 1.0 1.0 0.5 1.0 0.8 1.3 1.1	9	8.24	
		1.7 1.1 0.7 1.2 0.4	5	5.1	
		1.2 1.2 1.0 0.9 1.4 0.7	6	6.29	
		1.3 0.9 0.9	3	3.12	
		0.9 0.3 1.5 1.5 0.3 0.3	6	4.85	
		1.9 0.9	2	2.79	
		3.3	1	3.31	
AL 38	茅ヶ崎中央公園自然生態園	1.2 1.5 0.7	3	3.32	
		1.2 1.7	2	2.92	
		0.8 0.7 0.7 0.6	4	2.81	
		1.0 1.0 0.9 0.7	4	3.51	オオシマザクラ
		2.0 0.7	2	2.67	オオシマザクラ
		1.4 1.2	2	2.61	オオシマザクラ
		1.0 2.2	2	3.14	オオシマザクラ
		1.1 0.8 1.0 0.9 1.3 0.7	6	5.81	オオシマザクラ
		0.8 0.9 0.6 1.0	4	3.29	オオシマザクラ
		0.7 0.4 0.4 0.6 0.8 0.9 1.0 0.6	8	5.23	オオシマザクラ
		0.8 0.8 0.9 1.0 0.7	5	4.26	オオシマザクラ
		1.8 1.5 1.2	3	4.52	オオシマザクラ
		1.9 1.5	2	3.41	オオシマザクラ
		1.5 1.4 1.2	3	4.13	オオシマザクラ
		0.9 0.7 0.7 0.5 1.0 0.9	6	4.63	オオシマザクラ
		1.9 1.5 1.8	3	5.22	オオシマザクラ
AM 39	末長熊ノ森緑地	4.4	1	4.4	オオシマザクラ
AN 40	たちばなふれあいの森		0	0	
AO 41	神庭緑地	1.3 0.7 1.1 1.4 1.2	5	5.55	
AP 42	井田平台緑地	0.8 0.7 0.7 0.8 0.6 0.4 0.6 0.1	8	4.76	(多摩川最下流の山桜)
AQ 43	等々力緑地(川崎)		0	0	
AR 44	夢見ヶ崎動物公園, 白山古墳		0	0	
AS 45	松木日向緑地(首都大 学内)		0	0	
多摩川南西部					
a 1	西分神社, 宗徳寺裏		0	0	
b 2	勝沼山乗願寺, 勝沼神社		0	0	
c 3	青梅市役所下涯線		0	0	
d 4	千ヶ淵神社		0	0	
e 5	八雲神社下斜面		0	0	
f 6	松本神社前		0	0	
g 7	松本神社裏斜面		0	0	
h 8	加美緑地		0	0	
i 9	グリーントリム公園		0	0	
j 10	羽加美緑地	1.8 1.6	2	3.33	3 枯死寸前
k 11	八幡稲荷神社		0	0	
l 12	シルバー人材センター		0	0	
m 13	禅林寺裏		0	0	
n 14	矢川緑地	0.9 1.6 1.0 0.9 1.9 1.7 0.8 0.7 1.0 0.1 1.3 1.1 1.2 0.8 1.4	6 6 3	7.97 4.91 3.42	
o 15	城山公園(谷保)		0	0	
p 16	浅間山公園	1.1 0.8 0.8 0.9 0.9 0.6 0.1 1.6 1.9 3.5 2.8	7 3 1	5.21 7 2.8	3.5 (近日伐採) 目視 (近日伐採)
q 17	野川公園	0.9 1.3 0.6	3	2.87	

		1.8	1.5	1.2			3	4.5	ソメイヨシノ	
r	18	大沢緑地						0	0	
s	19	深大寺自然広場						4	4.9	
		1.4	1.2	1.2	1.1		5	3.5		
		0.8	1.1	0.6	0.5	0.6	1	3.1		
		3.1					2	3.5		
		1.6	1.9				6	4.6		
t	20	神代植物公園（自然広場のみ）						6	4.6	
		1.1	1.6	0.6	0.5	0.5	0.3			
		0.8	0.9	0.6	0.5	0.6	5	3.4		
		2.4	0.9	1.4	0.8		4	5.5		
u	21	人間公園						0	0	
v	22	芦花恒春園						0	0	
w	23	祖師谷公園みんなの森						0	0	
x	24	成城3丁目緑地						4	4.21	
y	25	きたみふれあい広場						0	0	
z	26	みつ池緑地						0	0	
aa	27	大蔵運動公園下（アスレチック広場下）						0	0	
ab	28	砧公園						0	0	
ac	29	大蔵三丁目公園大蔵運動公園側						0	0	
ad	30	大蔵三丁目公園東宝側						0	0	
ae	31	小坂家住宅下瀬田4丁目広場						0	0	
af	32	岡本静華堂					2.7	1	2.69	
ag	33	上野毛自然公園						0	0	
ah	34	等々力溪谷						0	0	
ai	35	宝来公園						0	0	
aj	36	多摩川台公園						0	0	

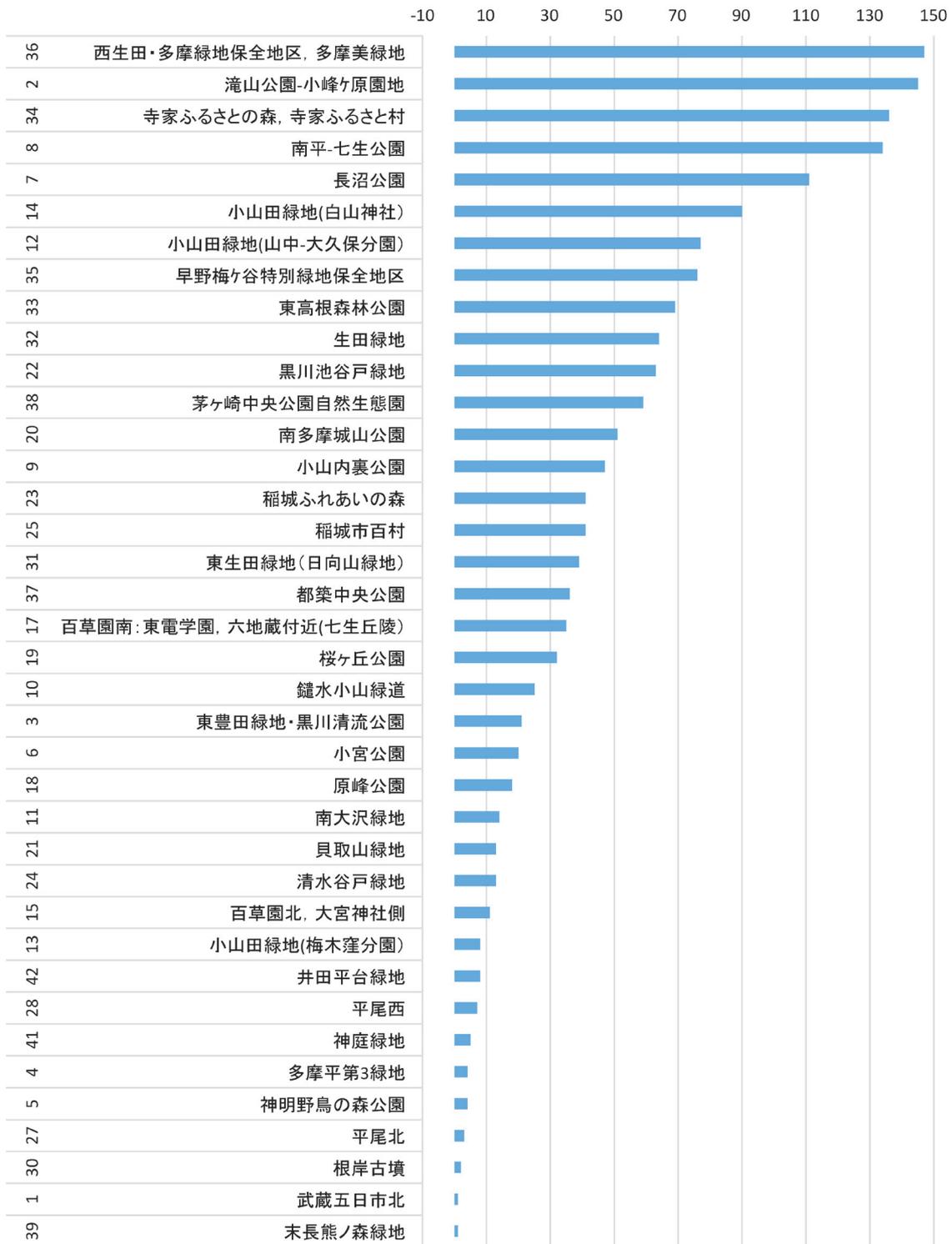


図 IV-9 各里山でのヤマザクラの総株数, 総和 (多摩川南西部)

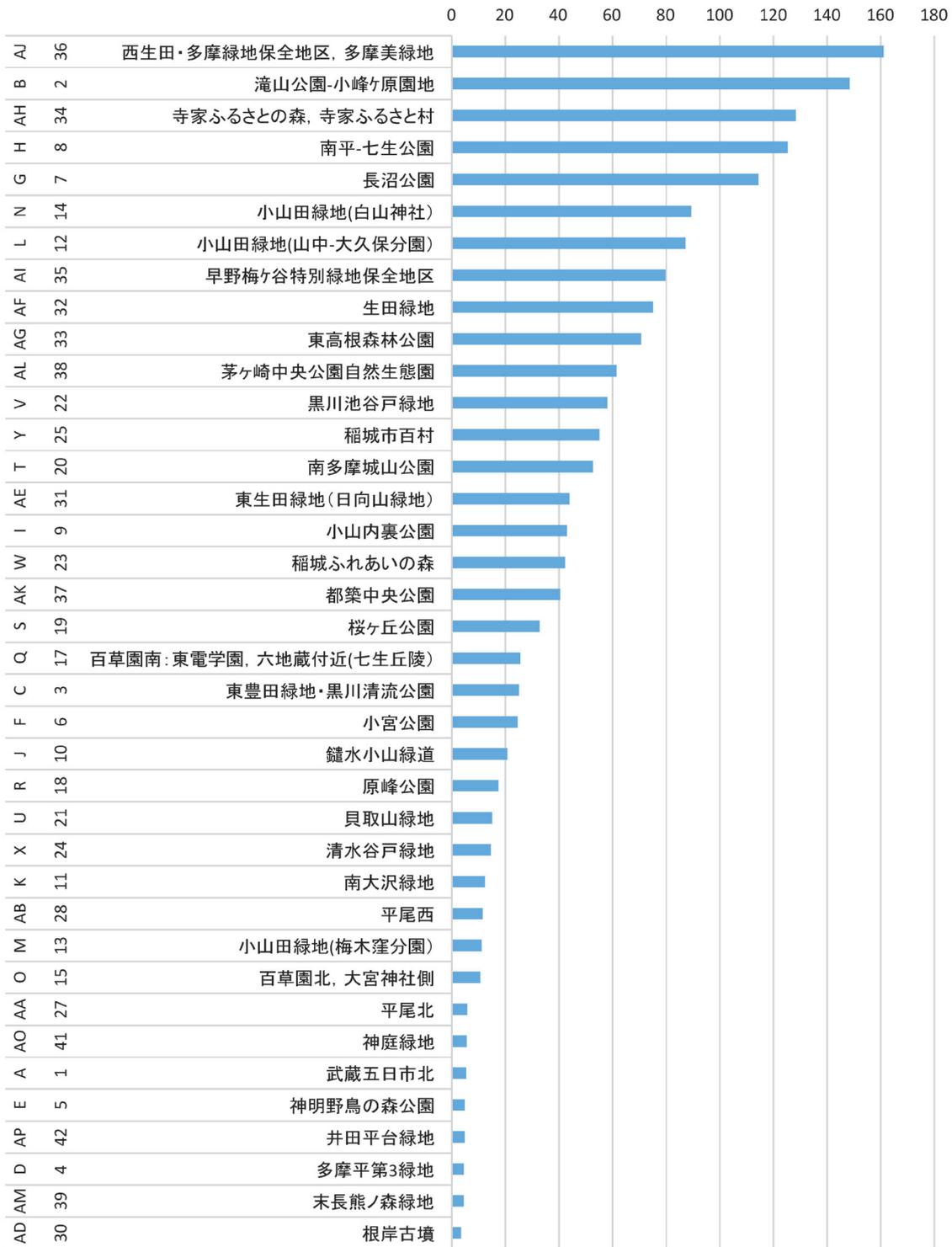


図 IV-10 各里山でのヤマザクラの幹周の総和 (多摩川南西部)

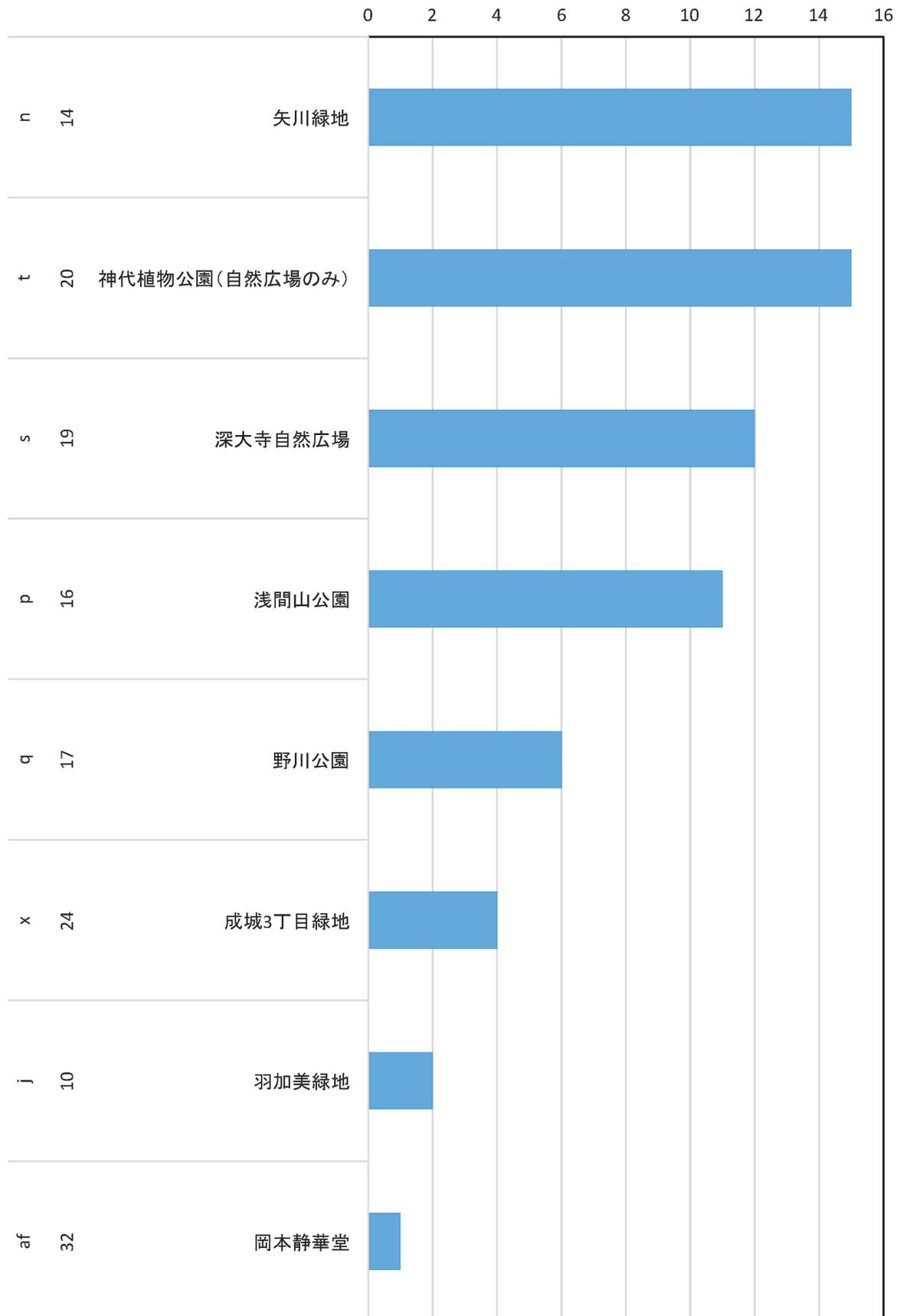


図 IV-11 各里山でのヤマザクラの総株数，総和（多摩川北東部）

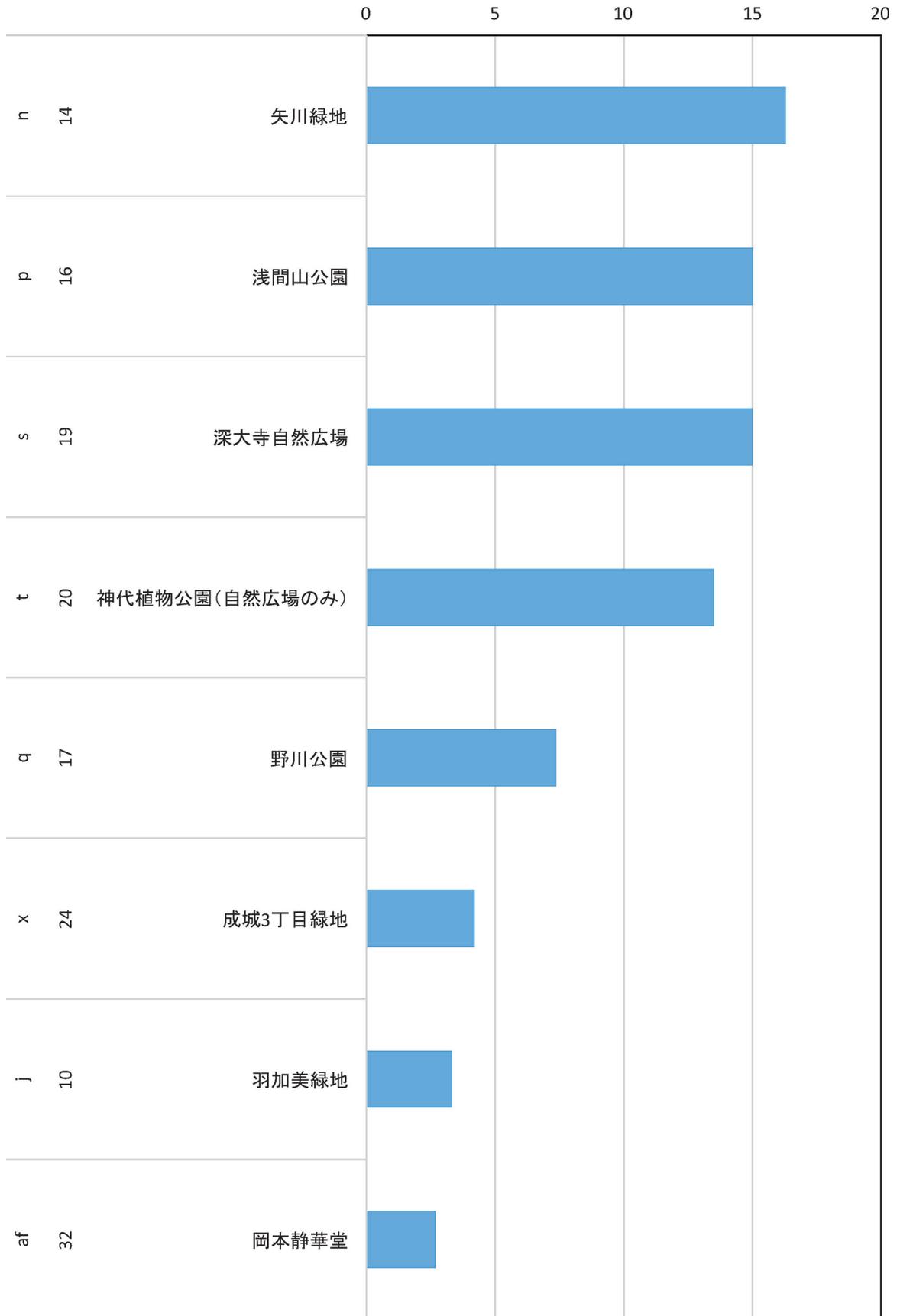


図 IV-12 各里山でのヤマザクラの幹周の総和 (多摩川北東部) (続き)

2. 全植物踏査

踏査の結果、各里山で観察した植物の種とその個体数の量を表 IV-11 に、観察した主な植物の写真を写真 IV-4 ～ 10 に示す。

この調査の結果、最近特にみられなくなった植物としてワニグチソウ、クロムヨクラン（川崎市早野）、キバナアキギリ、クサノオウ、イカリソウ、ジュウニヒトエ、ギンラン、アズマイチゲ、フデリンドウ、ツタウルシ等があげられた。一方東北～北海道に分布の多いウバユリが多摩川南西側（右岸）の小宮公園、東豊田緑地や東生田緑地等でみられただけでなく、多摩公園や芦花公園等の多摩川北東側（左岸）でもみられた。

小宮公園ではウバユリその他ギボウシ（オオバ）も多くみられた。ギボウシの類がみられる場所では比較的多くの植物を観察することができた。南平や長沼公園の付近より上流では、アオダモやアブラチャン、ミツバツツジ、ネジキ、イタヤカエデ等が多くみられた。しかし、南多摩の城山公園に至ると多摩丘陵の固有種ともいわれているタマノカンアオイに興味をひくのは、多摩川の支流の浅川を境に右岸の南平川では多くの個体をみたのに、左岸の東農田緑地では全くみなかった。

一方、都内ではみることのできなくなったニリンソウやリュウキンカ、コバイモ等が、小さな里山でも保護されていた（成城三丁目緑地等）。



写真IV-4 ジュウニヒトエ, 南平一七生公園, May 4, 2014.



写真IV-5 ツタウルシ, 南平一七生公園, May 4, 2014.



写真IV-6 ミツバツツジ, 長沼公園, April 5, 2014.



写真IV-7 東生田緑地, ウバユリ, May 18, 2014.



写真IV-8 タマノカンアオイ, 南多摩, 城山緑地, April 20, 2014.



写真 IV-9 アサザ, 小山田緑地, Sep 28, 2014.



写真 IV-10 リュウキンカ, 成城三丁目緑地, Mar 29, 2014.

iv. 里山 81ヶ所の植物に関する文献調査

「里山」各地の植物愛好家，あるいはその団体，報告書，アセスメント報告書，その他植物調査に関わる文献を収集したところ表 IV-12 に示すように の文献が見付かり，一覧できた。

この文献の補足はまで中間結果で，今後も継続して加えていく。

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト① (続き)

Table with columns listing plant species names in Japanese and Latin, and a grid of circles representing their presence in various 'satoyama' locations. The table is divided into two main sections by a horizontal line, with the second section starting with 'イネ科' (Gramineae).

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト② (続き)

サトイモ科	ホウバコナンショウ	<i>Peltia stratipes</i>							
サトイモ科	婆檀ノキクサ	<i>Arisaema serratum</i>							○
サトイモ科	マムシグサ								○
サトイモ科	マムシグサ属の1種								○
サトイモ科	ミバハユウ	<i>Lysichiton amitschatskense</i>							
サトイモ科	ミミガサナンショウ	<i>Arisaema undulatifolium</i> var. <i>imostemma</i>							
サトイモ科	ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i>							
サトイモ科	ムササマムシグサ								○
ヒルムシロ科	ヒルムシロ								
ヒルムシロ科	エビモ								
ヒルムシロ科	ヤナギモ								
イノウモ科	イトトリケモ	<i>Najas japonica</i>							
イノウモ科	トリケモ								
オモダマ科	アギナン								○
オモダマ科	ウリカワ								○
オモダマ科	オモダマ	<i>Sagittaria trifolia</i>							○
オモダマ科	クワイ								○
オモダマ科	セイヨウオモダマ								
オモダマ科	ヘリオオモダマ								
オモダマ科	サジオモダマ	<i>Alisma canaliculatum</i>							
オモダマ科	トウゴクヘリオオモダマ								
オモダマ科	ナガハオモダマ								
オモダマ科	ヒロハオモダマ								
トチカガミ科	オオカガミ	<i>Egeria densa</i>							
トチカガミ科	クロモ								
トチカガミ科	コカガミ	<i>Elodea nuttallii</i>							
トチカガミ科	セセシウモ								
トチカガミ科	トチカガミ								
トチカガミ科	ミズオモダマ								
トチカガミ科	ヤナギアザミ	<i>Blyxa japonica</i>							
タケ科	アズマササ								
タケ科	アズマネササ								
タケ科	オカメササ								
タケ科	カマササ								
タケ科	ハチク								
タケ科	ホネイチク								
タケ科	マダク								
タケ科	メダク								
タケ科	モウソウチク								
タケ科	ヤダク								
タケ科	タマゴケ	<i>Amannia hemibipha</i>							
ハバタケ科	キヌガサタケ	<i>Dictyophora indusiata</i>							
ハバタケ科	ノウタケ								
ハバタケ科	マムシグサヤダク								
ウラボシ科	アザミ								○
ウラボシ科	ウラボシ								○
ウラボシ科	コウボクサ								
ウラボシ科	イノイヌノハ								
ウラボシ科	シロイヌノハ								
ウラボシ科	ヒロハイヌノハ								
ウラボシ科	ホシクサ								
ウラボシ科	ヒメアザミ								
アカザ科	アカザ								○
アカザ科	アメリカアザミ								○
アカザ科	アザミ								○
アカザ科	ケアザミ								○
アカザ科	コアカザ	<i>Chenopodium ficifolium</i>							
アカザ科	シロアカザ								
アカザ科	シロザ								○
アカザ科	マツモ								○
モウソウチク科	モウソウチク								
アザミ科	キヌガサマダマハシラ								○
アワコウジ科	アワコウジ	<i>Callitriche japonica</i>							
アワコウジ科	ミズハコベ	<i>Callitriche verna</i>							
カエデ科	トウワウ								
カエデ科	イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>							○
カエデ科	ウラゲエンコウカエデ	<i>Acer mono</i> f. <i>connivens</i>							○
カエデ科	ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i>							○
カエデ科	エンコウカエデ	<i>Acer mono</i> var. <i>mirvorumatum</i> f. <i>dissectum</i>							○
カエデ科	オニエダヤ								○
カエデ科	カシカエデ	<i>Acer diabolicum</i>							
カエデ科	ケナシヤグルマカエデ								
カエデ科	トウカエデ								○
カエデ科	ヤグルマカエデ								○
カエデ科	ヤマモミジ								
ミドリハコベ科	ミドリハコベ	<i>Elatine triandra</i> var. <i>pedicellata</i>							
ヒシ科	ヒシ								
イチヤクソウ科	アキノギンリョウソウ	<i>Monotropa uniflora</i>							
イチヤクソウ科	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> Klenz							○
イチヤクソウ科	ウスギソウ								○
イチヤクソウ科	ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> Hara							○
イチヤクソウ科	ギンリョウソウモドキ								
イチヤクソウ科	シモツクソウソウ	<i>Monotropa hypopitys</i> Linn.							○
ヤブコウジ科	カサネハコ	<i>Ardisia crenata</i>							
ヤブコウジ科	キミノマンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims form. <i>xanthocarpa</i> (Nakai) H. Ohashi							
ヤブコウジ科	シロミノマンリョウ								
ヤブコウジ科	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>							○
ヤブコウジ科	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>							○
フジツクギ科	アサトギ								
フジツクギ科	ヒメトギ								
フジツクギ科	フジツクギ	<i>Buddleja japonica</i>							
タヌキモ科	タヌキモ								
トシブツ科	トシブツ								
オミナエシ科	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>							○
オミナエシ科	オミナエシ								○
オミナエシ科	ツルカサノコ								
マムシグサ科	マムシグサ								
ミズウラボシ科	タネシノブ	<i>Onychium japonicum</i>							
ミズウラボシ科	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus veneris</i>							
オモダマ科	オモダマ	<i>Moribellia saligna</i>							
ネチシカズ科	ネチシカズ	<i>Cuscuta japonica</i>							

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト③ (続き)

Table with multiple columns: Botanical Name (Latin), Japanese Name, and presence/absence indicators (circles) for various plant species across different regions. Includes species like Agrostis clavata, Lolium multiflorum, and various species in the Asteraceae and Poaceae families.

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト④ (続き)

ナス科	ホウズキ	<i>Physalis alkekengi var. franchetii</i>			
ナス科	ホウズキイヌホトケ	<i>Solanum nigrescens</i>			
ナス科	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i>		○	
ナス科	ヤマホトケ				
ナス科	ヨシチチヨウセンアサガオ				
ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>		○	
モウセンゴケ科	アラゲアザミ				
モウセンゴケ科	イヌタバコ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>		○	
モウセンゴケ科	ウツギホトケ	<i>Osmanthus aurantiacus var. thumbergii</i>			
モウセンゴケ科	オオハイボタ				
モウセンゴケ科	オカイボタ				
モウセンゴケ科	キウチ				
モウセンゴケ科	シナレンギョウ	<i>Forsythia viridissima Lindl</i>			
モウセンゴケ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>		○	
モウセンゴケ科	ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i>		○	
モウセンゴケ科	ハミコシロハスミン				
モウセンゴケ科	ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>		○	
モウセンゴケ科	ヒイラギモウセン	<i>Osmanthus × fortunei</i>		○	
モウセンゴケ科	ホトケ				
モウセンゴケ科	マルバアザミ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>			
モウセンゴケ科	マルバヒイラギ				
モウセンゴケ科	ムラサキハシドイ	<i>Syringa vulgaris</i>			
モウセンゴケ科	ヨシチチヨウセン				
モウセンゴケ科	アザミ (コバノネリコ)	<i>Fraxinus lanuginosa serrata</i>		○	
モウセンゴケ科	キンモクセイ				
モウセンゴケ科	ギンモクセイ	<i>Osmanthus fragrans</i>			
モウセンゴケ科	ヤマトアザミ				
モウセンゴケ科	レンギョウ	<i>Forsythia suspensa Vahl</i>			
ハエドクソウ科	トネワザ	<i>Mazus pumilus</i>		○	
ハエドクソウ科	ナガハエドクソウ				○
ハエドクソウ科	ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya var. asiatica</i>		○	
ハエドクソウ科	ムラサキホトケ	<i>Mazus miquelii</i>		○	
ハマウツボ科	オオサンバシセル				
ハマウツボ科	ヤマウツボ				
ハマウツボ科	ナンバンシセル				
キツネノマゴ科	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i>		○	
キツネノマゴ科	ハクザイ				
キツネノマゴ科	ハクソウ				
ノボリカズラ科	アメリカノボリカズラ	<i>Campsis grandiflora</i>			
ノボリカズラ科	キツネノマゴ				
ノボリカズラ科	ノボリカズラ				
クマツヅラ科	イヌムラサキ				
クマツヅラ科	オオムラサキ				
クマツヅラ科	クマツヅラ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>		○	
クマツヅラ科	クマツヅラ				
クマツヅラ科	ホトケ				
クマツヅラ科	ホトケ	<i>Calliopsis japonica</i>		○	
クマツヅラ科	ホトケ	<i>Calliopsis mollis</i> Steud. et Zucc.			
クマツヅラ科	コムラサキ	<i>Calliopsis dichotoma</i>			
クマツヅラ科	コムラサキ	<i>Calliopsis japonica</i>			
クマツヅラ科	ササノケ				
クマツヅラ科	シロミノコムラサキ				
クマツヅラ科	ナガハムラサキ	<i>Calliopsis japonica (angustata)</i>			
オオハコ科	オオハコ	<i>Plantago asiatica</i>		○	
オオハコ科	ケイオオハコ				
オオハコ科	ツボミオオハコ	<i>Plantago virginica</i>			
オオハコ科	トウオオハコ				
オオハコ科	ハクザイ	<i>Plantago lanceolata</i>			
オオハコ科	ヤマトアザミ	<i>Pseudisotriaena var. subintegrum</i>			
ゴマノハグサ科	アゼトウガラシ				
ゴマノハグサ科	アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i>		○	
ゴマノハグサ科	アゼナ				
ゴマノハグサ科	アメリカアゼナ				
ゴマノハグサ科	イヌノフグリ				
ゴマノハグサ科	ウリカ	<i>Lindernia crustacea</i>		○	
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>		○	
ゴマノハグサ科	オオヒナノウスボ				
ゴマノハグサ科	カワヂシャ				
ゴマノハグサ科	キクモ				
ゴマノハグサ科	キリ				
ゴマノハグサ科	クガクソウ				
ゴマノハグサ科	クガクソウ	<i>Monachasma shearerii</i>			
ゴマノハグサ科	クガクソウ	<i>Platystemon japonicum</i>			
ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ				
ゴマノハグサ科	サボギク				
ゴマノハグサ科	シククサ				
ゴマノハグサ科	シロハナサボギク				
ゴマノハグサ科	スズメノトウガラシ				
ゴマノハグサ科	タヌキノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>		○	○
ゴマノハグサ科	トネワザ	<i>Mazus pumilus</i>		○	
ゴマノハグサ科	ハナウリカ	<i>Torenia fournieri</i>			
ゴマノハグサ科	ヒメヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i>			
ゴマノハグサ科	ヒトコトメ				
ゴマノハグサ科	ヒロウトモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i>			
ゴマノハグサ科	フラサハク			○	○
ゴマノハグサ科	マツバハク				
ゴマノハグサ科	ミツハク	<i>Mimulus nepalensis</i>			
ゴマノハグサ科	ムシクサ				
ゴマノハグサ科	ムラサキホトケ	<i>Mazus miquelii Makino</i>		○	
ゴマノハグサ科	アメリカアゼナ				
ゴマノハグサ科	ウリカ				
シソ科	アサギ				
シソ科	アカギ				
シソ科	アキノムラソウ	<i>Salvia japonica</i>		○	
シソ科	アップルミント				
シソ科	イヌコウジュ	<i>Mosla punctulata</i>		○	
シソ科	イヌコウジュ×ヒメジソ	<i>Mosla × dianthera punctulata</i>			
シソ科	イヌコウ	<i>Stachys riederi</i> Cham. var. <i>intermedia Kitam.</i>		○	
シソ科	イヌコウ				
シソ科	イヌコウ				
シソ科	ウツボ				
シソ科	エゴマ				
シソ科	オカタンナミソウ	<i>Scutellaria brachysepica</i> Nakai et Hara			
シソ科	オカタンナミソウ				
シソ科	オカタンナミソウ	<i>Glechoma hederacea var. grandis</i>		○	○
シソ科	オカタンナミソウ	<i>Isodon kameba</i> Okuyama			
シソ科	カワヂシャ				
シソ科	キクモ	<i>Salvia nipponica</i> Miq.			
シソ科	キランソウ	<i>Ajuga reptans</i>		○	○
シソ科	キレハヒメネドリソウ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Lycopus ramosissimus var. japonicus</i>			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Scutellaria indica var. parvifolia</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Perilla frutescens var. parvifolia</i>			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Keiskea japonica</i> Miq.			
シソ科	クマツヅラ	<i>Salvia japonica falciflora</i>			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Ajuga nipponensis</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Ajuga reptans</i>			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Salvia indica</i> Litze.			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Teucrium viscidum var. miquelianum</i>		○	○
シソ科	クマツヅラ	<i>Clinopodium gracile</i>		○	○
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Salvia lutescens var. intermedia</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Mentha arvensis var. piperascens</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Physoslogia virginiana</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Ajuga incisa</i> Maxim.			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Lamium purpureum</i>		○	○
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Mosla dianthera</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Lycopus maackianus</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Lamium amplexicaule</i>		○	
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Clinopodium sachalinense</i>			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ	<i>Isodon inflexus</i>		○	
シソ科	クマツヅラ	<i>Rabdosia s.p.</i>			
シソ科	クマツヅラ	<i>Meehania urticifolia</i> Makino			
シソ科	クマツヅラ				
シソ科	クマツヅラ				

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト④（続き）

ヒロハシロ科	セトシロ		
ヒロハシロ科	エビモ		
ヒロハシロ科	ヤナギモ		
イバラモ科	イトトリゲモ	<i>Najas japonica</i>	
イバラモ科	トリゲ		
オモダナ科	アネチシ		
オモダナ科	ウリカワ		
オモダナ科	オモダナ	<i>Sagittaria trifolia</i>	
オモダナ科	ウライ		
オモダナ科	セイヨウオモダナ		
オモダナ科	ヘリオオモダナ	<i>Alisma canaliculatum</i>	○
オモダナ科	ササオモダナ		
オモダナ科	トウゴトヘリオオモダナ		
オモダナ科	ナツハオモダナ		○
オモダナ科	ヒロハシヤセシオモダナ		○
トチカガミ科	オモダナダモ	<i>Egeria densa</i>	
トチカガミ科	クロモ		
トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	
トチカガミ科	セセシユモ		
トチカガミ科	トチカガミ		
トチカガミ科	ミズオモダナ		
トチカガミ科	ヤナギスズク	<i>Blyea japonica</i>	
タケ科	アズマササ		
タケ科	アズマササ		○
タケ科	オカメササ		
タケ科	クサササ		
タケ科	ハチク		
タケ科	ホネイチク		
タケ科	マダケ		
タケ科	メダケ		
タケ科	モウソウチク		○
タケ科	ヤダケ		
アザミ科	アザミ	<i>Anemone nemorosa</i>	
ハブタケ科	アザミ	<i>Dactylophora indica</i>	
ハブタケ科	ノウタケ		
ハブタケ科	マントカササダケ		
ハブタケ科	アザミ		
ウキクサ科	ウキクサ		
ウキクサ科	コウキクサ		
ホシクサ科	イトハスノヒゲ		
ホシクサ科	シロハスノヒゲ		
ホシクサ科	ヒロハスノヒゲ		
ホシクサ科	ホシクサ		
ヒメハコバネ科	ヒメハコバネ		
アザミ科	アザミ		
アザミ科	アメリカアリソン		
アザミ科	アリソン		
アザミ科	アメリカアリソン		
アザミ科	アザミ	<i>Chenopodium ficifolium</i>	○
アザミ科	シロアザミ		
アザミ科	シロアザミ		
マツモ科	マツモ		
モウセンゴケ科	モウセンゴケ		
アザミ科	ネバチマツモハシジン		
アザミ科	アザミ	<i>Callitriche japonica</i>	
アザミ科	ミズハコバ	<i>Callitriche verna</i>	
トウワツネ科	トウワツネ		
カエデ科	イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>	○
カエデ科	ウツギモミジ	<i>Acer mono f. cornuvers</i>	
カエデ科	ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i>	
カエデ科	エンコウカエデ	<i>Acer mono var. marvoratum f. dissectum</i>	
カエデ科	オニイタヤ		
カエデ科	カエデ	<i>Acer diabolicum</i>	
カエデ科	ケナシヤグルマカエデ		
カエデ科	トウカエデ		
カエデ科	ヤブカエデ		
カエデ科	ヤマモミジ		
ミゾハコバネ科	ミゾハコバ	<i>Filatine triandra var. podicellata</i>	
ヒシ科	ヒシ		
イチヤクソウ科	アキノソウ	<i>Monotropa uniflora</i>	
イチヤクソウ科	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica Klenz</i>	
イチヤクソウ科	ウツギソウ		
イチヤクソウ科	アキノソウ	<i>Monotropastrum humile Hara</i>	○
イチヤクソウ科	アキノソウ		
イチヤクソウ科	アキノソウ	<i>Monotropa hypopitys Link.</i>	
ヤブコウジ科	カタバネ		
ヤブコウジ科	キミノマンリョウ	<i>Ardisia crenata Sims form. xanthocarpa (Nakai) H. Ohashi</i>	○
ヤブコウジ科	シロミノマンリョウ		○
ヤブコウジ科	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>	○
ヤブコウジ科	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>	○
フジツクサ科	アノミ		
フジツクサ科	ヒメナエ		
フジツクサ科	フジツクサ	<i>Buddleia japonica</i>	
タヌキモ科	タヌキモ		
レンブソウ科	レンブソウ		
オミナエシ科	オミナエシ	<i>Patrinia villosa</i>	
オミナエシ科	オミナエシ		
オミナエシ科	ツルカノコソウ		
マムシソウ科	マムシソウ		
ミズワタ科	タネシメ	<i>Onychium japonicum</i>	○
ミズワタ科	ホウライシメ	<i>Adiantum capillus veneris</i>	
オシロイバナ科	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>	
ネケツクサ科	ネケツクサ	<i>Cuscuta japonica</i>	

表IV-12 文献による各「里山」の植物リスト⑤ (続き)

Table listing various plant species across multiple columns, including botanical names like Eurytmus alatus, Viola hondoensis, and Hypericum erectum, with corresponding classification codes.

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト⑤ (続き)

Table with columns for plant names in Japanese and Latin, and 10 columns of presence/absence markers (0/1). Rows include species like Isodon inflexus, Radixis sin, Meehania arctifolia Makino, and various species in the Asteraceae family.

表 IV-12 文献による各「里山」の植物リスト⑥

調査地	里山名	V 22 芦花館 春園	W 23 相模谷 公郷多 んなの 森	X 24 成城3 丁目緑 地	Y 25 きたみ ふれお い広場	Z 26 みつ池 緑地	aa 27 大蔵運 動公園 下(ア スレ チック 広場下)								
								里山名(文献の記録対象地)	神明の森みつ池特別保護区 1981	神明の森みつ池特別保護区 1990	神明の森みつ池特別保護区 1995	神明の森みつ池特別保護区 1981	神明の森みつ池特別保護区 1990	成城みつ池緑地 2003	成城みつ池緑地 2004
	記録年月日														
	文献														
	報告者														
	学名														
ヒカゲハスズメ科	トウゲシハ														
イワヒハ科	イヌカサヒハ														
イワヒハ科	クラマゴケ														
イワヒハ科	オホクサゴケ														
ミズゴケ科	ミズゴケ														
ハイヤサリ科	アイフスノハナワラビ														
ハイヤサリ科	アカハヤワラビ														
ハイヤサリ科	アサアノハナワラビ														
ハイヤサリ科	オホハヤワラビ														
ハイヤサリ科	ナガボノツノハナワラビ														
ハイヤサリ科	ナノハナワラビ														
ハイヤサリ科	ヒロハヤワラビ														
ハイヤサリ科	フスノハナワラビ														
ホトツグ科	ホトツグ														
シロバナソウ科	シロバナソウ														
メダ科	ヒロハヤワラビ														
メダ科	フモトシキダ														
メダ科	ホソハモトシキダ														
メダ科	ミヤマシキダ														
メダ科	アイヌカインデ														
メダ科	アノコウワラビ														
メダ科	アスノコウワラビ														
メダ科	イヌイワタシダ														
メダ科	イノデ														
メダ科	イノデトキ														
メダ科	イワシロイノデ														
メダ科	エンシウベニシダ														
メダ科	オホイササギ														
メダ科	オホナワラビ														
メダ科	オホクニノデ														
メダ科	オホベニシダ														
メダ科	オホヤマツバ														
メダ科	オシロイ														
メダ科	オニヤブソテツ														
メダ科	ホソベニシダ														
メダ科	ホヨシヒメワラビ														
メダ科	クマシダ														
メダ科	クマワラビ														
メダ科	サゴイノデ														
メダ科	サイゴクベニシダ														
メダ科	サカラカガマ														
メダ科	ジュウモンソウ														
メダ科	ジュウモンソウワラビ														
メダ科	ツキナシノデ														
メダ科	ツキナシヤブソテツ														
メダ科	チロハヤブソテツ														
メダ科	トウゴクシダ														
メダ科	トウリョウノデ														
メダ科	ナガハヤソテツ														
メダ科	オホクサワ														
メダ科	ナラシダ														
メダ科	ナンゴクナラシダ														
メダ科	ハチシダ														
メダ科	ハタジュクノデ														
メダ科	ヒメイタシダ														
メダ科	フジシダ														
メダ科	ベニオホイタシダ														
メダ科	ベニシダ														
メダ科	ホソハヤラシダ														
メダ科	ホソハヤマツソテツ														
メダ科	マルハベニシダ														
メダ科	ミウライノデ														
メダ科	ミヤカガマ														
メダ科	ヤブソテツ														
メダ科	ヤマイタシダ														
メダ科	ヤマヤブソテツ														
メダ科	リウウソテツ														
メダ科	イタシダ														
メダ科	イワイタシダ														
メダ科	コノシカガマ科	イヌシダ													
メダ科	コノシカガマ科	イヒヒワラビ													
メダ科	コノシカガマ科	オウレンシダ													
メダ科	コノシカガマ科	フモトシダ													
メダ科	コノシカガマ科	ワラビ													
ウラボシ科	アズシダ														
ウラボシ科	マメヅタ														
ウラボシ科	ミヅウラボシ														
ササユズ科	ササユズ														
イモトソウ科	イモトソウ														
イモトソウ科	ウラゲイワガサ														
イモトソウ科	オホハヤイモトソウ														
イモトソウ科	イヌイモトソウ														
イモトソウ科	イワガサセンマイ														
イモトソウ科	イワガサソウ														
イモトソウ科	クシノシダ														
イモトソウ科	タチソノ														
イモトソウ科	ハコネシダ														
イモトソウ科	ホウライシダ														
チヤセシダ科	イトトシダ														
チヤセシダ科	コタニワタリ														
チヤセシダ科	コハノヒメシダ														
チヤセシダ科	チヤセシダ														
チヤセシダ科	トネトシダ														
チヤセシダ科	トラノシダ														
チヤセシダ科	クモノシダ														
ヒメシダ科	アヒヒワラビ														
ヒメシダ科	アオハヤワラビ														
ヒメシダ科	ダシゲシダ														
ヒメシダ科	コシシダ														
ヒメシダ科	ハシゴシダ														
ヒメシダ科	ハリガサワラビ														
ヒメシダ科	ヒメシダ														
ヒメシダ科	ヒメワラビ														
ヒメシダ科	ホシダ														
ヒメシダ科	ミシダ														
ヒメシダ科	ミドリメワラビ														
ヒメシダ科	ヤウラシダ														
イワナンゴ科	イヌナンゴ														
イワナンゴ科	イヌワラビ														
イワナンゴ科	オホハヤシダ														
イワナンゴ科	カラクサイヌワラビ														
イワナンゴ科	キヨミシダ														
イワナンゴ科	カサソテツ														
イワナンゴ科	コヒロハシケシダ														
イワナンゴ科	シケシダ														
イワナンゴ科	シケソテツ														
イワナンゴ科	セイタカシケシダ														
イワナンゴ科	タカオシケシダ														
イワナンゴ科	タマシケシダ														
イワナンゴ科	ニシケシダ														
イワナンゴ科	ヌリワラビ														
イワナンゴ科	ノコギリシダ														
イワナンゴ科	ハコネイノデ														
イワナンゴ科	ヒロハヤノネコギ														
イワナンゴ科	ヘビノネコギ														
イワナンゴ科	ホソハシケシダ														
イワナンゴ科	ヤマイヌワラビ														

v. 里山の植物の生育に及ぼす諸要因

1. ヤマザクラの巨木下の植生調査

前述「ii. 植物の生育に及ぼす地形と管理の影響に関する実験」の通りヤマザクラの生育状態をみて人為的な影響の度合いを推測できることと考えた。これまでいわれているように、ヤマザクラは、先駆植物として位置付けられ、ヤマザクラは、遷移の影響を受けやすい。ヤマザクラをみると、①管理または利用されてきた里山では、太いか株立ち数が多い（写真 IV-11）。②管理されないと、遷移によって細いままか倒木する。③人工的な公園ではソメイヨシノに代わる等の知見を推測した。

そこでヤマザクラの巨木の株立ち数と幹周、及びそのヤマザクラを中心とした 10m × 10m または 20m × 20m のプロット内の植生（植物）を調べた。

その結果、ヤマザクラの株立ちである他に、周囲の樹種をみると、常緑樹が多くあったり（図 IV-13）、アズマネザサが占有したりしていた。逆に全く、アズマネザサがないこともあった（図 IV-14）。そして、①ヤマザクラに続き、コナラ、イヌシデ、エゴノキ、クヌギ、シラカシ、アラカシ、ヒサカキが多い。②アズマネザサが占有している場所としていない場所がはっきりしている。③アズマネザサの比較的少ないプロット（被度 3 以下）で、多くの草本がみられる。アズマネザサがみられる場所ではその他の本の種も少ないことがわかった（表 IV-13, -14a, b）。



写真 IV-11 Aug. 17, 2014 桜ヶ丘公園, 記録から埋もれていた株立ちのヤマザクラの巨木.

表 IV-14 ヤマザクラのある場所の植生調査, アズマネザサの被度の降順, 草本 (続き).

No.	種名	個体数	出現率	備考
1	アズマネザサ	5	+	
2	クサヤシ	1	+	
3	クサヤシ	1		
4	クサヤシ	1		
5	クサヤシ	1		
6	クサヤシ	1		
7	クサヤシ	1		
8	クサヤシ	1		
9	クサヤシ	1		
10	クサヤシ	1		
11	クサヤシ	1		
12	クサヤシ	1		
13	クサヤシ	1		
14	クサヤシ	1		
15	クサヤシ	1		
16	クサヤシ	1		
17	クサヤシ	1		
18	クサヤシ	1		
19	クサヤシ	1		
20	クサヤシ	1		
21	クサヤシ	1		
22	クサヤシ	1		
23	クサヤシ	1		
24	クサヤシ	1		
25	クサヤシ	1		
26	クサヤシ	1		
27	クサヤシ	1		
28	クサヤシ	1		
29	クサヤシ	1		
30	クサヤシ	1		
31	クサヤシ	1		
32	クサヤシ	1		
33	クサヤシ	1		
34	クサヤシ	1		
35	クサヤシ	1		
36	クサヤシ	1		
37	クサヤシ	1		
38	クサヤシ	1		
39	クサヤシ	1		
40	クサヤシ	1		
41	クサヤシ	1		
42	クサヤシ	1		
43	クサヤシ	1		
44	クサヤシ	1		
45	クサヤシ	1		
46	クサヤシ	1		
47	クサヤシ	1		
48	クサヤシ	1		
49	クサヤシ	1		
50	クサヤシ	1		

表 IV-14b ヤマザクラのある場所の植生調査、アズマネザサの被度の降順、木本。

調査地点 の名称	七生公園1 小宮公園3 長沼公園1 七生公園2 両岸公園1			嵯峨塚 生田緑地3 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地			栗山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地			東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地			東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地			東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地 東山田緑地			東山田緑地 の地号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998
①1.62, ②1.16, ③0.53, ④0.63, ⑤0.53	①0.26, ②0.34, ③0.16, ④0.05, ⑤0.76, ⑥1.14, ⑦0.22, ⑧0.18, ⑨4.03, ⑩4.03, ⑪0.87, ⑫0.42, ⑬1.36	①1.01, ②0.17, ③0.86, ④0.86, ⑤1.34, ⑥1.6	①1.12, ②0.73, ③0.72, ④0.72, ⑤0.72, ⑥0.72, ⑦0.72, ⑧0.72, ⑨0.72, ⑩0.72, ⑪0.72, ⑫0.72, ⑬0.72, ⑭0.72, ⑮0.72, ⑯0.72, ⑰0.72, ⑱0.72, ⑲0.72, ⑳0.72, ㉑0.72, ㉒0.72, ㉓0.72, ㉔0.72, ㉕0.72, ㉖0.72, ㉗0.72, ㉘0.72, ㉙0.72, ㉚0.72, ㉛0.72, ㉜0.72, ㉝0.72, ㉞0.72, ㉟0.72, ㊱0.72, ㊲0.72, ㊳0.72, ㊴0.72, ㊵0.72, ㊶0.72, ㊷0.72, ㊸0.72, ㊹0.72, ㊺0.72, ㊻0.72, ㊼0.72, ㊽0.72, ㊾0.72, ㊿0.72	①0.12, ②0.12, ③0.12, ④0.12, ⑤0.12, ⑥0.12, ⑦0.12, ⑧0.12, ⑨0.12, ⑩0.12, ⑪0.12, ⑫0.12, ⑬0.12, ⑭0.12, ⑮0.12, ⑯0.12, ⑰0.12, ⑱0.12, ⑲0.12, ⑳0.12, ㉑0.12, ㉒0.12, ㉓0.12, ㉔0.12, ㉕0.12, ㉖0.12, ㉗0.12, ㉘0.12, ㉙0.12, ㉚0.12, ㉛0.12, ㉜0.12, ㉝0.12, ㉞0.12, ㉟0.12, ㊱0.12, ㊲0.12, ㊳0.12, ㊴0.12, ㊵0.12, ㊶0.12, ㊷0.12, ㊸0.12, ㊹0.12, ㊺0.12, ㊻0.12, ㊼0.12, ㊽0.12, ㊾0.12, ㊿0.12	①0.72, ②0.72, ③0.72, ④0.72, ⑤0.72, ⑥0.72, ⑦0.72, ⑧0.72, ⑨0.72, ⑩0.72, ⑪0.72, ⑫0.72, ⑬0.72, ⑭0.72, ⑮0.72, ⑯0.72, ⑰0.72, ⑱0.72, ⑲0.72, ⑳0.72, ㉑0.72, ㉒0.72, ㉓0.72, ㉔0.72, ㉕0.72, ㉖0.72, ㉗0.72, ㉘0.72, ㉙0.72, ㉚0.72, ㉛0.72, ㉜0.72, ㉝0.72, ㉞0.72, ㉟0.72, ㊱0.72, ㊲0.72, ㊳0.72, ㊴0.72, ㊵0.72, ㊶0.72, ㊷0.72, ㊸0.72, ㊹0.72, ㊺0.72, ㊻0.72, ㊼0.72, ㊽0.72, ㊾0.72, ㊿0.72	①1.12, ②0.12, ③0.12, ④0.12, ⑤0.12, ⑥0.12, ⑦0.12, ⑧0.12, ⑨0.12, ⑩0.12, ⑪0.12, ⑫0.12, ⑬0.12, ⑭0.12, ⑮0.12, ⑯0.12, ⑰0.12, ⑱0.12, ⑲0.12, ⑳0.12, ㉑0.12, ㉒0.12, ㉓0.12, ㉔0.12, ㉕0.12, ㉖0.12, ㉗0.12, ㉘0.12, ㉙0.12, ㉚0.12, ㉛0.12, ㉜0.12, ㉝0.12, ㉞0.12, ㉟0.12, ㊱0.12, ㊲0.12, ㊳0.12, ㊴0.12, ㊵0.12, ㊶0.12, ㊷0.12, ㊸0.12, ㊹0.12, ㊺0.12, ㊻0.12, ㊼0.12, ㊽0.12, ㊾0.12, ㊿0.12	①0.72, ②0.72, ③0.72, ④0.72, ⑤0.72, ⑥0.72, ⑦0.72, ⑧0.72, ⑨0.72, ⑩0.72, ⑪0.72, ⑫0.72, ⑬0.72, ⑭0.72, ⑮0.72, ⑯0.72, ⑰0.72, ⑱0.72, ⑲0.72, ⑳0.72, ㉑0.72, ㉒0.72, ㉓0.72, ㉔0.72, ㉕0.72, ㉖0.72, ㉗0.72, ㉘0.72, ㉙0.72, ㉚0.72, ㉛0.72, ㉜0.72, ㉝0.72, ㉞0.72, ㉟0.72, ㊱0.72, ㊲0.72, ㊳0.72, ㊴0.72, ㊵0.72, ㊶0.72, ㊷0.72, ㊸0.72, ㊹0.72, ㊺0.72, ㊻0.72, ㊼0.72, ㊽0.72, ㊾0.72, ㊿0.72	①1.12, ②0.12, ③0.12, ④0.12, ⑤0.12, ⑥0.12, ⑦0.12, ⑧0.12, ⑨0.12, ⑩0.12, ⑪0.12, ⑫0.12, ⑬0.12, ⑭0.12, ⑮0.12, ⑯0.12, ⑰0.12, ⑱0.12, ⑲0.12, ⑳0.12, ㉑0.12, ㉒0.12, ㉓0.12, ㉔0.12, ㉕0.12, ㉖0.12, ㉗0.12, ㉘0.12, ㉙0.12, ㉚0.12, ㉛0.12, ㉜0.12, ㉝0.12, ㉞0.12, ㉟0.12, ㊱0.12, ㊲0.12, ㊳0.12, ㊴0.12, ㊵0.12, ㊶0.12, ㊷0.12, ㊸0.12, ㊹0.12, ㊺0.12, ㊻0.12, ㊼0.12, ㊽0.12, ㊾0.12, ㊿0.12	①0.72, ②0.72, ③0.72, ④0.72, ⑤0.72, ⑥0.72, ⑦0.72, ⑧0.72, ⑨0.72, ⑩0.72, ⑪0.72, ⑫0.72, ⑬0.72, ⑭0.72, ⑮0.72, ⑯0.72, ⑰0.72, ⑱0.72, ⑲0.72, ⑳0.72, ㉑0.72, ㉒0.72, ㉓0.72, ㉔0.72, ㉕0.72, ㉖0.72, ㉗0.72, ㉘0.72, ㉙0.72, ㉚0.72, ㉛0.72, ㉜0.72, ㉝0.72, ㉞0.72, ㉟0.72, ㊱0.72, ㊲0.72, ㊳0.72, ㊴0.72, ㊵0.72, ㊶0.72, ㊷0.72, ㊸0.72, ㊹0.72, ㊺0.72, ㊻0.72, ㊼0.72, ㊽0.72, ㊾0.72, ㊿0.72	①1.12, ②0.12, ③0.12, ④0.12, ⑤0.12, ⑥0.12, ⑦0.12, ⑧0.12, ⑨0.12, ⑩0.12, ⑪0.12, ⑫0.12, ⑬0.12, ⑭0.12, ⑮0.12, ⑯0.12, ⑰0.12, ⑱0.12, ⑲0.12, ⑳0.12, ㉑0.12, ㉒0.12, ㉓0.12, ㉔0.12, ㉕0.12, ㉖0.12, ㉗0.12, ㉘0.12, ㉙0.12, ㉚0.12, ㉛0.12, ㉜0.12, ㉝0.12, ㉞0.12, ㉟0.12, ㊱0.12, ㊲0.12, ㊳0.12, ㊴0.12, ㊵0.12, ㊶0.12, ㊷0.12, ㊸0.12, ㊹0.12, ㊺0.12, ㊻0.12, ㊼0.12, ㊽0.12, ㊾0.12, ㊿0.12	①0.72, ②0.72, ③0.72, ④0.72, ⑤0.72, ⑥0.72, ⑦0.72, ⑧0.72, ⑨0.72, ⑩0.72, ⑪0.72, ⑫0.72, ⑬0.72, ⑭0.72, ⑮0.72, ⑯0.72, ⑰0.72, ⑱0.72, ⑲0.72, ⑳0.72, ㉑0.72, ㉒0.72, ㉓0.72, ㉔0.72, ㉕0.72, ㉖0.72, ㉗0.72, ㉘0.72, ㉙0.72, ㉚0.72, ㉛0.72, ㉜0.72, ㉝0.72, ㉞0.72, ㉟0.72, ㊱0.72, ㊲0.72, ㊳0.72, ㊴0.72, ㊵0.72, ㊶0.72, ㊷0.72, ㊸0.72, ㊹0.72,																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

表 IV-14b ヤマザクラのある場所の植生調査, アズマネザサの被度の降順, 木本 (続き).

調査地点 の名称	種別	七生公園1	小宮公園3	長谷公園1	七生公園2	同峰公園1	七生公園3	長谷公園4	七生公園3	東山田線 東 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 西 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 南 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 北 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 東 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 西 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 南 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 北 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線	東山田線 東 東山田線 東山田線 東山田線 東山田線

表 IV-14b ヤマザクラのある場所の植生調査, アズマネザサの被度の降順, 木本 (続き).

調査地点 の名称	松ヶ丘公園3	松ヶ丘公園1	小宮公園3	長原公園1	七生公園2	同輝公園1	同輝公園2	同輝公園3	東市田線 百原町, 東 東市田線 百原町3	東市田線 東市田線 東市田線 東市田線										
	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3	園地3
	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173	0.173
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

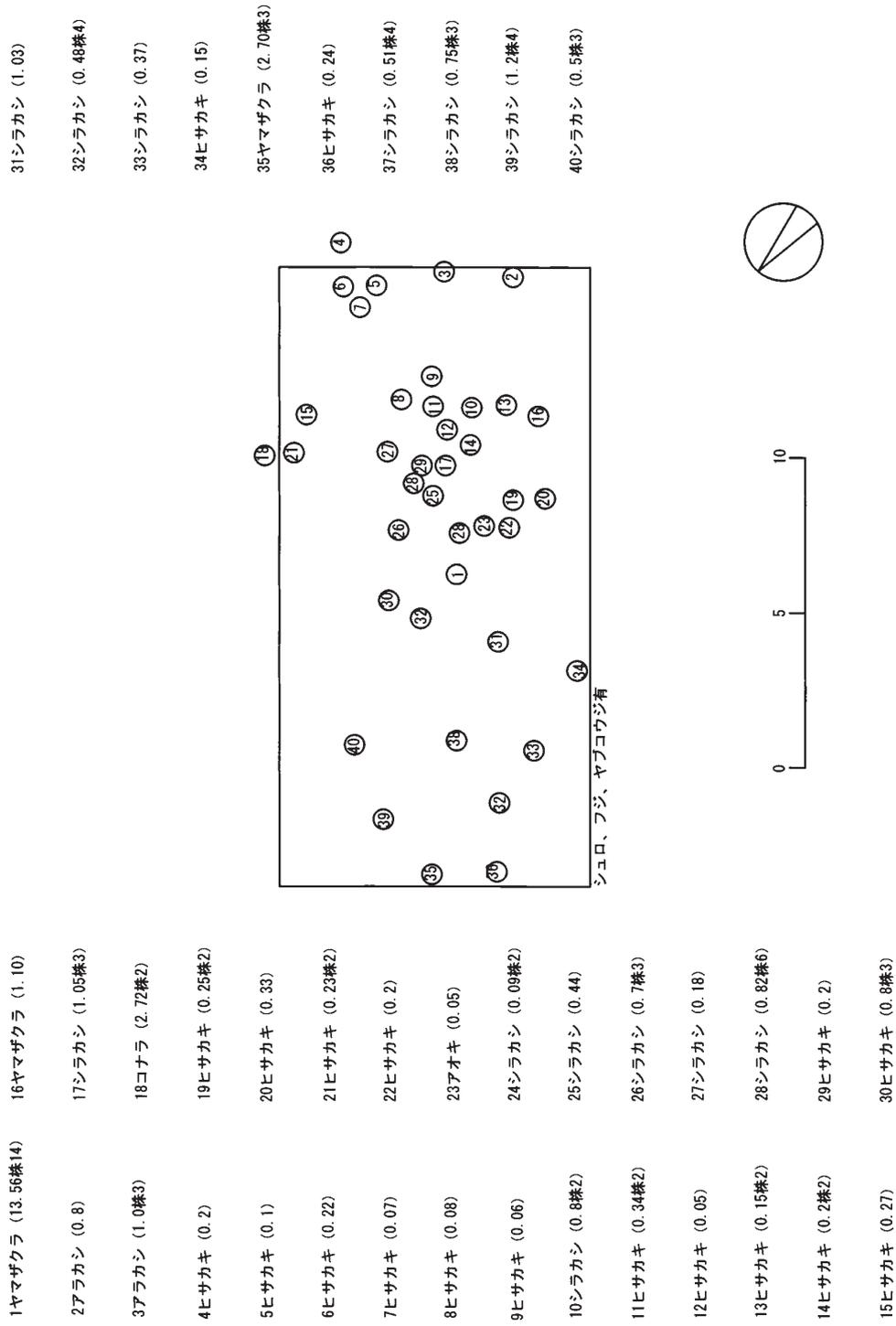


図 IV-13 陰生植物の多いヤマザクラの下のプロット

- 1 ヤマザクラ (5.12株6)
- 2 イヌシデ (0.21)
- 3 イヌシデ (1.17株2)
- 4 イヌシデ (0.76)
- 5 シラカシ (0.8株3)
- 6 エゴノキ (1.33株4)
- 7 イヌシデ (0.9)
- 8 イヌシデ (1.49)
- 9 エゴノキ (0.64)
- 10 コナラ (0.63)
- 11 アラカシ (採探)
- 12 イヌシデ (0.15)
- 13 エゴノキ (0.67株2)
- 14 イヌシデ (0.42)
- 15 コナラ (0.49)
- 16 コナラ (0.42)
- 17 エゴノキ (0.2)
- 18 エゴノキ (1.0株4)
- 19 イヌシデ (0.25)
- 20 イヌシデ (0.42株2)
- 21 コナラ (0.71)
- 22 ムラサキシキブ (0.18株2)

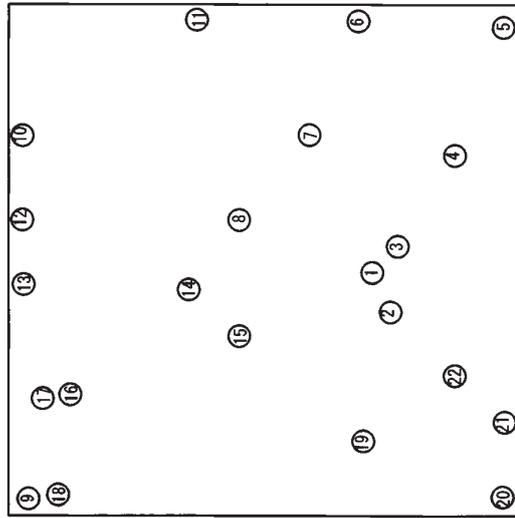


図 IV-14 アズマネザサの被度が小さいヤマザクラの下の植生

2. 信仰対象の有無

表 IV-15 に示すように、不明分を除くと多摩川南西部（右岸）では 88.2%，多摩川北東部（左岸）では、70.8%の里山で、何らかの信仰対象があった。

その信仰対象の内訳は、写真 IV-12 に示すように墓地内のお地蔵様であることもあった。特に写真 IV-13, -14, -15, -16 に示すようにお稲荷様が多かった。ただし、興味深いのは、お稲荷様と併設して寺や神社があつたりすることも多くみられた。時にその信仰内容がわからないもの（写真 IV-17）もあつたが、現在も信仰していることは明らかであった。また稲城市百村の「蛇より行事」という伝統行事も執り行われていた（写真 IV-18）。これらの信仰対象の近くにはモミノキ等の巨木（写真 IV-15）が生育していることが多かった。また信仰対象は山の頂上にあることはほとんどなく麓又は中腹でも家屋の裏にあることが多かった。

これらの信仰対象物が極めて多く、その背景に「里山」として残っている景観の代表例が小山田緑地地区である（写真 IV-19）。

表 IV-15 信仰対象の有無

多摩川南西部, 左岸			
	信仰対象がある里山数	%	% *
有	30	66.7	88.2
無	4	8.9	11.8
不明	11	24.4	
合計	45		
計*	34		
多摩川北東部, 右岸			
	信仰対象がある里山数	%	% *
有	18	40.0	58.1
無	13	28.9	41.9
不明	5	11.1	
合計	36		
計*	24		

* 不明分を除いた値（和と%）



写真 IV-12 稲城 ありがた山, Aug.18, 2014.



写真 IV-13 青梅, 千ヶ淵神社,
Sep.3, 2014.



写真 IV-14 小山田緑地, 祠, Sep.14, 2014.



写真 IV-15 西生田緑地のモミノキの巨木と祠,
Sep.12, 2014.



写真 IV-16 平尾にある祠, Aug. 28, 2014.



写真 IV-17 大蔵緑地の祠, Mar. 23, 2014.



写真 IV-18 稲城市百村の「蛇より行事」.



写真 IV-19 小山田緑地, Sep.14, 2014.

V. 考察

i. 里山の面積と形態

里山各地の面積を求めたところ、最大値で 428ha、次いで 303ha となった。このような里山では、1 日かけて散策できる範囲と思われる。ただし、303ha の稲城市百村では開発中であり、里山内を周遊して歩けるような状態ではなかった。20ha を超える里山であれば、1 日かけてゆっくり散策もできると思われるが、それでも動線は周遊できるのではなく、行きどまりも多かった。

多摩川の青梅付近からの北東側（左岸）の里山は、斜面、（涯線）に緑地が残っていることが多かった。

十分な面積があっても野鳥の誘致のため柵を設けて立ち入り禁止区域にしている場合や、特定の活動による囲い込みもみられた。さらに管理用道路と称するアスファルト舗装が敷かれたり、管理不足による藪化、擬木を含めた人工製品の多用、不要な看板等も多く見た。

ii. 各里山の特徴

関西の里山ではアカマツが代表種という（森本，森本 2012，武内他編 2001）。それぞれの地域で里山の特徴があるように多摩川周辺の里山でもそれぞれの特徴があるものとする。それが数量で表される場合もあるし，種で表される場合もある，またその両者で示される場合もある。

本報では各里山の巨木の種と形態を調べ，あわせて生育する植物を踏査と文献によって調べた。各里山の位置（図 V-1）と，生育地や種の特徴が，表 V-1，2 に示すようにみられた。

1. 多摩川の北東側と南西側とでは巨木の数の大差があり，北東側では激減した（図 V-2，3）。
2. ケヤキは青梅付近～世田谷付近まで，時に下流の多摩川台公園まで，北東側，南西側に関わりなくみられた。
3. ほぼ全ての里山に見られる巨木は，ヤマザクラであった。ヤマザクラのみられる多摩川南西側の最下流位置は川崎市井田平付近であり，東名高速道路の下流では激減した。多摩川から離れた南域ではオオシマザクラの巨木がみられた。ヤマザクラのうち，滝山公園一小峰園地で，九本桜と命名された株立ちの最大の幹周のものをみた。ここでは昔から桜の名所として，桜を大切にし，その周囲の下草刈りなどが行き届いているためであると思われた。ヤマザクラの単木では，武蔵五日市のヤマザクラが最大で，次いで長沼公園の大宮神社内でみられた。但し武蔵五日市のヤマザクラは，調査対象地内の里山からやや離れた場所のものである。ヤマザクラは中流より上流で多くみられた。また先駆植物に近い特性をもち，よく管理されている里山では，イタヤカエデと共に生育し，株立ちとなって巨木になっていた。しかし管理をされていない里山では，ヤマザクラは少なく，シラカシやヒサカキ等が多くなっていた。ヤマザクラは，里山の植生の状態を表す一指標として重要であると思われた。
4. 多摩丘陵にのみ生育しているといわれているタマノカンアオイは，多摩川の北東側では植栽個体を除き，ほとんどみられなかった。例えば，南平－七生公園と東豊田緑地・黒川清流公園とでは距離的に極めて近いのに，後者では見られず，報告もなかった。但し多摩川北東側の狭山丘陵には過去にあったという報告がある。また多摩川南西側では南多摩城山公園よりも下流では激減し，東生田緑地より下流ではみえていない。
5. 浅間山公園のムラシノキスゲ，早野梅ヶ谷特別緑地保全地区のクロムヨウラン等は，その里山を特徴付ける極めて重要な種であると思われた。
6. ウバユリは多摩川の北東側，南西側を問わず，観察された。例えば多摩川北東部では，上流から東豊田緑地・黒川清流公園，芦花公園，多摩川台公園，多摩川南

西部では小宮公園，東生田緑地にみられた。また今回調査対象地にしていない相模原の和泉の森等でも観察された。

7. ギボウシ（オオバギボウシ）を小宮公園で多くみた。次いで長沼公園，南平等でもみられたが，早野特別緑地保全地区になると稀にしか見ることができなかった。ギボウシは，多摩川南西側でしか見ることができず，またギボウシを見ることのできる場所は，他の植物の種数も多い傾向を示した。例えばイタヤカエデ（時にエンユウカエデと分けている）の巨木が南平～長沼公園ではみられるが，そこよりも下流になると次第にその巨木がみられなくなった。
8. 太平洋型要素といわれているツクバキンモンソウ，又はその同属のジュウニヒトエは，多摩川北東側では，成城3丁目緑地のみ，多摩川南西側では南平～南多摩の城山公園や早野梅ヶ谷特別緑地保全地区等で見た程度で，稀少な種に入ると思われた。
9. 人工的な公園になるとユリノキやヒマラヤスギ，ソメイヨシノ等外来種や雑種の巨木が増える傾向になった。その中，砧公園でみたシマサルスベリの巨木は稀少であった。
10. 神社や信仰対象のそばにイチョウ，カゴノキ，シラカシ，アラカシの巨木等が多かった。
11. イヌザクラの巨木は，多摩川の北東側，南西側を問わず見られたがその数は決して多くなかった。今後の保護が望まれる種と考えられた。
12. モウソウチク林が広い面積を占める里山もあった（根岸古墳等）。竹林については今後特に注視する必要がある。
13. コナラ，イヌシデも株立ちが多く，比較的太いものが多かった。但し面積の広い小山田緑地では，イヌシデの巨木がほとんどなかった。
14. 東豊田緑地・黒川清龍公園は，崖線でせまく，人工的な植栽も混ざり（例えばユリノキの巨木等）ながらも，ケヤキの巨木やニガキ，アブラチャン等，他ではあまりみられない種もあげられた。
15. 生田東緑地には，まだ指定されていない幹周 3.0m を超えるウワミズザクラの巨木があった。
16. 多摩川上流の北東側では植林されたと思われるスギ，ヒノキの巨木が多かった。
17. 武蔵五日市のウラジロシラカシ，青梅のスダジイ，アラカシ，百草園のスダジイ，稲城百村のシラカシ，小山田緑地のオオツブラジイ，多摩川台公園付近のアカガシ等，多摩川沿いの里山で特徴を示すブナ科常緑樹がみられた。
18. 東生田緑地，生田緑地，多摩美緑地の近隣の緑地では，エゴノキの太いものが比較的多いという特徴がみられた。
19. クマノミズキ，ミズキ，エゴノキの巨木は，特に多摩川の北東側ではみられなかつ

た。

20. オオウバユリとギボウシを多く観察した小宮公園では、地形が盆地状になっており、近郊弱勢という点で今後注視したい。
21. 調査の結果、個体数が少なかった種としてイチリンソウ、ニリンソウ、ギンラン（キンラン、ササバギンランはみる）、コクサギ、イカリソウ、カタクリ、フデリンドウ、ツタウルシ、ウマノアシガタ、アズマイチゲがあげられた。本報の調査対象地ではないが、相模原市の淵野辺のキャンプ淵野辺のみで多くの個体のフデリンドウをみた。
22. 南平－七生公園から長沼公園では、ネジキやミツバツツジ、アオハダ等、下流ではあまりみられない種を多くみた。
23. ジャノヒゲ、ヤブラン等は、どこにでも生育しているものと予測していたが、早野梅ヶ谷特別緑地保全地区でオオバジャノヒゲも含めたその多くの群落をみた。本調査の対象地ではないが、早野梅ヶ谷特別緑地保全地区の近くの横浜四季の森や三保市民の森、新治市民の森等でも、このジャノヒゲが多い。
24. ヤマユリは、比較的多くの里山で見た。これは風散布型種子の形態が関わっているものと思われる。

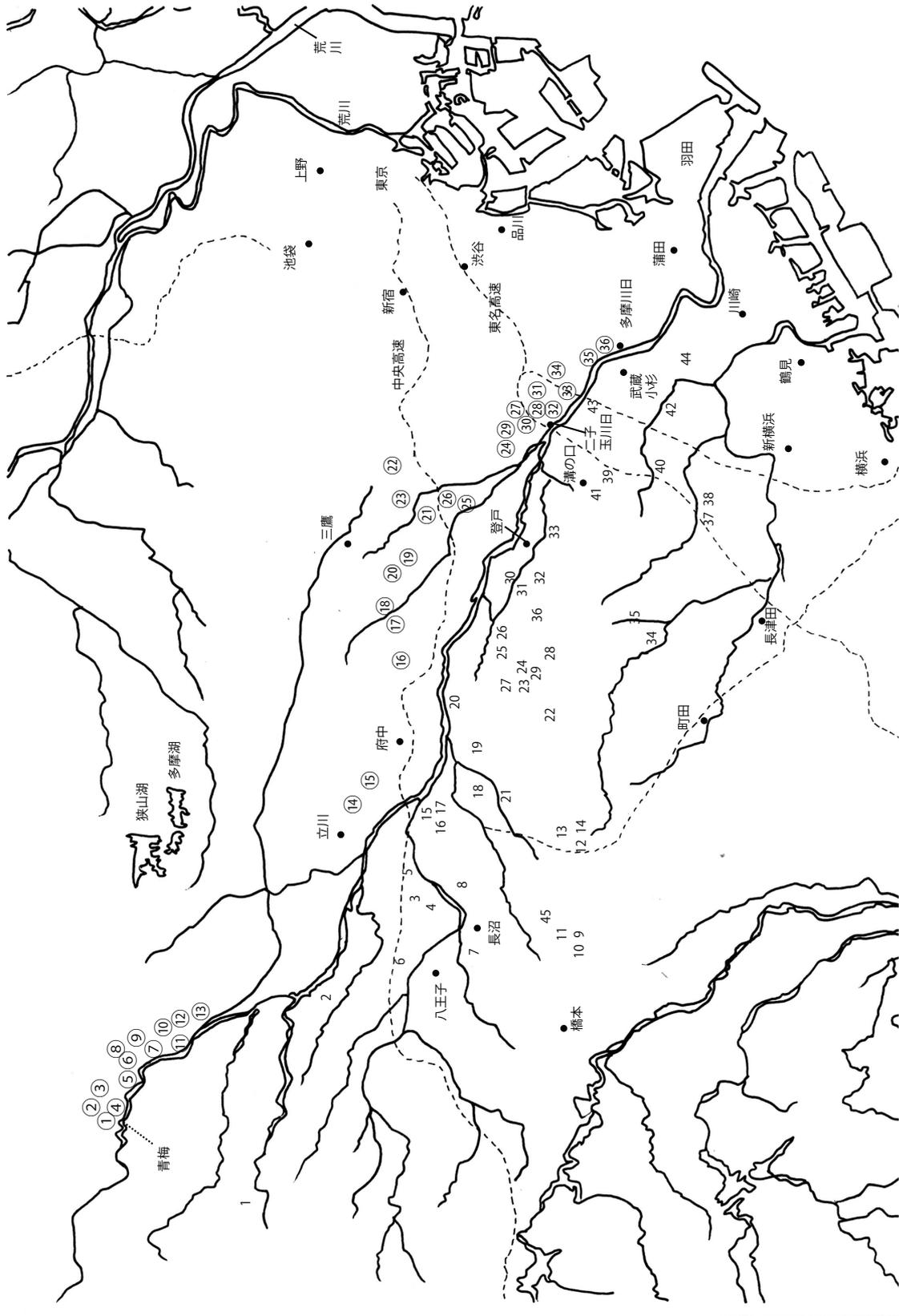


図 V-1 多摩川周辺の里山

表 V-1 調査対象地の概況（多摩川南西部，右岸）

	調査地	面積 (ha)	特徴	巨木の有無	信仰対象 の有無
1	武蔵五日市北	2.3	植林の里山，但し 2km 圏内に巨木 3 種あり，シラカシ：山抱きの大樫，光厳寺のヤマザクラ，幸神社のシダレアカシデ	注	有 徳蔵寺
2	滝山公園 - 小峰ヶ原園地	2.7	ヤマザクラの株立ち多い(九本桜，サクラの名所)，キンミズヒキの保護	ミズキ，ヤマザクラ	有
3	東豊田緑地・黒川清流公園	5.2	中位段丘～低位段丘のおもしろい場所，南平に対して，タマノカンアオイ無し，オオウバユリ	クヌギ，ユリノキ，ケヤキ	-
4	多摩平第 3 緑地	0.5	小規模で特徴無し	ヤマザクラ	無
5	神明野鳥の森公園	0.8	道路に面しており鳥が住みやすいように，藪になっている，ササの高さも 0.5～3m と様々な高さになっている。また樹木全体の幹周は細い	アカシデ	無
6	小宮公園	24.4	ウバユリ，オオバギボウシ，巨木は尾根に多い，盆地状	ケヤキ，エノキ，イヌザクラ，ヤマザクラ	無
7	長沼公園	36.3	カタクリ，アズマネザサ多く，十分な管理はされていない，クヌギ等，ほとんどの高木は細い	コナラ，ミズキ，ホオノキ	有
8	南平 - 七生公園	45.6	株立ちのヤマザクラ，コナラが多い。	イヌシデ，コナラ，ヤマザクラ，エンコウカエデ	有
9	小山内裏公園	43.8	フェンスで囲い，舗装路	ヤマザクラ	-
10	鎌水小山緑道	10.2	不自然な雑木林，比較的細い樹木	ヤマザクラ	-
11	南大沢緑地	1.0	小規模，特徴無し，自然石の石畳	ヤマザクラ	-
12	小山田緑地（山中 - 大久保分園）	19.1	ヤマザクラ，ホオノキ，シラカシ雑種	イヌザクラ，エンコウカエデ，スギ，アカシデ，モミノキ，ホオノキ	有
13	小山田緑地（梅木窪分園）	26.5	アサザ	ミズキ，ハリギリ，ホオノキ	有
14	小山田緑地（白山神社）	3.5	神社内のカゴノキ，イチリンソウ	カゴノキ，ヤマザクラ，スギ	有
15	百草園北，大宮神社側	4.3	単木として都内 2 番目のヤマザクラ	ヤマザクラ，クヌギ，スダジイ	有
16	百草園 - 八幡神社	8.2	スダジイの巨木（シイノキ群，市指定天然記念物）	スダジイ	有
17	百草園南：東電学園，六地藏付近（七生丘陵）	15.5	六地藏とイタヤカエデの巨木	ヤマザクラ，イタヤカエデ	有 六地藏
18	原峰公園	2.9	シラカシ（多摩市保存樹木），祠，墓地多い	アカマツ，ケヤキ，シラカシ	有
19	桜ヶ丘公園	32.8	人工的な植栽を含む。ソメイヨシノ，クスノキ，ヤマモミジ	シラカシ，ウワミズザクラ，エゴノキ，メタセコイア	有
20	南多摩城山公園	21.2	タマノカンアオイ，ジュウニヒトエ，キランソウ。イタヤカエデ細い，シラカシも太い，遷移進んでいる，アオハダ減る，南平と異なる，アオハダ減る，ヒサカキ，アラカシ多い。	イヌザクラとイヌシデ，ヤマザクラ	有
21	貝取山緑地	2.5	不自然な雑木林，常緑樹の植栽林。	イヌシデ，コナラ，シラカシ，ヤマザクラ	-
22	黒川池谷戸緑地	0.8	スダジイ（1.11+2.41m）	コナラ，スダジイ，シラカシ，ヤマザクラ，エゴノキ	有
23	稲城ふれあいの森	6.5	キャンプなどで利用，民地。	ヤマザクラ	-
24	清水谷戸緑地	14.7	事業開発予定地，タマノカンアオイ	ヤマグワ	-
25	稲城市百村	303.1	これまではありがた山に連続していたが，開発中，アカマツの枯死多い，祠少ない，尾根に巨木（特にヤマザクラ）多い，シラカシ巨木多い。	北辰妙見尊境内のシラカシとアカシデの巨木。	有（神社他）
26	妙覚寺 - ありがた山石塔群	18.1	Aug.19,2014 開発（再整備）により立入り禁止，アセス報告書あり，過去オリジナルデータ有り	無	有（寺）
27	平尾北	21.3	祠有り，墓地近くに巨木	シラカシ，ケヤキ，ヤマザクラ	有（祠）
28	平尾西	6.5	事業開発地がほとんどで狭い土地	コナラ，ヤマザクラ	有
29	平尾東（杉山神社）	36.3	周辺は開発，寺社にアカシデ。	スギ，アカシデ	有
30	根岸古墳	1.3	モウソウチク林	ヤマザクラ，イチョウ	有（稲荷神社）
31	東生田緑地（日向山緑地）	2.7	ウバユリ	ウワミズザクラ，イヌシデ，ヤマザクラ，エゴノキ	有（根岸稲荷）
32	生田緑地	175.9	調査難	エノキ，ヤマザクラ	有
33	東高根森林公園	11.6	巨木は尾根に多い。シラカシの数は多いが，比較的細い。	クマノミズキ，ヤマザクラ，エノキ，クヌギ，ムクノキ	有

表 V-1 調査対象地の概況（多摩川南西部，右岸）（続き）

34	寺家ふるさとの森，寺家ふるさと村	98.5	連続している，ヤマザクラ株立ち数多い。倒木もある。管理もよくされている。斜面によってシラカシ林がある（町田側）。	モミノキ，シラカシ，ホオノキ，ムクノキ，ハリギリ，スギ	有
35	早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	11.0	エビネ，キンラン，クロムヨウラン，キバナアキギリ	イヌシデ，ウワミズザクラ，モミノキ，クマノミズキ	有
36	西生田・多摩緑地保全地区，多摩美緑地	7.9	ヤマザクラ-エゴノキ（最大？）に特徴，ヤマザクラの巨木（株立ち多い），タマノカンアオイもある雰囲気，植物調査データ無（ボランティアによる占有），生田緑地，東生田緑地にも似る。	ヤマザクラ，コナラ，イヌシデ，エゴノキ	有
37	都築中央公園	6.9	神社とお稲荷様	イヌシデ，シラカシ，ケヤキ，ヤマザクラ，エゴノキ	有（お稲荷様，神社）
38	茅ヶ崎中央公園自然生態園	4.7	オオシマザクラの巨木が多い。	イヌシデ，コナラ，オオシマザクラ，エノキ，イヌザクラ，クマノミズキ，エゴノキ	-
39	末長熊ノ森緑地	1.9	巨木に祠	スダジイ，オオシマザクラ	有
40	たちばなふれあいの森	7.7	巨木無し	無	-
41	神庭緑地	5.8	巨木無し	無	無
42	井田平台緑地	2.2	多摩川最下流のヤマザクラ，林床植物	ヤマザクラ	-
43	等々力緑地（川崎）	5.1	人工的な公園	無	無
44	夢見ヶ崎動物公園，白山古墳	5.4	公園周辺には古墳，3つの神社が隣接。樹木は植栽されているものが多く，クロマツ，ソメイヨシノ，ヤエザクラ多い。	スダジイ，ケヤキ	有
45	松木日向緑地（首都大学内）	12.9	オオツクバネガシ（指定），タマノカンアオイ，（ヤブザクラ）	オオツクバネガシ，シラカシ	有（お稲荷様，神社）

表 V-2 調査対象地の概況（多摩川北東部，左岸）

	調査地	面積 (ha)	特徴	巨木の有無	信仰対象の有無
1	西分神社，宗徳寺裏	4.2	青梅付近は神社と寺社が併設，里山を薪炭林で使っていた。最近まで練炭店が多かった	ヒノキ，アラカシ，スダジイ	有
2	勝沼山乗願寺，勝沼神社	1.0	スダジイは遠くから目立つ，「寺社の位置を示す」意義。	モミノキ，ヒノキ，アカシデ，アラカシ，スダジイ	有
3	青梅市役所下涯線	0.1	但し昔は千ヶ淵神社斜面とつながっていた。	ケヤキ	無
4	千ヶ淵神社	0.6	信仰対象（狐），分断化，涯線	ヒノキ，コナラ，スダジイ 6.3m，イヌザクラ	有，神社，祠，狐
5	八雲神社下斜面	0.2	分断化，小規模面積，涯線	アカシデ	有
6	松本神社前	0.1	分断化，小規模面積，涯線	スギ	有，神社
7	松本神社裏斜面	0.2	分断化，小規模面積，涯線	ケヤキ	有，神社
8	加美緑地	0.9	分断化，小規模面積，涯線	エノキ	-
9	グリーントリム公園	0.7	比較的最近の植栽？ヒノキ多い。巨木少ない。分断化，小規模面積，涯線	アカマツ	無
10	羽加美緑地	0.6	比較的最近の植栽？ヒノキ多い。巨木少ない	ヤマザクラ，コナラ	無
11	八幡稲荷神社	0.2	分断化，小規模面積，涯線	アラカシ，ケヤキ	有
12	シルバー人材センター	0.3	スダジイは，稲荷神社本殿内（孤立），分断化，小規模面積，涯線	ケヤキ，イヌザクラ	有
13	禪林寺裏	0.3	分断化，小規模面積，涯線	ケヤキ	有
14	矢川緑地	1.2		スダジイ，ヤマザクラ	-
15	城山公園（谷保）	2.6	シラカシ，キツネノカミソリ	シラカシ，ケヤキ	有，神社
16	浅間山公園	3.4	ムサシノキスゲ	コナラ，シラカシ，ケヤキ，ホオノキ，イヌザクラ，ヤマザクラ，ソメイヨシノ，ミズキ	有
17	野川公園	35.0	野草園	イチヨウ，ヒマラヤスギ，ソメイヨシノ，コナラ，エノキ，ハクモクレン，ヤマザクラ	無
18	大沢緑地	0.6		ケヤキ 2.86	有
19	深大寺自然広場	5.2	カニ山	コナラ，シラカシ，ムクノキ，ケヤキ，ハクモクレン，ヤマザクラ，ソメイヨシノ	-
20	神代植物公園（自然広場）	5.6		コナラ，ケヤキ，ユリノキ，イヌザクラ，ヤマザクラ，ソメイヨシノ	無
21	入間公園	0.4		無	無
22	芦花恒春園	0.2	ウバユリ（植栽？）	無	-
23	祖師谷公園みんなの森	0.3	植栽	ソメイヨシノ	無
24	成城3丁目緑地	0.3	涯線	ヤマザクラ	無
25	きたみふれあい広場	3.3	涯線		無
26	みつ池緑地	1.3	ヤマザクラ無，	ヒマラヤスギ	-
27	大蔵運動公園下（アスレチック広場下）	0.8	祠とイチヨウの巨木，ツバキの巨木，ムクロジ	ムクノキ	有
28	砧公園	34.4	植栽としては巨木多い。	イチヨウ，ヒマラヤスギ，クヌギ，エノキ，ケヤキ，クスノキ，ソメイヨシノ，シマサルスベリ	無
29	大蔵三丁目公園大蔵運動公園側	0.3	大蔵三丁目公園としては，道路で分断。ニリンソウ	無	有
30	大蔵三丁目公園東宝側	0.5	大蔵三丁目公園としては，道路で分断。	無	無
31	小坂家住宅下瀬田4丁目広場	0.9	元 農家？	無	有
32	岡本静華堂	3.1	博物館	ケヤキ，ヤマザクラ	有
33	上野毛自然公園	4.8	公園	アカマツ，ソメイヨシノ	無
34	等々力溪谷	0.5	川が通っているため，湿地であり，植物はシダ，アオキ，ヤツデといった陰生植物が生える。庭園が隣接（植栽）。	ケヤキ	有
35	宝来公園	1.1	アカマツの巨木。	アカマツ，ヒマラヤスギ，クヌギ，スダジイ，ケヤキ	無
36	多摩川台公園	6.4	アカガシ，アカマツの巨木。	アカガシ，コナラ，ユリノキ，アカマツ，ケヤキ	有

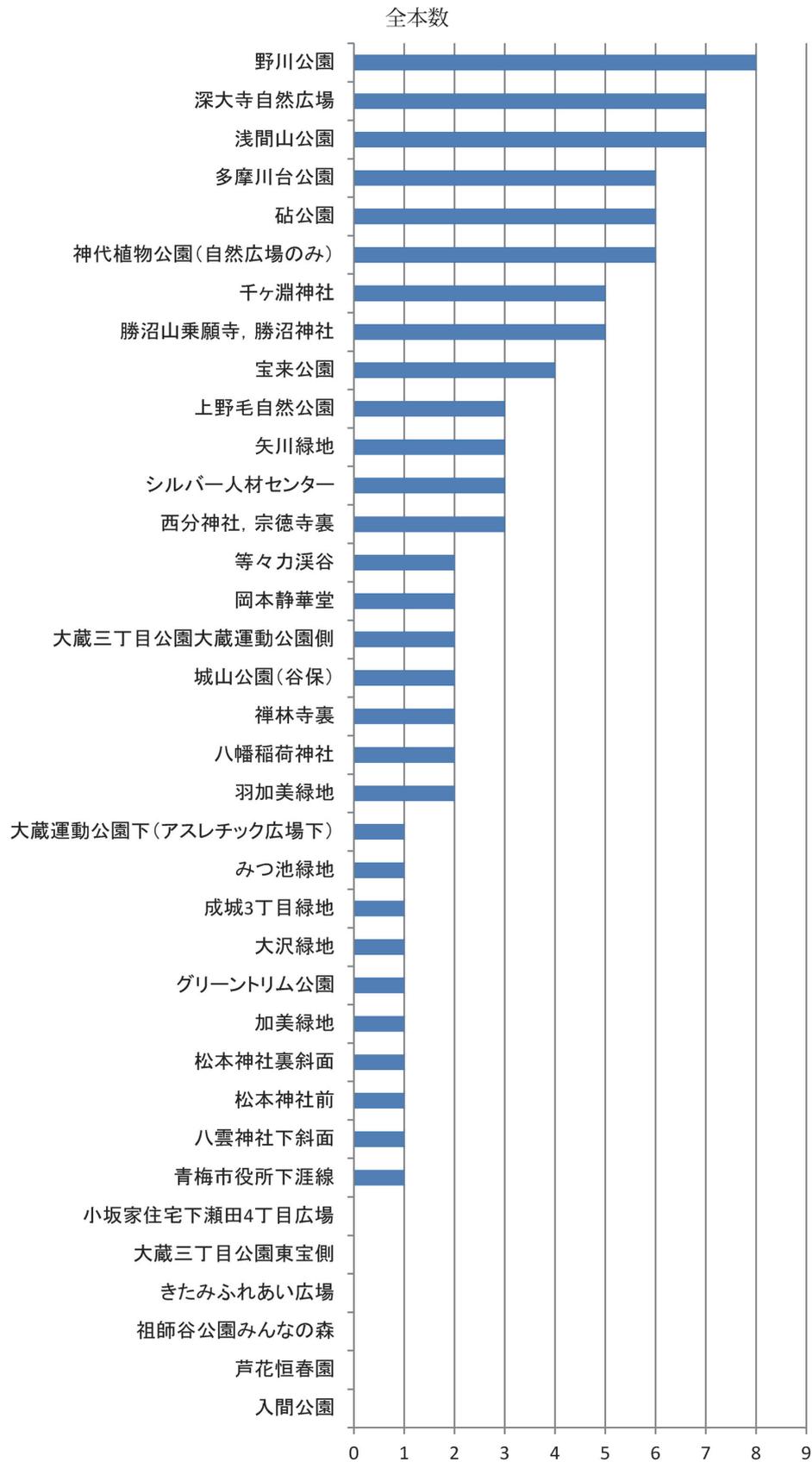


図 V-2 全種の巨木の全本数（多摩川北東側，左岸）

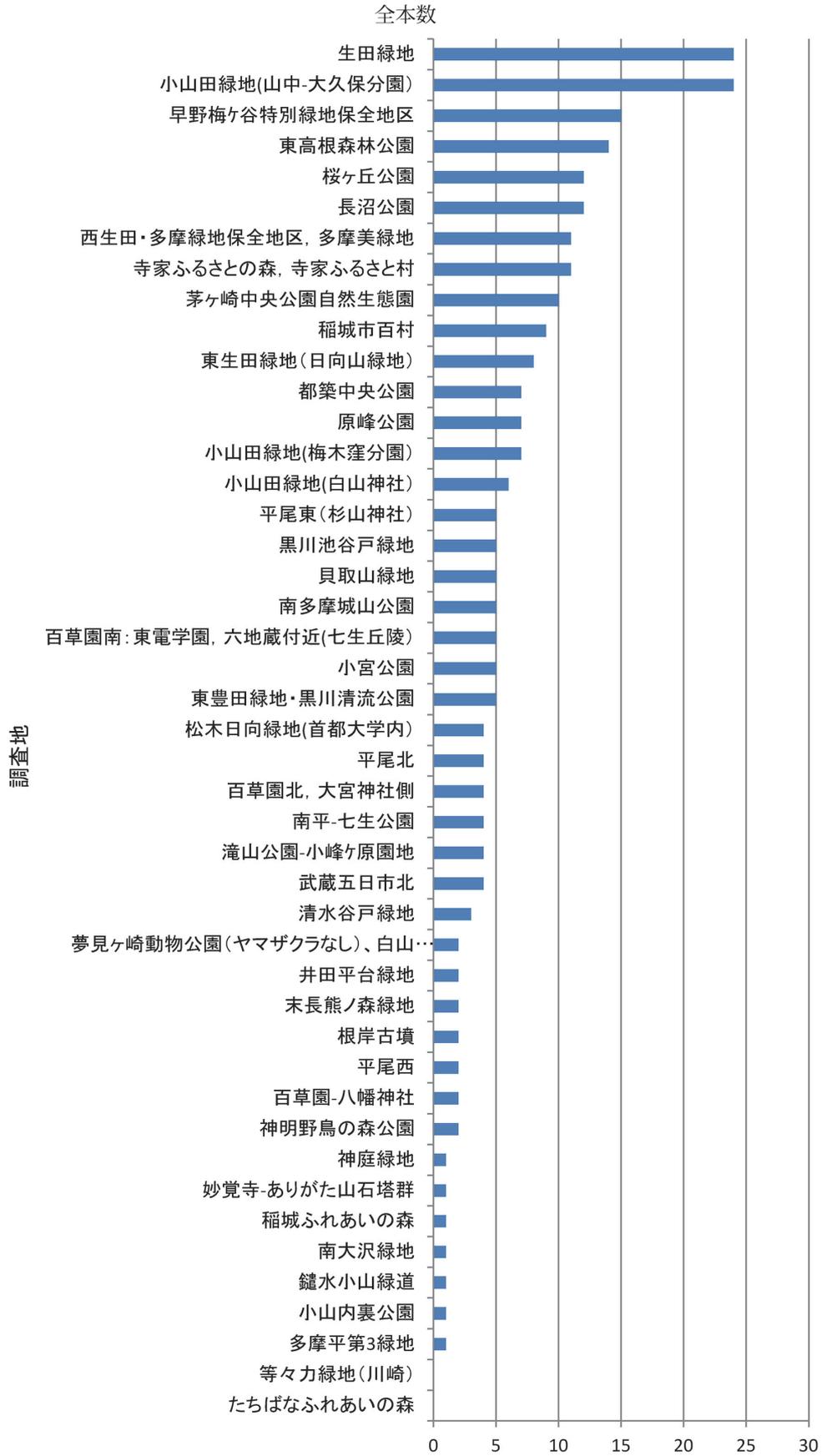


図 V-3 全種の巨木の全本数 (多摩川南西側, 右岸)

iii. 里山の類型化

1) 巨木の本数による里山 81 ケ所のクラスター分析

各里山でみられた種毎の巨木の本数によってクラスター分析(群平均法)を行った。その結果が図 V-4 の通りである。その各里山の巨木の本数一覧が図 V-5 である。この結果からヤマザクラが極めて多いグループや、ケヤキ、スダジイ、オオシマザクラ、オオツクバネガシがそれぞれあるグループ等があげられる。またさらにヤマザクラ中程度の本数のグループ、ヤマザクラとケヤキのあるグループ、ヤマザクラのないグループ、ヤマザクラが少ないグループ、スダジイ、ソメイヨシノ等が少量ずつ均等にあるグループ、ケヤキが少しあるグループ、数本のヤマザクラのみあるグループ、2 種類以下の数本の巨木があるグループ、巨木のないグループに分けられた。

2) 各里山にみられる巨木各種の幹周の最大値によるクラスター分析

類型化された各群の巨木各種幹周の最大値の上位 3 種をみると、図 V-6, -7 に示すようにヤマザクラの最大幹周が大きいグループ、ケヤキの最大幹周が大きいグループに分けられた。またそれぞれの里山の最大幹周の巨木の種を表 V-3 に、各里山における巨木各種の最大幹周の上位 3 株(本)の値を表 V-4 に示した。

3) 巨木の各種の幹周の合計値によるクラスター分析

各里山の巨木各種の幹周の合計値によって類型化を試みた結果、図 V-8 の通りになった。また図 V-9 に示すように類型化された順に種をみると、ヤマザクラの巨木の幹周の総計値が極めて大きいグループ、ヤマザクラの巨木が多いがその総計値は小さいグループ、総計値が小さいグループ、ケヤキ、スダジイ、オオツブラジイ、オオシマザクラ等それぞれの巨木で特徴付けられるグループ、及び巨木のないグループに分けられた。

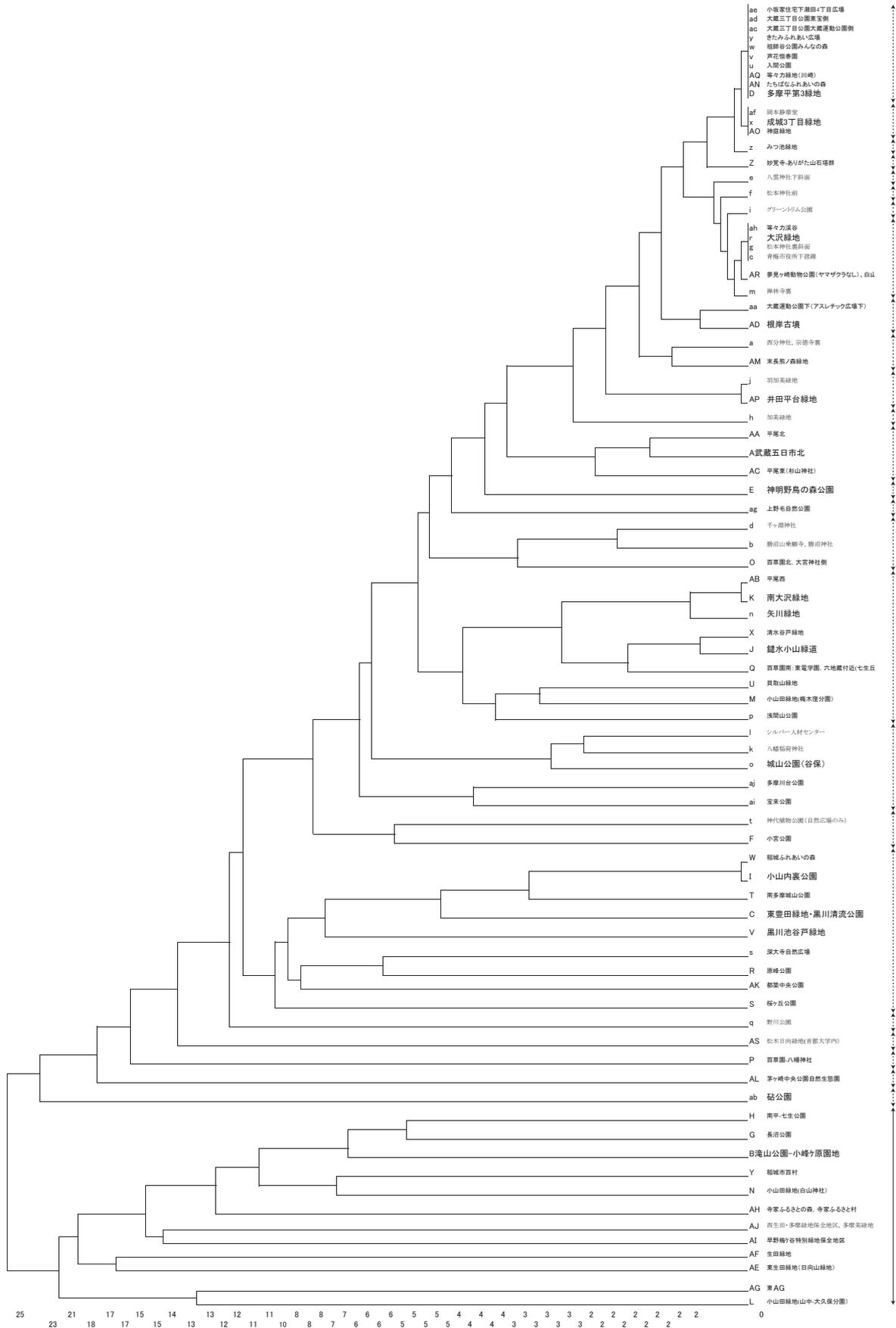


図 V-4 巨木の本数による里山の類型化

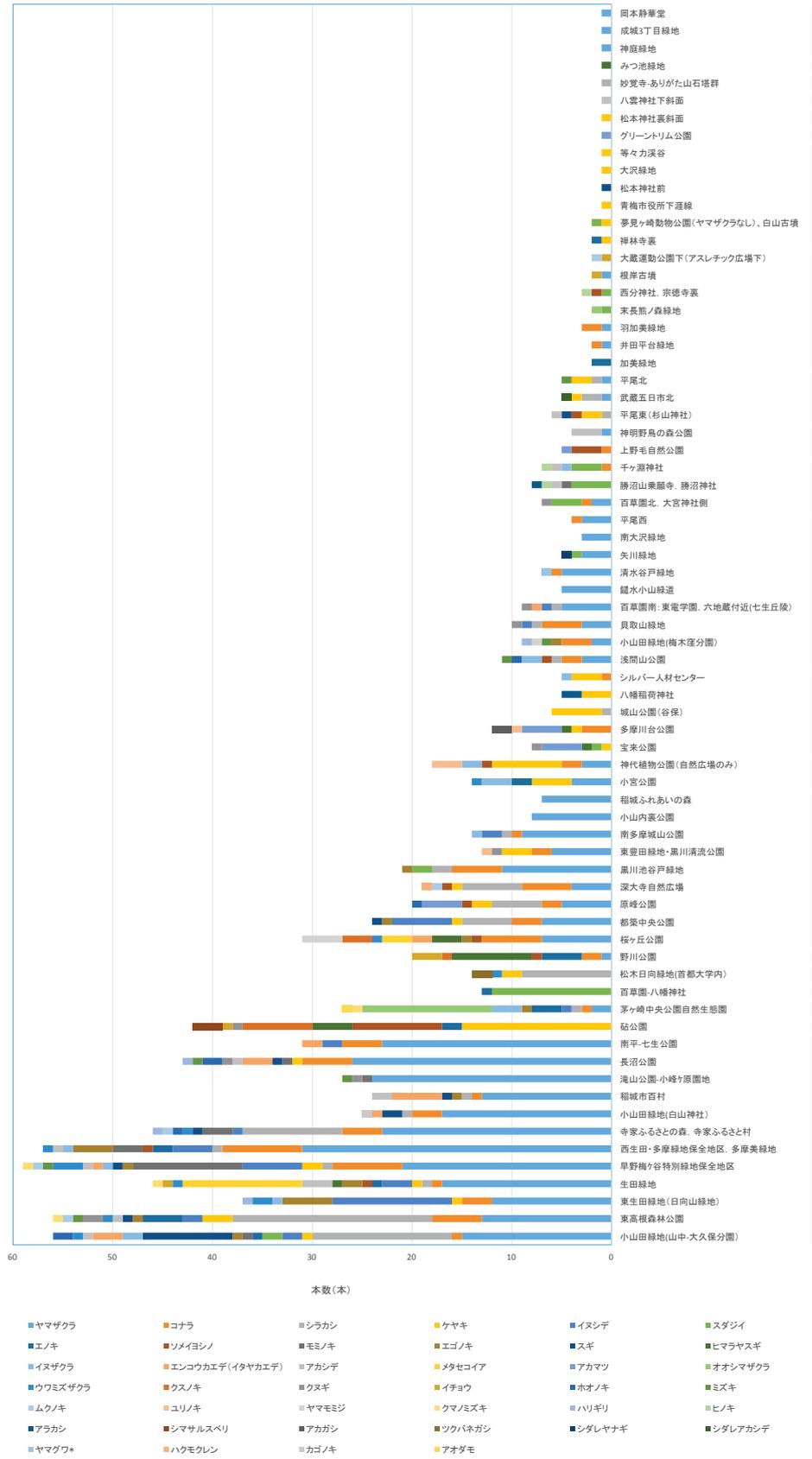


図 V-5 巨木の本数によって類型化された順の各里山の種（巨木のない里山は除く）

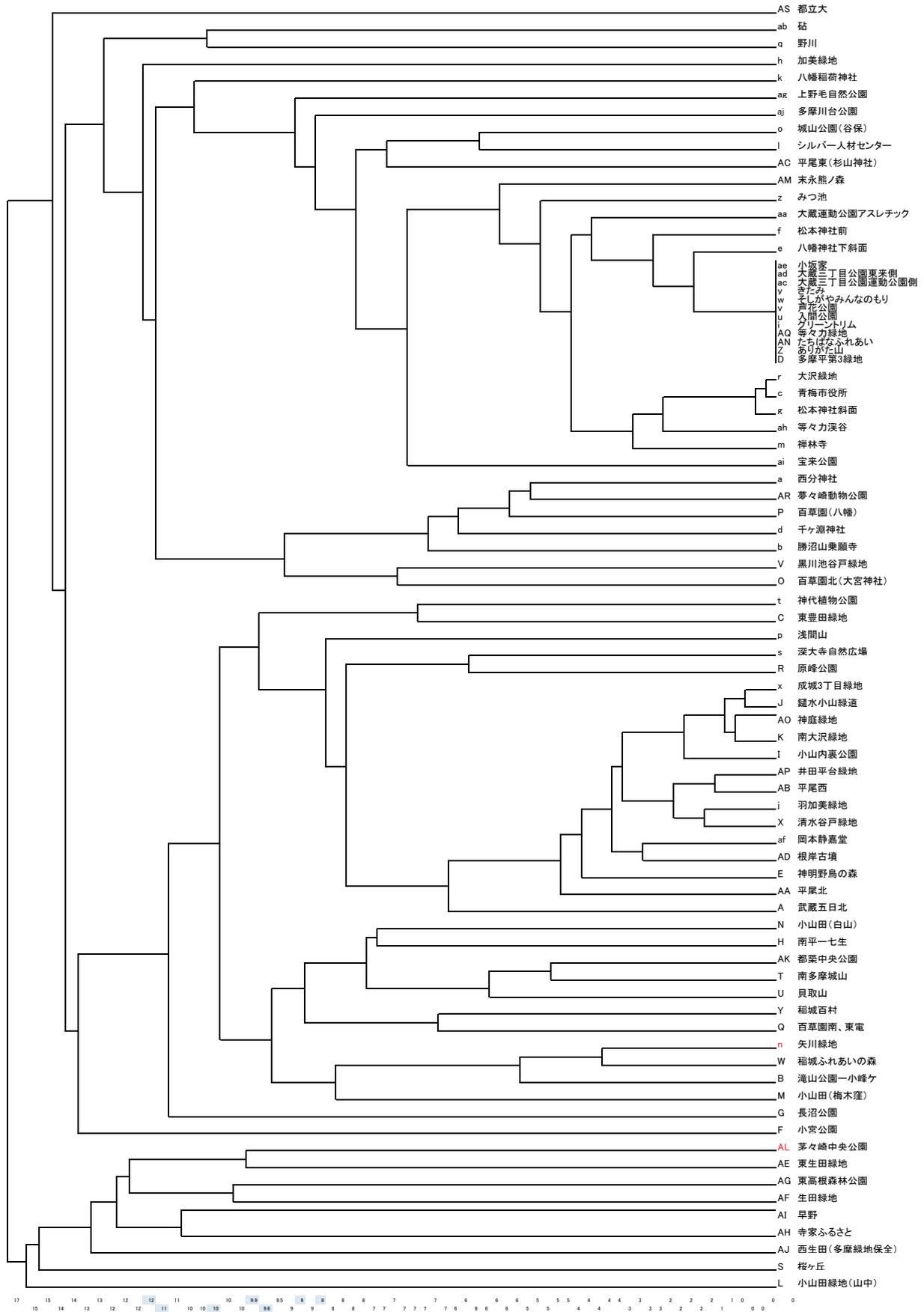


図 V-6 巨木の幹周の最大値による類型化

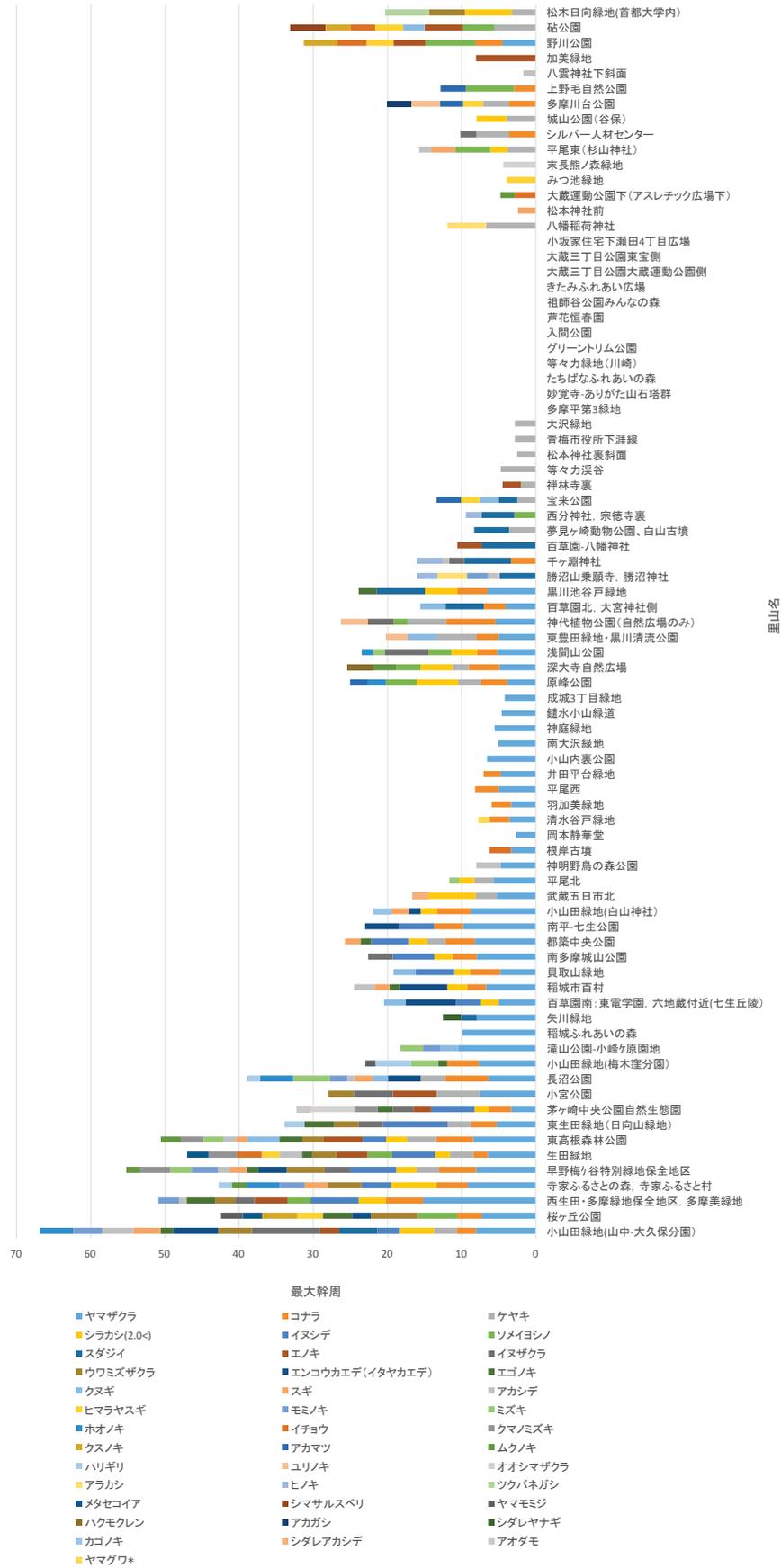


図 V-7 幹周の最大値によって類型化された順の各里山の種

表 V-3 多摩川周辺の里山の特徴, 幹周の最大値 上位 3 本による特徴

							Dec. 29, 2014
							備考
小山田緑地(山中-大久保分園)	<u>イヌザクラ</u>	<u>エンコウカエデ*</u>	スギ	<u>アカシデ</u>	モミノキ	ホオノキ	
早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	イヌシデ	ウワミズザクラ	<u>モミノキ</u>	<u>クマノミズキ</u>			
西生田・多摩緑地保全地区, 多摩美緑地	<u>ヤマザクラ</u>	コナラ	イヌシデ	<u>エゴノキ</u>			調査不可
東高根森林公園	エノキ	<u>クスギ</u>	ムクノキ				シラカシ(最大2.8, Best 9)
生田緑地	アカシデ	イチヨウ	クマノミズキ	メタセコイア			
寺家ふるさとの森, 寺家ふるさと村	シラカシ(2.0<)	スギ	<u>モミノキ</u>	<u>ホオノキ</u>	ムクノキ	ハリギリ	
桜ヶ丘公園	ソメイヨシノ	ウワミズザクラ	エゴノキ	<u>クスノキ</u>	メタセコイア	ヤマモミジ	
長沼公園	コナラ	<u>ミズキ</u>	ホオノキ				
東生田緑地(日向山緑地)	イヌシデ	エゴノキ	ハリギリ				
砦公園	ケヤキ	ヒマラヤスギ	イチヨウ	クスノキ			
茅ヶ崎中央公園自然生態園	クマノミズキ	オオシマザクラ	アオダモ				
野川公園	ソメイヨシノ	ヒマラヤスギ	イチヨウ	クスノキ			外来種
小宮公園	ケヤキ	エノキ	イヌザクラ				
神代植物公園(自然広場のみ)	コナラ	ユリノキ					
都築中央公園							
深大寺自然広場	ムクノキ	ハクモクレン					
原峰公園							
稲城市百村	エンコウカエデ*						
黒川池谷戸緑地	スダジイ						
浅間山公園	<u>イヌザクラ</u>						
南平-七生公園	ヤマザクラ						
小山田緑地(梅木窪分園)	ミズキ	<u>ハリギリ</u>	ヤマモミジ				
南多摩城山公園	イヌシデ	イヌザクラ					
小山田緑地(白山神社)	<u>カゴノキ</u>						
百草園南: 東電学園, 六地藏付近(七生丘陵)	エンコウカエデ*						
松木日向緑地(首都大学内)	<u>シラカシ</u>	ウワミズザクラ	<u>ツクバネガシ</u>				シラカシ?
東豊田緑地・黒川清流公園	<u>クスギ</u>	<u>ユリノキ</u>					
多摩川台公園	<u>アカマツ</u>	ユリノキ	<u>アカガシ</u>				
貝取山緑地							
滝山公園-小峰ヶ原園地	ミズキ						
武蔵五日市北	<u>シラカシ(2.0<)**シダレアカシデ**ヤマザクラ**</u>						
勝沼山乗願寺, 勝沼神社	アラカシ	ヒノキ					
千ヶ淵神社	スダジイ	ヒノキ					
平尾東(杉山神社)	スギ						
百草園北, 大宮神社側	<u>クスギ</u>						
宝来公園	アカマツ						
上野毛自然公園	イヌシデ	アカマツ					
矢川緑地	シダレヤナギ						
八幡稲荷神社	ケヤキ	アラカシ					
平尾北							
百草園-八幡神社	<u>スダジイ</u>						数本有
シルバー人材センター							
稲城ふれあいの森	ヤマザクラ						
西分神社, 宗徳寺裏	ヒノキ						
夢見ヶ崎動物公園, 白山古墳							
平尾西							
加美緑地	エノキ						
神明野鳥の森公園	アカシデ						
城山公園(谷保)							
清水谷戸緑地	ヤマグラ						開発予定
井田平台緑地							
小山内裏公園							
根岸古墳							
羽加美緑地							
神庭緑地							
南大沢緑地							
大蔵運動公園(アスレチック広場下)							
等々力溪谷							
鎌水小山緑道							
禪林寺裏							
末長熊ノ森緑地	オオシマザクラ						

成城3丁目緑地	
みつ池緑地	ヒマラヤスギ
大沢緑地	
青梅市役所下遊線	
岡本静華堂	
松本神社裏斜面	
松本神社前	
八雲神社下斜面	
多摩平第3緑地	
妙覚寺-ありがた山石塔群	
たちばなふれあいの森	
等々力緑地 (川崎)	
グリーントリム公園	
入間公園	
芦花恒春園	
祖師谷公園みんなの森	
きたみふれあい広場	
大蔵三丁目公園大蔵運動公園側	
大蔵三丁目公園東宝側	
小坂家住宅下瀬田4丁目広場	

* エンコウカエデは、場所によってイタヤカエデと表記。

** 調査対象地から離れた場所、シラカシ、ヤマザクラは、都内最大の幹周。
黒塗り：多摩川北東部（左岸），白抜き：多摩川南西部（右岸）

表 V-4 各種の幹周上位 3 種と里山名 (続き)

	AM	b	a	n	N	X
	末長熊ノ森緑地	勝沼山乗願寺, 勝沼神社	西分神社, 宗徳寺裏	矢川緑地	小山田緑地 (白山神社)	清水谷戸緑地
ヤマザクラ						
コナラ						
ケヤキ						
シラカシ						
イヌシデ						
ソメイヨシノ						
スダジイ						
エノキ						
イヌザクラ						
ウワミズザクラ						
エンコウカエデ(イ タヤカエデ)						
エゴノキ						
クヌギ						
スギ						
アカシデ						
ヒマラヤスギ						
モミノキ						
ミズキ						
ホオノキ						
イチヨウ						
クマノミズキ						
クスノキ						
アカマツ						
ムクノキ						
ハリギリ						
ユリノキ						
オオシマザクラ	4.4(単木)					
アラカシ		1.1+1.44+1.39 =3.93 (総着?)				
ヒノキ		2.8	2.1			
ツクバネガシ						
メタセコイア						
シマサルスベリ						
ヤマモミジ						
ハクモクレン						
アカガシ						
シダレヤナギ				2.4		
カゴノキ					2.3	
シダレアカシデ						
アオダモ						
ヤマグワ*						1.5

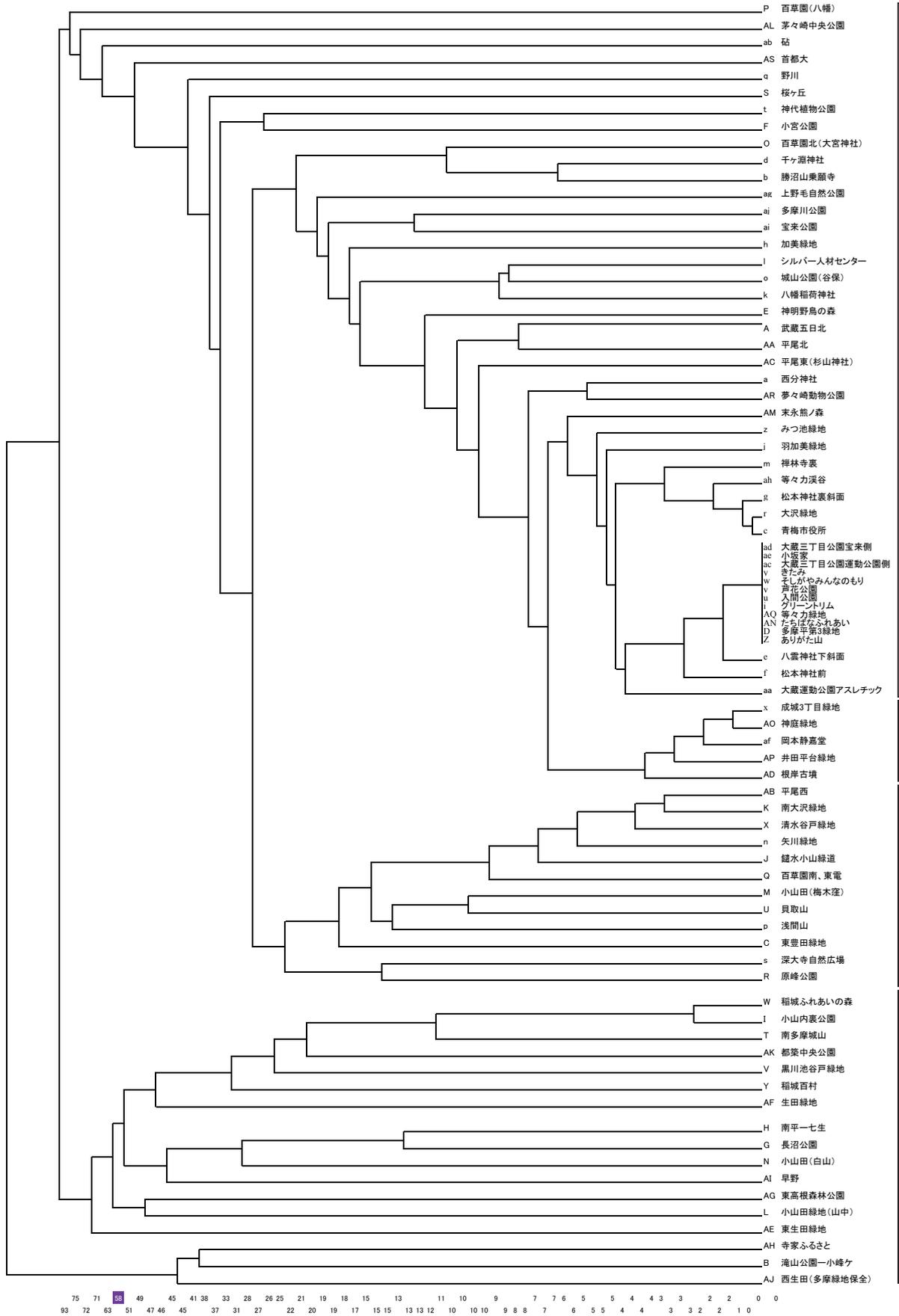


図 V-8 巨木の幹周の総和による類型化

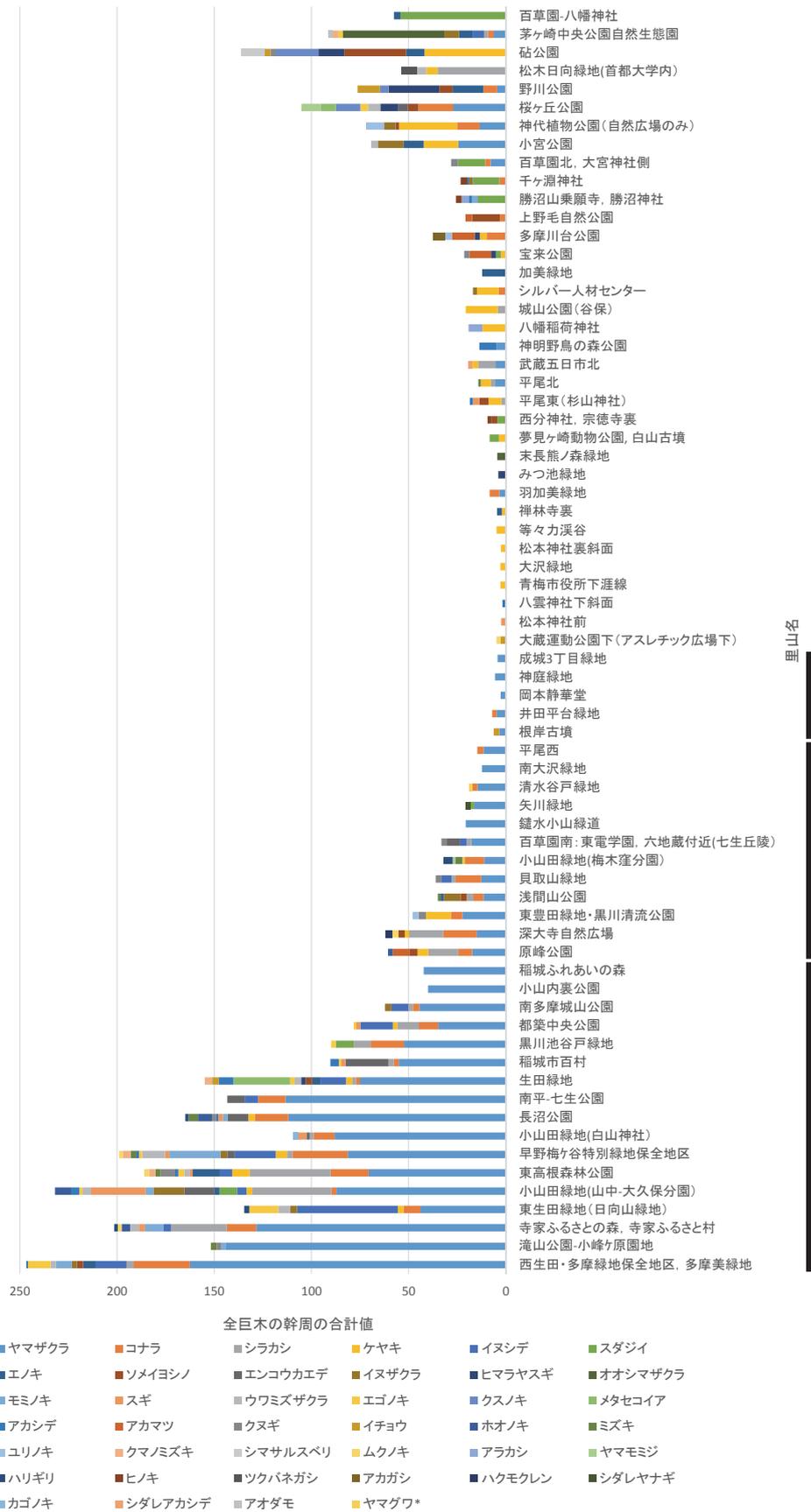


図 V-9 全幹周の総和による里山の類型化

iv. 里山に生育する植物の特性

これまでの踏査や類型化によって、巨木の種(数)の特徴もいくつか明らかになった。

①株立ちが多い巨木と少ない巨木

ヤマザクラ、クヌギ、コナラは株立ちが多かった。特にヤマザクラはその株立ち数が多かった。針葉樹は株立ちのものはほとんどみられなかった。常緑樹は、株立ちのものがあってもその株立ち数は少なかった。

②巨木の種と幹周（巨木になりやすい樹種となりにくい樹種）

巨木といってもエゴノキやヤマグワを除く落葉樹の多くの樹種は、単木、あるいは株立ちで、幹周 3m 以上のものが多くみられた。しかし、常緑樹及び針葉樹では、幹周 3.0m 以上のものは稀であった。常緑樹と針葉樹の場合、幹周 2.0m 以上を超えると「巨木」であるといえる。

落葉樹の中でも巨木の数の量は同属内で異なった。例えば、クヌギよりコナラ、イヌザクラよりもウスズミザクラが多かった。同じ巨木といっても、太さはミズキよりもクマノミズキが太かった。またアカシデよりもイヌシデの方が太く、クマシデの巨木はみなかった。

珍しい巨木として、ヤマグワ（清水谷緑地）、カゴノキ（小山田緑地、白山神社内）、ハリギリ（小山田緑地梅窪園）があげられた。

またヤマザクラ、コナラ、イヌシデ等の巨木は尾根に多いが、ミズキやエノキは谷にあること、シラカシの多い所には、同時に陰生植物のヒサカキ、アオキも多いこともわかった。

v. 里山の植生を形成してきた人為的要因

里山の植生は、地形によっても異なり、それは、中島他（2015）が実験で行い、地形の方位や勾配等によって、光環境や水分環境が異なり、そのことが植物の種に大きく影響することがわかった。さらに、下草刈り等の管理の有無によって、ヤマザクラの巨木が倒れたりする現象も多くみられることがわかった。逆にいえば、ヤマザクラを始めとして巨木が残っていることは、何らかの人為的な要因が関わってきたものと考えられる。

その中、巨木が神社等の信仰対象とあわせて見られることが多く、それが里山全体を特徴付けているといっても過言ではなかった。例えば、小山田緑地内の白山神社にみられたカゴノキを始めとして、イチョウ、アカシデ、シラカシ、モミノキ等の巨木が寺社内やその他信仰対象近くに多くみられた。

巨木のあったところに信仰対象が置かれたのか、信仰対象の中に巨木として残されてきたのかの議論もあるが、いずれにしても、信仰と里山の関係は、無視できない。

山城国風土記（逸文）によれば、「風土記に曰はく、伊奈利と称六は、……今、その木を殖えて枯れば福あらず」という（吉野 2010）。稲荷信仰と巨木の関係も無視できない。

その中で、かつて武蔵の「さし」は焼畑を示していたともいわれ（宮本 2011）、焼畑が多く行われていたことも考えられる。焼畑の際には「山に祈る」ことが行われたわけで、そこに信仰—焼畑—現代に至る植生の関連も考えられる。

VI. 総括

里山の特性を把握するために、全植物を短期間で調べあげることが、困難であり、また、欠測も生じる。

一方緑地の分断化、孤立化されている各地の里山で、従来のプロット抽出によるブラウン・ブランケット法の植生調査では植物を十分に把握できない。

そこで本研究では、各里山の樹木、特に巨木に着目し、巨木の種と形態（特に幹周）について調べた。そして、各里山で埋もれてしまっている植物に関する調査データを集め、多摩川周辺の里山の特性と類型化を試みた。

本研究を通して、①各里山の特徴を植物の視点から類型化できた。②主な植物の多摩川における分布を把握した。③巨木の有無とその具体的種、本数をリスト化し、今後の保全活動に活かすことができた。④巨木の特性（巨木として多い木、少ない木等）を把握できた。⑤巨木の残ってきた諸要因、里山として残ってきた諸要因の考察を試みた。

分断化、孤立化を始め、近年の様々な人の活動によって、巨木の生育できる環境はますます悪化するばかりである。それに伴って林床植物を始めとする貴重な草本も年々減少していることは否めない。

今後、本研究の手法を通して多摩川周辺の里山だけでなく、その他の様々な里山で調査を進めていく必要がある。

多摩川周辺の里山の概ねの特徴として

- ①「里山」の類型化といえども、今や植生調査で行うことよりも、1本1本の植物を調べる程度の面積が多くなってきた。その結果、本研究で用いた手法である「巨木」を指標とした調査法が有効である。
- ②ヤマザクラの巨木は各里山で見られる。今後、指標木として巨木の中でも特に重要な種であると思われる。
- ③多摩川南西部と多摩川北東部とでは、巨木の本数、種数共、多摩川南西部の方がはるかに多く、このことが、それぞれの地域にある里山の特徴の1つとなった。
- ④ケヤキ、タマノカンアオイ、アカガシ、ジュウニヒトエ、ムサシノキスゲ等、特定の里山に限って生育している植物もあげられた。
- ⑤今後、本調査の巨木に関する情報に、新たに発見できる知見（植物の種）を加えていくことができるようにしたので、今後の研究の展開を可能とした。

引用・参考文献

- 浅野貞夫・小滝一夫（1980）アカマツ林，林床のアズマネザサ群落の分布様式—アズマネザサの観察（第一報），富士竹類植物園報告 24， 31-42.
- 東若菜・岩崎絢子・大杉祥広・石井弘明（2014）照葉樹林および耕作地に隣接する管理放棄された落葉広葉樹二次林の林分構造の変化，日林誌 96,75-82.
- Clark,P.J. and Evans,F.C.（1954）Distance to nearest neighbour as a measure of spatial relationships in populations Ecology 35, 445-453.
- 藤江勲・石井弘（1985）三瓶演習林における落葉広葉樹林施業法に関する研究 2 皆伐後 20 数年経過した林分の天然更新過程の検討，島根大農研報 19,45-51.
- 浜端悦地（1980）都市化に伴う武蔵野平地部二次林の草本層種組成の変化 - 都市近郊の森林植生の保全に関する研究 I- 日生態会誌 30， 347-358.
- 橋詰隼人（1991）二次林の再生過程に関する研究 II 鳥取大学蒜山演習林の落葉広葉樹二次林の林分構成と樹齢構成について，広葉樹研究 6,17-30.
- 服部保・赤松弘治・武田義明・小館誓治・上甫木昭春・山崎寛（1995）里山の現状と里山管理. 人と自然， 6：1-32.
- 日野市環境基本計画推進会議みどりグループ（2013）平成 22～24 年度東豊田緑地保全地域（黒川清流公園）植物相調査結果報告書.
- 広木詔三編（2002）里山の生態学，名古屋大学出版会，333pp.
- Hooper,M.D.（1971）The size and surroundings of nature reserves, The Scientific management of animal and plant communities for conservation, Blackwell, Oxford.
- 星野義延（2001）二次林の保護管理. 「植物群落の生態学的管理 - フィールドでの生物多様性保全 -」（沼田眞編），34-54. 日本自然保護協会，東京.
- 星野義延・金田和久・奥亮清（1988）アズマネザサの生態学的研究（2）稈集団と地下茎系の構造について波丘地研究， 6， 313-324.
- 星野義延・八木正徳（2001）アズマネザサの分布と生態. 「多摩丘陵の自然と研究 - フィールドサイエンスへの招待 -」（土器屋由紀子・小倉紀雄・安富六郎・内川武編著），95-102. けやき出版.
- 細木大輔・久野春子・新井一司・深田健二（2001）都市近郊林の林床管理の有無による植生と環境の特徴. 日本緑化工学会誌 27， 14-19.
- 深町加津枝・佐久間大輔（1998）里山研究の系譜 - 人と自然の接点を扱う計画論を模索する中で - J.JILA61（4），276-280.
- 石坂健彦（1989）大規模緑地の植生管理に関する群落構造学的研究，緑地学研究 8，95-98.
- 井手任・守山弘・原田直國（1989）農村地域における樹林地の分布特性と生態系維持機能，造園雑誌 52（5），169-174.

- 井手任・守山弘・原田直國（1992）農村地域における植生配置の特性と種子供給に関する生態学的研究, 造園雑誌 56 (1), 28-38.
- 井手任（1989）「農村地域における樹林地の分布特性と生態系維持機能, 造園雑誌 52 (5), 169-174.
- 原田直國・守山弘・井手任・飯島博（1989）二次林内の種子散布に関する研究 1『資源・生態管理科研究集録』5.
- 井手任・守山弘・原田直國（1994）「孤立二次林における種子供給が下層植生に与える影響」『造園雑誌』57 (5), 199-204.
- 飯田滋生・谷本丈夫（1992）都市近郊林二次林の遷移と管理, 森林科学 4, 22-27.
- Iida,S. and Nakashizuka, T. (1995) Forest fragmentation and its effect on species diversity in sub-urban coppice forests in Japan. Forest Ecology and Management 73, 197-210.
- 今森光彦監修, 写真 NHK「ニッポンの里山」制作班編著（2014）NHK ニッポンの里山ふるさとの絶景 100, 190pp.
- 石坂健彦（1987）大規模緑地における植生管理研究の課題と展望, 造園雑誌 50 (3), 167-180.
- 石坂健彦（1987）植生管理下における二次林の群落構造の立地間差異について, 造園雑誌 50 (5), 102-107.
- ジポーリン福島菜穂子（2011）小網代の森の住人たち, 八坂書房, 141pp.
- 亀山彰編（1996）雑木林の植生管理 - その生態と共生の技術 -, ソフトサイエンス社.
- 上條隆志（1997）伊豆諸島三宅島におけるスダジイ・タブノキ林の更新過程, 日生態誌 47, 1-10.
- 金澤弓子・東中祐美子・小林伸二・鈴木貢次郎・濱野周泰・染郷正考（2010）山等県内におけるサクラの巨木の種とその生育場所及び生育状態, 樹木医学研究, 14 (1), 9-14.
- 紙谷智産（1986）豪雪地帯におけるブナ二次林の再生過程に関する研究 (II) 主要構成樹種の伐り株の樹齢と萌芽能力との関係. 日林誌 68, 127-134.
- 加藤和弘・一ノ瀬友博・大久保悟（1997）都市近郊におけるコナラ林の組成および構造について, J.JILA60 (5), 539-542.
- 環境省編（2002）新生物多様性国家戦略 - 自然の保護と再生のための基本計画 -, ぎょうせい.
- 小泉武栄(1995)地下茎の形態変化からみたタマノカンアオイの分散様式と地表変動, とうきゅう環境財団研究助成 (一般) vol.86-57-109.
- 小泉武栄（2001）多摩地域におけるカンアオイ類の分布・生態と保護・育成に関する

- る地生態学的研究, とうきゅう環境財団研究助成一般研究 vol.22-No.126.
- 小寺正一 (2008) 里地里山の保全に向けて - 二次的な自然環境の視点から - レファレンス 2008.3, 53-74.
- 小谷二郎 (2012) コナラの伐採齢が萌芽再生に与える影響, 石川県林試研報 44, 18-22.
- 久野春子・新井一司・細木大輔・深田健二 (2001) 都市近郊林の林床管理の有無による植生と環境の特徴 その2 林床の光, 気温, 地温および土壌条件の特徴, 日本緑化工学会誌 27 (1), 20-25.
- 倉本宣・内藤道興 (1997) 雑木林をつくる - 人の手と自然の対話・里山作業入門, 百水社.
- 倉本宣・大塚やよい・八木正徳 (2001) 里山における伝統的な管理手法の地域差と標準仕様のあり方. 造園技術報告集 1, 4-5.
- 丸山徳次・宮浦富穂編 (2007) 里山学のすすめ<文化としての自然>再生にむけて, 昭和堂 60pp.
- 松村俊和・服部保・橋本佳延・伴邦教 (2007) 北摂地域の萌芽林における常緑植物の植被率と種多様性・種組成との関係. 植生学会誌 24, 41-52.
- 宮本常一 (2011) ふるさとの生活, 講談社, 235pp.
- Miyata, I. (1983) Influence of vegetation structure of the three layer on Development of the herb layer in a secondary forest, Jap.J.Ecolo.33, 71-78.
- 日本経済新聞 2010年8月22日朝刊, 「対立の地に里山育む」.
- Monica G. Turner, Robert H.Gardner and Robert V. O'Neil (2001) Landscape Ecology in theory and practice, Springer-Verlag, New York, Inc., 401pp.+2.
- 森本淳子・森本幸裕 (2012) 関西における里山の変貌 60-72pp., 武内和彦・鷺谷いづみ・恒川篤史編 (2012) 里山の環境学 第7版, 東京大学出版会, 257pp.
- 藻谷浩介 (2013) 里山資本主義, 角川書店, 308pp.
- 中村幸人 (2007) 多摩川の植生と植生図 -30年間の変化, とうきゅう環境財団研究助成学術研究 vol.36-No.270.
- 中島宏昭・寺岡睦美・鈴木貢次郎・亀山慶晃 (2015) 日本生態学会第62回全国大会 PB1-136.
- 野尻智周・林進・伊藤栄一 (1998) 二次林保全の社会経済的意義. 岐阜大学農学部演習林報告 63, 11-23.
- 大原雅 (2001) 多摩川水源域に生育する草本植物集団の遺伝的組成に及ぼす集団孤立化の影響の定量的評価, とうきゅう環境財団研究助成学術研究 vol.30-No.215.
- 大北英太郎 (1985) クヌギ林の施業試験. 広葉樹林研究 3, 151-160.
- 大久保悟・加藤和弘 (1994) 都市近郊の分断された平地二次林における高木種の補充に関する研究, 造園雑誌 57, 205-210.

- 大久保悟・加藤和弘（1996）分断された二次林の内部における植生の空間分布と遷移管理に関する研究, JJILA59 (5), 97-100.
- 大森博雄・大澤雅彦・熊谷洋一・梶幹尾編（2005）自然環境の評価と育成, 東京大学出版会, 272pp.
- 大澤雅彦監修（2001）生態学からみた身近な植物群落の保護, 講談社サイエンティフィック.
- 大澤雅彦監修, 財団法人日本自然保護協会編集（2005）植物群落モニタリングのすすめ, 自然保護に活かす「植物群落レッドデータブック」, 文一総合出版, 431pp.
- 沖津進（2014）多摩地区を中心とした東京における緑地環境の変化と管理, 地学雑誌 123 (2), 211-222.
- 奥富清・辻誠治・星野嘉延（1976）南関東の二次林植生 - コナラ林を中心として, 東京農工大演習林報告 12, 55-66.
- 斉藤修・星野義延・辻誠治・菅野昭（2003）関東地方におけるコナラ二次林の20年以上経過後の種多様性及び種組成の変化. 植生学会誌 20, 83-96.
- 佐野淳之・常盤智美・伊藤佐知子（1999）暖温帯におけるアカマツ衰退後の二次林の管理に関する基礎的研究 - ブナ科3種およびタブノキの更新様式 -, 広葉樹研究 8, 1-9.
- 重松敏則（1983）レクリエーション林における下刈り, 光, 踏圧の諸条件が林床植生に及ぼす効果. 造園雑誌 46 (5), 194-199.
- 重松敏則（1988）レクリエーションを目的とした二次林の改良とその林床管理に関する生態学的研究. 大阪府立大学紀要, 農学・生物学 40, 40-43.
- 島田和則・勝木俊雄・岩本宏二郎・齋藤修（2008）東京都多摩地方南西部におけるコナラ・クヌギ二次林の群落構造および種数の管理形態による差異, 植生学会誌 25, 1-12.
- 荘司たか志（2003）里山生きもの博物記, 山と溪谷社, 95pp.
- 武内和彦（2006）ランドスケープエコロジー Landscape Ecology, 朝倉書店, 245pp.
- 武内和彦・横張真・井手任（1990）田園アメニティ論, 養賢堂, 228pp.
- 武内和彦・鷲谷いずみ・恒川篤史編（2001）里山の環境学, 東京大学出版会, 257pp.
- 寺井学（2007）40年以上伐採されなかったコナラ二次林の林床植生の種多様性保全に関する事例的研究, ランドスケープ研究 70 (5), 435-438.
- 辻誠治・星野義延（1992）コナラ二次林の林床管理の変化が種組成と土壤に与える影響. 日本生態学会誌 42, 125-136.
- 植田明浩（2002）里地里山の全国分布と特性について, ランドスケープ研究 65 (3), 268-269.
- 山本進一（1987）孤立林のダイナミクス, 生物科学 39 (3), 121-127.

- 山本勝利・趙賢一・大塚生美・福留晴子・加藤好武・大久保悟（2000）比企丘陵における里山林の構造と変化が林床植物に及ぼす影響．ランドスケープ研究 63, 765-770.
- 山岡景行・守山弘・重松孟（1977）歴史的農業地帯における屋敷林，二次林の生態学的役割，東洋大学紀要教養課程篇 20, 17-33.
- 山崎寛・青木京子・服部保・武田義明（2000）里山の植生管理による種多様性の増加，ランドスケープ研究 63, 481-484.
- 山瀬敬太郎（2012）暖温帯域での高齢化した里山構成種 7 種の萌芽能力，日緑工誌 38 (1), 109-114.
- 吉野裕子（2010）ものと人間の文化史 39, 狐陰陽五行と稲荷信仰，法政大学出版局 95-97.
- 全国雑木林会議編（2001）現在雑木林事典，百水社，340pp.
- 造園学会昭和 62 年度全国大会特別分科会報告，大会運営委員会（1987）「川崎の緑」緑計画の実際と課題，造園雑誌 51 (2), 102-109.

補注

- 1) 多摩・三浦丘陵広域連携会議（2014 年）<http://www.tama-miurahills.com/meeting6.html>, 2015 年 1 月 8 日参照.

謝辞

研究協力者の東京農業大学地域環境科学部亀山慶晃准教授には本研究の実施中多くの指導を頂きました。

川崎市環境局緑政部緑政課，及びみどりの協働推進課，東高根森林公園パークセンター，日野市環境情報センター加藤勝康氏，播本氏(元日野の自然を守る会)，小宮公園，滝山公園どんぐり会 野草グループ 小倉紀美子，関根恵治両氏には貴重なデータの引用の御許可を頂きました。

東京農業大学地域環境科学部造園科学科ランドスケープエコロジー研究室の大学院生：中島宏昭，野口翔，大山佑，学部4年生：立川兎太郎，櫻井伸輔，寺岡睦実，3年生：久野直人，2年生：佐藤萌恵の皆さんには，現地調査の御協力を頂きました。

お世話になった多くの方々にここに記して謝意を表します。

多摩川周辺の残る里山の植生の類型化に関する研究

(研究助成・学術研究VOL. 44—NO. 315)

著 者 鈴木 貢次郎

発行日 2015年11月1日

発行者 公益財団法人とうきゅう環境財団

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1-16-14 (渋谷地下鉄ビル内)

TEL (03) 3400-9142

FAX (03) 3400-9141

<http://www.tokyuenv.or.jp/>